

熊本県立大学長寿命化改修（建築）工事 （第1・第2クラブ室）

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
【 共通 】					
A-01	建築改修工事特記仕様書（その1）	-	1A-10	改修図（7）	A1版：1/50 A3版：1/100
A-02	建築改修工事特記仕様書（その2）	-	1A-11	改修図（8）	A1版：1/50 A3版：1/100
A-03	建築改修工事特記仕様書（その3）	-	1A-12	改修図（9）	A1版：1/50 A3版：1/100
A-04	建築改修工事特記仕様書（その4）	-	1A-13	改修図（10）	A1版：1/50 A3版：1/100
A-05	建築改修工事特記仕様書（その5）	-			
A-06	下地補修特記仕様書	-	【 第2クラブ室 】		
A-07	工事概要表・共通事項・付近見取図・配置図	-	2A-01	内部仕上表	-
			2A-02	平面図・屋根伏図（参考図）・建具表	A1版：1/100 A3版：1/200
【 第1クラブ室 】					
1A-01	内部仕上表（1）	-	2A-03	改修図（1）	A1版：1/50 A3版：1/100
1A-02	内部仕上表（2）	-	2A-04	改修図（2）	A1版：1/50 A3版：1/100
1A-03	平面図・屋根伏図（参考図）・建具表	A1版：1/150 A3版：1/300	2A-05	改修図（3）	A1版：1/50 A3版：1/100
1A-04	改修図（1）	A1版：1/50 A3版：1/100	2A-06	改修図（4）	A1版：1/50 A3版：1/100
1A-05	改修図（2）	A1版：1/50 A3版：1/100	2A-07	改修図（5）	A1版：1/50 A3版：1/100
1A-06	改修図（3）	A1版：1/50 A3版：1/100			
1A-07	改修図（4）	A1版：1/50 A3版：1/100			
1A-08	改修図（5）	A1版：1/50 A3版：1/100			
1A-09	改修図（6）	A1版：1/50 A3版：1/100			

5	16 ガラス (続き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複層ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ 断熱性による区分 日射取得性日射遮蔽性による区分 乾燥気体の種類 	6	内装改修工事
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による T1 ・ T6 T2 ・ T6 T3 T4 G S 空気 アルゴン クリプトン ネオン 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 熱線反射ガラス 種類 厚さ (mm) 日射取得性、断熱性 反射率 色調 		

6	17 ガラス留め材	<ul style="list-style-type: none"> ・ 留め材の種類 アルミニウム製 ステンレス製 シーリング材 (SR-1) ガスケット (グレイジングチャンネル形) 	6	内装改修工事
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による ※ 造具製造所の仕様による 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による ※ 造具製造所の仕様による 		

6	18 ガラスブロック積み	<ul style="list-style-type: none"> ・ JIS A 5212 による 表面形状 寸法 厚さ 色調 防火性能 備考 	6	内装改修工事
		<ul style="list-style-type: none"> ・ クリア ・ 乳白 ・ オパール ・ 熱線反射 ・ 防火設備 事項は、図示による 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による ※ 造具製造所の仕様による 		

7	19 軽鉄骨壁下地	<ul style="list-style-type: none"> ・ JAS0701による造作用単板複層材 施工箇所 寸法 表面の化粧加工 防火処理 	6	内装改修工事
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 有 (・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工) ・ 無 (・ 1等 ・ 2等 ・ 3等) ・ 適用しない 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・ JAS0701以外の造作用単板複層材 施工箇所 寸法 表面の化粧加工 防火処理 		

7	20 壁紙張り	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「合板の日本農林規格」による普通合板 施工箇所 厚さ 単板の層数 接合の程度 表面の品質 防火処理 	6	内装改修工事
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 「合板の日本農林規格」による構造用パネル 施工箇所 厚さ 単板の層数 接合の程度 表面の品質 防火処理 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 「合板の日本農林規格」による構造用合板 施工箇所 厚さ 単板の層数 接合の程度 表面の品質 防火処理 		

7	21 モルタル塗り	<ul style="list-style-type: none"> ・ 材料の種類 モルタル ラス セメント 	6	内装改修工事
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による ※ 造具製造所の仕様による 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による ※ 造具製造所の仕様による 		

8	22 タイル張り	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「合板の日本農林規格」による普通合板 施工箇所 厚さ 単板の層数 接合の程度 表面の品質 防火処理 	6	内装改修工事
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 「合板の日本農林規格」による構造用パネル 施工箇所 厚さ 単板の層数 接合の程度 表面の品質 防火処理 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 「合板の日本農林規格」による構造用合板 施工箇所 厚さ 単板の層数 接合の程度 表面の品質 防火処理 		

8	23 タイル張り	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「合板の日本農林規格」による普通合板 施工箇所 厚さ 単板の層数 接合の程度 表面の品質 防火処理 	6	内装改修工事
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 「合板の日本農林規格」による構造用パネル 施工箇所 厚さ 単板の層数 接合の程度 表面の品質 防火処理 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 「合板の日本農林規格」による構造用合板 施工箇所 厚さ 単板の層数 接合の程度 表面の品質 防火処理 		

8	24 仕上材仕上げ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「合板の日本農林規格」による普通合板 施工箇所 厚さ 単板の層数 接合の程度 表面の品質 防火処理 	6	内装改修工事
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 「合板の日本農林規格」による構造用パネル 施工箇所 厚さ 単板の層数 接合の程度 表面の品質 防火処理 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 「合板の日本農林規格」による構造用合板 施工箇所 厚さ 単板の層数 接合の程度 表面の品質 防火処理 		

9	25 フローリング張り	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「合板の日本農林規格」による普通合板 施工箇所 厚さ 単板の層数 接合の程度 表面の品質 防火処理 	6	内装改修工事
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 「合板の日本農林規格」による構造用パネル 施工箇所 厚さ 単板の層数 接合の程度 表面の品質 防火処理 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 「合板の日本農林規格」による構造用合板 施工箇所 厚さ 単板の層数 接合の程度 表面の品質 防火処理 		

9	26 可動間仕切り	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「合板の日本農林規格」による普通合板 施工箇所 厚さ 単板の層数 接合の程度 表面の品質 防火処理 	6	内装改修工事
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 「合板の日本農林規格」による構造用パネル 施工箇所 厚さ 単板の層数 接合の程度 表面の品質 防火処理 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 「合板の日本農林規格」による構造用合板 施工箇所 厚さ 単板の層数 接合の程度 表面の品質 防火処理 		

9	27 移動間仕切り	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「合板の日本農林規格」による普通合板 施工箇所 厚さ 単板の層数 接合の程度 表面の品質 防火処理 	6	内装改修工事
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 「合板の日本農林規格」による構造用パネル 施工箇所 厚さ 単板の層数 接合の程度 表面の品質 防火処理 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 「合板の日本農林規格」による構造用合板 施工箇所 厚さ 単板の層数 接合の程度 表面の品質 防火処理 		

熊本県建築改修工事特記仕様書

建築士事務所名 一級 建築士事務所熊本県知事登録 555 号 株式会社 太宏設計事務所

設計者氏名 一級 建築士 大臣 登録第 366297 号 平田 有希雄

工事名称 熊本県立大学長寿命化改修(建築)工事 (第1・第2クラブ室)

図面名称 熊本県建築改修工事特記仕様書 (その3) 図面番号 A-03

R6. 3. 17改定

Table with columns for item number, description, and specifications. Includes items like トイレブース, 視覚障がい者用床タイル, 階段滑り止め, etc.

Table with columns for item number, description, and specifications. Includes items like ④ 塗装, ① 材料, ② 下地調整, etc.

Table with columns for item number, description, and specifications. Includes items like 8の2 耐震改修工事, 8の3 耐震改修工事, etc.

Table with columns for item number, description, and specifications. Includes items like 2 レディミストコンクリートの調剤, 3 (普通コンクリート)普通コンクリート, etc.

8 6 耐震改修工事 鉄骨工事	1 (鉄骨工事一般事項) 鉄骨製作工事 (7.1.3)[8.1.5]	<ul style="list-style-type: none"> 監督員の承諾する工事 建築基準法第77条の4第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センター又は(株)全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工事の性能評価基準」に定める、下記のグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工事又は同等以上の能力のある工事 H・M・R・J グレード 下記の条件を満たしている工事 イ) WES8103 1級 () 名以上 2級 () 名以上 ロ) NDIUT 1級 () 名以上 2級 () 名以上 ハ) 監督技術者 1級 () 名以上 2級 () 名以上 ニ) 鉄骨製作管理技術者 1級 () 名以上 2級 () 名以上 ホ) 半自動溶接技術者 1級 () 名以上 2級 () 名以上 ヘ) 手溶接技術者 1級 () 名以上 2級 () 名以上 ヘ) 手溶接技術者 1級 () 名以上 2級 () 名以上 下向及び横向で板厚 ()mmの資格を有するもの ()名以上 手溶接技術者 1級 () 名以上 2級 () 名以上 下向及び横向で板厚 ()mmの資格を有するもの ()名以上 	8 8 耐震改修工事 連続繊維補強工事	3 連続繊維シートの施工準備 (7.1.3)[8.24.6]	仕上げモルタルの除去 ※ 既存構造体面まで除去する ・ モルタル除去は行わない ・ () 既存モルタルの圧縮強度測定 ・ 行う () ・ 行わない () ひび割れ部の修繕 ・ 行う () ・ 行わない () 範囲 ※ 図示による () 工法の種類 ※ 図示による () 柱及び梁の隅角部における面取りの大きさ ・ 工法の詳細内容等により、半端は20mm又は30mmとする。 ・ ()	⑨ 環境配慮(グリーン)改修工事	① 石綿含有建材の処理 (9.1.1)	とりこわし工事前に立ち、放射性石綿含有建材の除去工事を行う。 処理方法 ① 剥離剤 ・ 高圧水 ・ 電動グラインダー ・ () 汚泥として処理 ・ 適用する ・ 適用しない 石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ② 図示による () 石綿含有建材の調査 ※ 行う () ・ 行わない () 調査範囲 () 受入する既存調査報告書4 () 分析による石綿含有調査 ・ 行う () ・ 行わない ()	9 環境配慮(グリーン)改修工事	4 透水性アスファルト舗装 (9.5.8)	既存舗装の除去及び再利用 ※ 図示による () 路床の構成及び仕上り ・ 表上約層 厚さ(mm) ※ 150 ・ () ・ フィルター層 厚さ(mm) 車道部 ※ 150 ・ () 歩道部 ※ 80 ・ () 路床安定処理 ※ 行う () ・ 行わない () [9.5.8] [表9.5.2] 路床安定処理の方法 ・ 添加材料による処理 添加材料の種類 () ・ 土質改良による処理 土質改良の種類 () 土質改良の種類 () ・ A型 ・ B型 ・ C型 ・ D型 [9.5.8] [表9.28.1] C型の場合 建設発生土投入量 () m ³ 発生場所 () 砂の粒度試験 ・ 行う () ・ 行わない () [9.5.8] 路床土の支持力比(CBR)試験 ・ 行う () ・ 行わない () [9.5.8] 路床締固め度の試験 ・ 行う () ・ 行わない () [9.5.8] 現場CBR試験 ・ 行う () ・ 行わない () [9.5.8] 発生土の処理 [9.5.8] ※ 納付場所 () 受入れ場所 () 搬出距離 () km ・ 納付場所 () ・ 敷きならし ・ たい積 () 舗装材料及び仕上り ・ 再生クワックラン [9.5.4] [表9.5.3] ・ クラッシュラン・スラグ ・ () 路床厚さ(mm) 車道部 ※ 150 ・ () [9.5.4] 歩道部 ※ 100 ・ () 舗装の構成 ※ 図示による () [9.5.5] 舗装の平坦性 ※ 著しい不備がないもの () [9.5.5] 開度度アスファルト混合物の抽出試験 ・ 行う () ・ 行わない () [9.5.9]																																									
	2 施工管理技術者 (7.1.4)[8.1.6]	鉄骨製作管理技術者の適用 適用 ・ しない、 ・ する。	8 9 耐震改修工事 スリット新設工事	4 炭素繊維シートの施工 (8.24.6)	炭素繊維の日付量 ※ 図示 ・ 200g/m ² ・ 300g/m ² ・ () 炭素繊維シートの巻き数 ※ 図示 ・ 1巻き ・ 2巻き ・ ()		② 石綿含有吹付け材の除去 (9.1.3)	工法 ※ 改修仕9.1.3(2)(ア)による ・ 図示による 飛散防止措置 ※ 養生化 ・ 固形化 処分 ・ 改修仕9.1.3(3)(イ)による ・ 改修仕9.1.3(3)(ロ)による		工事区分 別表一 改修工事の工事区分表	5 高力ボルト (8.2.9)	高力ボルトの適用 ・ トルシヤ形高力ボルト(建築基準法に基づき認定を受けたもの) ・ JIS高力ボルト ・ 等価的かつ高力ボルト(建築基準法に基づき認定を受けたもの) ねじの呼び径 ※ 図示による ()	8 9 耐震改修工事 スリット新設工事	1 (耐震スリット新設) 耐震スリットの種類 (8.25.1)[8.25.2]	耐震スリットの種類及び形状 完全スリットの形状 <table border="1"> <tr> <th>記号</th> <th>一般型</th> <th>一面せん断型</th> </tr> <tr> <td>形状</td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>幅W(mm)</td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>埋込部の残存厚さts(mm)</td> <td>埋込部の1/2以下かつ70mm以下</td> <td>埋込部の1/2以下かつ70mm以下</td> </tr> <tr> <td>既存鉄筋の処理</td> <td>・ 存置する ・ 切断してよい</td> <td>・ 存置する ・ 切断してよい</td> </tr> </table> 部分スリットの形状 <table border="1"> <tr> <th>記号</th> <th>片側スリット</th> <th>両面スリット</th> </tr> <tr> <td>形状</td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>幅W(mm)</td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>埋込部の残存厚さts(mm)</td> <td>埋込部の1/2以下かつ70mm以下</td> <td>埋込部の1/2以下かつ70mm以下</td> </tr> <tr> <td>既存鉄筋の処理</td> <td>・ 存置する ・ 切断してよい</td> <td>・ 存置する ・ 切断してよい</td> </tr> </table>	記号	一般型	一面せん断型	形状	※ 図示	※ 図示	幅W(mm)	※ 図示	※ 図示	埋込部の残存厚さts(mm)	埋込部の1/2以下かつ70mm以下	埋込部の1/2以下かつ70mm以下	既存鉄筋の処理	・ 存置する ・ 切断してよい	・ 存置する ・ 切断してよい	記号	片側スリット	両面スリット	形状	※ 図示	※ 図示	幅W(mm)	※ 図示	※ 図示	埋込部の残存厚さts(mm)	埋込部の1/2以下かつ70mm以下	埋込部の1/2以下かつ70mm以下	既存鉄筋の処理	・ 存置する ・ 切断してよい	・ 存置する ・ 切断してよい	9 環境配慮(グリーン)改修工事	6 仮組(仮組) (7.3.10)[8.13.10]	仮組の実施 ・ 実施する () ・ 実施しない ()	8 10 耐震改修工事 土工事及び地業工事	1 基礎工事に用いる材料 (8.2.15)	砂利地業に使用する砂利 ・ 再生クワックラン ・ 切込砂利 ・ 切込砕石 砂地業に使用する砂 ・ シルト ・ 有機物等の混入しない締固めに適した山砂 ・ 川砂 ・ 砕砂 枕の材料 ※ 図示による () 継ぎ手の箇所数、材料、工法(枕に継ぎ手をつける場合) ※ 図示による	2 土工事 (8.25.3) [表8.28.1]
記号	一般型	一面せん断型																																																		
形状	※ 図示	※ 図示																																																		
幅W(mm)	※ 図示	※ 図示																																																		
埋込部の残存厚さts(mm)	埋込部の1/2以下かつ70mm以下	埋込部の1/2以下かつ70mm以下																																																		
既存鉄筋の処理	・ 存置する ・ 切断してよい	・ 存置する ・ 切断してよい																																																		
記号	片側スリット	両面スリット																																																		
形状	※ 図示	※ 図示																																																		
幅W(mm)	※ 図示	※ 図示																																																		
埋込部の残存厚さts(mm)	埋込部の1/2以下かつ70mm以下	埋込部の1/2以下かつ70mm以下																																																		
既存鉄筋の処理	・ 存置する ・ 切断してよい	・ 存置する ・ 切断してよい																																																		
3 (鉄骨材料) 鋼材 (表8.2.7) [表8.2.7]	材質 [表8.2.7] による (7.2.1)[表7.2.1][8.2.8] [表8.2.7] <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>形状・寸法</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>※ 図示による ()</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>※ 図示による ()</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> </table>	種類の記号	形状・寸法	適用箇所	※ 図示による ()	()	()	※ 図示による ()	()	()	8 9 耐震改修工事 スリット新設工事	2 耐震スリットの施工 (8.25.2)	耐震スリット部の配管等の調査 範囲 ※ 耐震スリット新設部に伴う鉄筋コンクリートの撤去の範囲全て。 ※ 図示による () 方法 ※ 鉄筋探知機(金属探知機)により探査し、鉄筋、配管等の位置に 標出しを行う。 ・ はつり出しによる ()	2 断熱材 (9.2.2) [9.2.3]	外断熱及び断熱材打込み工法 <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 押出法ポリスチレンフォーム</td> <td>・ 保温板(2種) ・ 25</td> <td>・ 接合部分</td> </tr> <tr> <td>・ 硬質ウレタンフォーム</td> <td>・ 保温板(3種) ・ 25</td> <td>・ 接合部分</td> </tr> <tr> <td>・ 硬質ウレタンフォーム</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> 断熱材の施工 ※ 図示による () 断熱材の施工 ※ 図示による ()	種別	厚さ(mm)	施工箇所	・ 押出法ポリスチレンフォーム	・ 保温板(2種) ・ 25	・ 接合部分	・ 硬質ウレタンフォーム	・ 保温板(3種) ・ 25	・ 接合部分	・ 硬質ウレタンフォーム	・	・	10 溶剤塗布めっき高力ボルト接合 (8.20.5)	溶剤塗布めっき高力ボルト接合 ・ プラスト処理 ・ りん酸処理 ()	8 7 耐震改修工事 グラウト工事	1 (グラウト工事) モルタル及びグラウト材 (8.2.6)	構造体用モルタル 圧縮強度 () フロー度 () 柱底均しモルタル ※ 無収縮モルタル ・ () [8.2.12] グラウト材 ※ [8.2.12(2)]による(性能は、地盤材料等品質性能による)	2 (現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事及び鉄骨ブレースの設置工事等) 既存構造体と増設壁との取合部の処理方法 (8.21.9)	増設の現場打ち鉄筋コンクリート壁と 既存構造体との取合部の処理方法 <table border="1"> <tr> <th>部 位</th> <th>処分方法</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>・ 増設壁の上端</td> <td>※ グラウト材を注入</td> <td>※ 寸法は図示による</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>	部 位	処分方法	備 考	・ 増設壁の上端	※ グラウト材を注入	※ 寸法は図示による	・	・	・									
種類の記号	形状・寸法	適用箇所																																																		
※ 図示による ()	()	()																																																		
※ 図示による ()	()	()																																																		
種別	厚さ(mm)	施工箇所																																																		
・ 押出法ポリスチレンフォーム	・ 保温板(2種) ・ 25	・ 接合部分																																																		
・ 硬質ウレタンフォーム	・ 保温板(3種) ・ 25	・ 接合部分																																																		
・ 硬質ウレタンフォーム	・	・																																																		
部 位	処分方法	備 考																																																		
・ 増設壁の上端	※ グラウト材を注入	※ 寸法は図示による																																																		
・	・	・																																																		
8 8 耐震改修工事 連続繊維補強工事	1 (連続繊維補強工事) 連続繊維シート等による工法 (8.24.6)	連続繊維による補強、補修工法 ※ (財)建築防災協会の評価を受けた工法とする。 ・ ()	8 9 耐震改修工事 スリット新設工事	3 基礎工事に用いる材料 (8.2.15)	砂利地業に使用する砂利 ・ 再生クワックラン ・ 切込砂利 ・ 切込砕石 砂地業に使用する砂 ・ シルト ・ 有機物等の混入しない締固めに適した山砂 ・ 川砂 ・ 砕砂 枕の材料 ※ 図示による () 継ぎ手の箇所数、材料、工法(枕に継ぎ手をつける場合) ※ 図示による	2 断熱材 (9.2.2) [9.2.3]	外断熱及び断熱材打込み工法 <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 押出法ポリスチレンフォーム</td> <td>・ 保温板(2種) ・ 25</td> <td>・ 接合部分</td> </tr> <tr> <td>・ 硬質ウレタンフォーム</td> <td>・ 保温板(3種) ・ 25</td> <td>・ 接合部分</td> </tr> <tr> <td>・ 硬質ウレタンフォーム</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> 断熱材の施工 ※ 図示による () 断熱材の施工 ※ 図示による ()	種別	厚さ(mm)	施工箇所	・ 押出法ポリスチレンフォーム	・ 保温板(2種) ・ 25	・ 接合部分	・ 硬質ウレタンフォーム	・ 保温板(3種) ・ 25	・ 接合部分	・ 硬質ウレタンフォーム	・	・	1 (連続繊維補強工事) 連続繊維シート等による工法 (8.24.6)	連続繊維による補強、補修工法 ※ (財)建築防災協会の評価を受けた工法とする。 ・ ()	2 (現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事及び鉄骨ブレースの設置工事等) 既存構造体と増設壁との取合部の処理方法 (8.21.9)	増設の現場打ち鉄筋コンクリート壁と 既存構造体との取合部の処理方法 <table border="1"> <tr> <th>部 位</th> <th>処分方法</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>・ 増設壁の上端</td> <td>※ グラウト材を注入</td> <td>※ 寸法は図示による</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>	部 位	処分方法	備 考	・ 増設壁の上端	※ グラウト材を注入	※ 寸法は図示による	・	・	・																				
種別	厚さ(mm)	施工箇所																																																		
・ 押出法ポリスチレンフォーム	・ 保温板(2種) ・ 25	・ 接合部分																																																		
・ 硬質ウレタンフォーム	・ 保温板(3種) ・ 25	・ 接合部分																																																		
・ 硬質ウレタンフォーム	・	・																																																		
部 位	処分方法	備 考																																																		
・ 増設壁の上端	※ グラウト材を注入	※ 寸法は図示による																																																		
・	・	・																																																		
8 8 耐震改修工事 連続繊維補強工事	2 連続繊維シート (8.2.13)	連続繊維の材料 ・ 炭素繊維 ・ アラミド繊維 ・ ガラス繊維 () 繊維シートのタイプ ※ 一方繊維又は一方方向シート ・ 二方向繊維 ・ () 連続繊維の材質 引張強度(含浸硬化後) ・ 3,400MPa以上 ・ 2,900MPa以上 ・ () ・ () ヤング係数(含浸硬化後) ・ 230GPa程度 ・ () ・ ()	8 9 耐震改修工事 スリット新設工事	3 基礎工事に用いる材料 (8.2.15)	砂利地業に使用する砂利 ・ 再生クワックラン ・ 切込砂利 ・ 切込砕石 砂地業に使用する砂 ・ シルト ・ 有機物等の混入しない締固めに適した山砂 ・ 川砂 ・ 砕砂 枕の材料 ※ 図示による () 継ぎ手の箇所数、材料、工法(枕に継ぎ手をつける場合) ※ 図示による	2 断熱材 (9.2.2) [9.2.3]	外断熱及び断熱材打込み工法 <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 押出法ポリスチレンフォーム</td> <td>・ 保温板(2種) ・ 25</td> <td>・ 接合部分</td> </tr> <tr> <td>・ 硬質ウレタンフォーム</td> <td>・ 保温板(3種) ・ 25</td> <td>・ 接合部分</td> </tr> <tr> <td>・ 硬質ウレタンフォーム</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> 断熱材の施工 ※ 図示による () 断熱材の施工 ※ 図示による ()	種別	厚さ(mm)	施工箇所	・ 押出法ポリスチレンフォーム	・ 保温板(2種) ・ 25	・ 接合部分	・ 硬質ウレタンフォーム	・ 保温板(3種) ・ 25	・ 接合部分	・ 硬質ウレタンフォーム	・	・	1 (連続繊維補強工事) 連続繊維シート等による工法 (8.24.6)	連続繊維による補強、補修工法 ※ (財)建築防災協会の評価を受けた工法とする。 ・ ()	2 (現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事及び鉄骨ブレースの設置工事等) 既存構造体と増設壁との取合部の処理方法 (8.21.9)	増設の現場打ち鉄筋コンクリート壁と 既存構造体との取合部の処理方法 <table border="1"> <tr> <th>部 位</th> <th>処分方法</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>・ 増設壁の上端</td> <td>※ グラウト材を注入</td> <td>※ 寸法は図示による</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>	部 位	処分方法	備 考	・ 増設壁の上端	※ グラウト材を注入	※ 寸法は図示による	・	・	・																				
種別	厚さ(mm)	施工箇所																																																		
・ 押出法ポリスチレンフォーム	・ 保温板(2種) ・ 25	・ 接合部分																																																		
・ 硬質ウレタンフォーム	・ 保温板(3種) ・ 25	・ 接合部分																																																		
・ 硬質ウレタンフォーム	・	・																																																		
部 位	処分方法	備 考																																																		
・ 増設壁の上端	※ グラウト材を注入	※ 寸法は図示による																																																		
・	・	・																																																		

熊本県建築改修工事特記仕様書

建築士事務所名	一級 建築士事務所熊本県知事登録 555 号 株式会社 太宏設計事務所	工事名称	熊本県立大学長寿命化改修(建築)工事 (第1・第2クラブ室)
設計者氏名	一級 建築士 大臣 登録第 366297 号 平田 有希雄	図面名称	熊本県建築改修工事特記仕様書 (その5) 図面番号 A-05

R5.3.17改定

クラック補修	エポキシ樹脂注入工法(自動式低圧注入)	コンクリート欠損補修①	無収縮モルタル補修工法(浅い欠損)	コンクリート欠損補修②	無収縮モルタル補修工法(深い欠損)	モルタル欠損補修	ポリマーセメントモルタル充填工法				
<p>表面処理</p> <ul style="list-style-type: none"> ひび割れに沿って5cm程度の幅で、ディスクサンダーやワイヤブラシなどでレイタンスや塵埃を除去する。油脂分はシンナーを含んだウエスでふきとる。 <p>取付けパイプの接着</p> <ul style="list-style-type: none"> 取付けパイプをひび割れの中心位置にシール材で取付ける。座金部の4つの穴よりシール材が出てくるまで押しつける。 <p>シーリング・硬化養生</p> <ul style="list-style-type: none"> シール材でひび割れ部をシールする。その後、シール材の硬化養生を行う。 <p>注入器具の取付け</p> <ul style="list-style-type: none"> 取付けパイプに注入器具の接続パイプをはめ込む。 <p>注 入</p> <ul style="list-style-type: none"> 所定の配合比で混合攪拌した樹脂を注入器具の注入口から圧入する。注入器具のゴムチューブが、注入量制限筒の内面いっぱい膨らんだら注入を止め、次の注入口に移る。 <p>注入材の養生</p> <ul style="list-style-type: none"> 樹脂の硬化養生を行う。硬化は、ゴムチューブに触れるだけで確認できる。 <p>仕 上 げ</p> <ul style="list-style-type: none"> 取付けパイプを取り除いた後、シール部をディスクサンダーで平坦に仕上げる。必要のある場合は、塗装する。 	<p>欠損範囲の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> テストハンマー等で、打診し浮きの状況と範囲を調べてマーキングする。 <p>ハツリ・清掃</p> <ul style="list-style-type: none"> 電動カッターで欠損部周辺に溝を掘ってから電動ハツリ等で浮き等がある部分を撤去する。ハツリ取った部分をブロアー等で清掃を行う。 <p>下地調整材塗布</p> <ul style="list-style-type: none"> 下地調整材を塗布する。 <p>型枠建込み</p> <ul style="list-style-type: none"> 躯体表面に型枠を取り付ける。躯体と型枠のすき間にはすき間テープを貼り、漏れ止めを施す。型枠の合板には注入口と空気抜きと設ける。 <p>無収縮モルタル圧入</p> <ul style="list-style-type: none"> 無収縮モルタル材に水を入れ攪拌し、モルタルポンプ等にて圧入を行う。 <p>硬化養生</p> <ul style="list-style-type: none"> 圧入後、無収縮モルタルが硬化するまで型枠を存置しておく。硬化後脱枠を行う。 	<p>欠損範囲の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> テストハンマー等で、打診し浮きの状況と範囲を調べてマーキングする。 <p>ハツリ・清掃</p> <ul style="list-style-type: none"> 電動カッターで欠損部周辺に溝を掘ってから電動ハツリ等で浮き等がある部分を撤去する。ハツリ取った部分をブロアー等で清掃を行う。 <p>下地調整材塗布</p> <ul style="list-style-type: none"> 下地調整材を塗布する。 <p>型枠建込み</p> <ul style="list-style-type: none"> 躯体表面に型枠を取り付ける。躯体と型枠のすき間にはすき間テープを貼り、漏れ止めを施す。型枠の合板には注入口と空気抜きと設ける。 <p>無収縮モルタル圧入</p> <ul style="list-style-type: none"> 無収縮モルタル材に水を入れ攪拌し、モルタルポンプ等にて圧入を行う。 <p>硬化養生</p> <ul style="list-style-type: none"> 圧入後、無収縮モルタルが硬化するまで型枠を存置しておく。硬化後脱枠を行う。 	<p>施工範囲の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> 監督員と協議の上施工範囲を確認する。 <p>脆弱部の除去</p> <ul style="list-style-type: none"> 欠損部周辺の脆弱部をハンマー等で軽い打撃を与えて除去する。 <p>下地処理等</p> <ul style="list-style-type: none"> 下地部分はワイヤブラシ等で汚れやほこりを除去し、清掃する。 <p>接着増強材塗布</p> <ul style="list-style-type: none"> 予め調合したポリマーセメントペースト同等品、製造所仕様で施工。 <p>樹脂モルタル充填</p> <ul style="list-style-type: none"> ポリマーセメントモルタル同等品を充填。材料の混練、塗り回数、養生日数は製造所特記とする。 <p>表面仕上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> 表面をコテで仕上げます。 <p>養 生</p> <ul style="list-style-type: none"> 各層とも急激な乾燥をさけ、適切に養生させます。 <p>清 掃</p> <ul style="list-style-type: none"> 仕上げ状態、段差の有無及び片付けを確認する。 								
<p>模式図(参考図)</p>	<p>模式図</p>	<p>模式図</p>	<p>模式図</p>								
<p>特記</p> <ul style="list-style-type: none"> エポキシ樹脂注入剤は、クラック幅に合わせて仕様を変更すること。 <table border="1"> <tr> <td>使用材料</td> <td>クラック幅 (mm)</td> </tr> <tr> <td>低粘度</td> <td>0.1~0.5</td> </tr> <tr> <td>中粘度</td> <td>0.3~1.5</td> </tr> <tr> <td>高粘度</td> <td>0.5~2.0</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 施工完了後、コア抜きによる注入状況の検査を行う。(改修仕様4.3.4による。) 	使用材料	クラック幅 (mm)	低粘度	0.1~0.5	中粘度	0.3~1.5	高粘度	0.5~2.0	<p>特記</p> <ul style="list-style-type: none"> 1回に練る量は20分以内に使い切る量にする。 モルタルの温度は10℃~35℃の間になるように、混練水の温度を調節して練ること。 規定の量を超過すると、モルタルが分離したり、規定の強度が得られなくなるため注意すること。 無収縮モルタルを練る時は、袋の全量を使い切るようにすること。 破袋または一度開封して放置された製品は使わないこと。 必要に応じて、モルタルが適当にしまった時点でコテ仕上げを行うこと。 養生は、急激な乾燥が起きないように濡れた布等で覆うなどして直射日光や風が直接当たらないように注意すること。 	<p>特記</p> <ul style="list-style-type: none"> 1回に練る量は20分以内に使い切る量にする。 モルタルの温度は10℃~35℃の間になるように、混練水の温度を調節して練ること。 規定の量を超過すると、モルタルが分離したり、規定の強度が得られなくなるため注意すること。 無収縮モルタルを練る時は、袋の全量を使い切るようにすること。 破袋または一度開封して放置された製品は使わないこと。 必要に応じて、モルタルが適当にしまった時点でコテ仕上げを行うこと。 養生は、急激な乾燥が起きないように濡れた布等で覆うなどして直射日光や風が直接当たらないように注意すること。 	<p>特記</p> <ul style="list-style-type: none"> 混練不足は、ひび割れの原因となるので、よく攪拌すること。 混練水量は正確に計量を行うこと。 凝結時間に注意の上、施工すること。 速硬タイプの為、一度に施工可能な分にて混練を行うこと。 一度硬化が始まったモルタルの練り直しは行わない。 夏期の気温が高い日は、粉体及び練混ぜ水の温度が上がり過ぎないように適切な処置を行うこと。
使用材料	クラック幅 (mm)										
低粘度	0.1~0.5										
中粘度	0.3~1.5										
高粘度	0.5~2.0										

Pコン欠損補修	速硬性ポリマーセメントモルタル補修	浮きタイル補修	アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	タイル欠損補修	タイル部分張替工法
<p>ケレン・清掃</p> <ul style="list-style-type: none"> 下地のレイタンス、脆弱部、埃等をワイヤブラシ等を用いてケレン・清掃・除去を行う。 <p>防錆剤の塗布</p> <ul style="list-style-type: none"> セパレーターに防錆剤を塗布する。錆が発生している場合は、ワイヤブラシ等でケレン・清掃を行った後防錆剤を塗布する。 <p>水湿し</p> <ul style="list-style-type: none"> 除去・清掃後、下地に十分な水湿しを行い、湿潤状態にする。 <p>混練・塗付け</p> <ul style="list-style-type: none"> 充填材を製品の施工要領に沿って混練し、指先などで下地により密着するように充填を行う。 <p>仕上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> 塗付けた材料の水引を見計らって、金ごて等で平滑にする。 	<p>浮きの確認</p> <ul style="list-style-type: none"> 施工前調査にて範囲確認、健全部へ10cm幅広くマーキングを行う。 <p>穿孔位置の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> アンカーピン本数 一般部分 13本1.2穴/m²、指定部分 20本2.0穴/m²(見上げ(天井)部分) 狭幅部(幅200mm以下)は5本 5穴/m²。 <p>穿 孔</p> <ul style="list-style-type: none"> ピン直径より2mm程大きい直径とする。躯体中に30mm/程度のピンの定着長を取る深さとする。 <p>清 掃</p> <ul style="list-style-type: none"> 清掃はハンドブロアー、Qガン等を用いる。 <p>エポキシ樹脂充填</p> <ul style="list-style-type: none"> 注入量は25cc/1穴とする。 打音による浮き代判定から樹脂の粘度を選定する。 <p>アンカーピン挿入</p> <ul style="list-style-type: none"> アンカーは、SU S304全ネジ皿付ステンレスピンとする。ピンの長さは、モルタル厚みにより異なるが30mmの躯体定着長を確保すること。ピンの径は、4mm以上とする。 <p>表面処理清掃</p> <ul style="list-style-type: none"> ピンの体積により流出するエポキシ樹脂を利用し、ピンを被い仕上材に合わせ仕上りとする。 	<p>確 認</p> <ul style="list-style-type: none"> テストハンマー等を用いてタイル浮き・剥離等(改修範囲)の状況を確認し、張替え範囲を決定する。 <p>タイル除去</p> <ul style="list-style-type: none"> タイル張り仕上げの撤去(はつり落とし)を行う。張付けモルタルまで除去する。 <p>水洗い・清掃</p> <ul style="list-style-type: none"> タイル撤去範囲の水洗い、清掃を行う。(改修下地の清掃) <p>不陸調整</p> <ul style="list-style-type: none"> タイル撤去に伴う、タイル下地の不陸調整を行う。ポリマーセメントモルタル等、断面修復用モルタルを使用する。 <p>補修タイル張</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存タイルの部分張替えを行う。仕上げ状態、段差の有無を確認する。 <p>酸洗い・清掃</p> <ul style="list-style-type: none"> 張替え範囲の酸洗い、清掃を行う。 	<p>模式図</p>	<p>模式図</p>	<p>模式図</p>
<p>特記</p> <ul style="list-style-type: none"> 混練不足は、ひび割れの原因となるので、よく攪拌すること。 混練水量は正確に計量を行うこと。 凝結時間に注意の上、施工すること。 速硬タイプの為、一度に施工可能な分にて混練を行うこと。 一度硬化が始まったモルタルの練り直しは行わない。 夏期の気温が高い日は、粉体及び練混ぜ水の温度が上がり過ぎないように適切な処置を行うこと。 	<p>特記</p> <ul style="list-style-type: none"> アンカーピンの固定は夏期は15時間、冬期は24時間程度は衝撃を与えぬこと。 モルタル層間剥離が予想されるためステンレスピンは皿付が望ましい。 エポキシ樹脂の粘度は、浮き代と温度により決定する。 エポキシは、JIS A 6024とする。 ステンレスピンは、SU S 304 全ネジ皿付とする。 樹脂注入材の広がりやハンマー打診を確認すること。 	<p>特記</p> <ul style="list-style-type: none"> 改修用タイルについて、既設タイルと同一品がない場合、手配可能な同等品を選定し、監督員の承認を受けること。 			

工事概要表

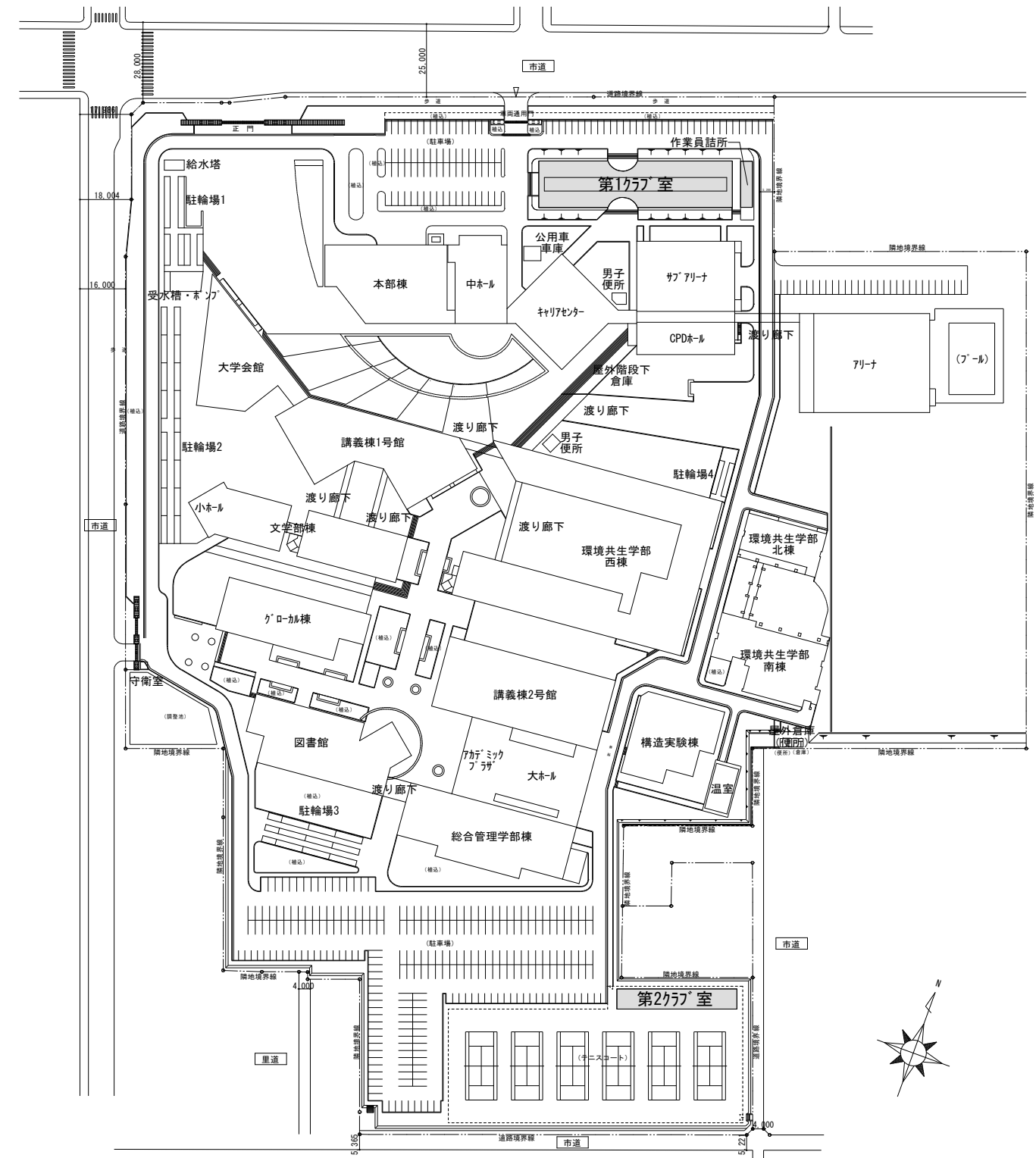
工事名称	熊本県立大学長寿命化改修（建築）工事 第1クラブ室棟
工事場所	熊本県熊本市東区月出3丁目1番100号（キャンパス）
延床面積	第1クラブ室：456.00㎡ 第2クラブ室：507.40㎡
構造階数	第1クラブ室：RC造 平屋 第2クラブ室：CB造 2階建
工事概要	内部：内部改修工事、建具改修工事、吹付・塗装改修工事

共通事項

1	工事着手に先立ち現地確認を実施し、学校関係者にヒアリングを行った上で総合施工計画書を作成すること。
2	総合施工計画書には工事使用範囲、及び作業動線、学校使用者の動線を記入した図面を添付すること。
3	工事関係者と学校使用者の動線が重複する箇所の安全配慮を十分に行うこと。
4	学校行事のヒアリングを行い、工事工程の管理を十分に行うこと。
5	各種工事着手に先立ち、施工計画書を作成し、監督者の承認を受けること。
6	本工事に使用する材料は、原則として全てF☆☆☆☆の規格に適合するものとする。
7	工事範囲以外の建物の部分、又は既存工作物を破損した場合は現況復旧とする。
8	仕上げ材料の選定にあたっては施工前に監督者及び発注者と十分協議の上決定のこと。
9	工事中に汚染や損傷の恐れのある材料及び箇所は、適切な方法で養生すること。
10	工事着手前に施工数量調査を行い、参考数量との比較を行うこと。
11	工事写真は、図面に記載している改修番号毎に着手前、施工中、施工後の記録を残すこと。
12	工事写真には工事名、位置、年月日入りの小黒板、及び撮影対象には主要寸法が読みとれる目盛を入れること。
13	施工前に施工調査を行い、改修部分のマーキングを行い監督者の検査を受けること。
14	マーキング状況は、全数写真管理すること。
15	復旧にあたり、工法の変更を行う場合は事前に監督者の承認を受けること。
16	完成写真は監督者の指示により撮影し、工事写真帳に貼付け、ファイル綴じの上、監督員に2部提出すること。
17	完成写真は、改修部分が改修前と対比できる様に整理すること。
18	復旧にあたり、仕上げは既存仕上げ（若しくは同等品）に合わせる。
19	各居室の備品を移動の際は、使用者と打合せの上、作業を行うこと。
20	吹付け・塗装を行う箇所は、素地ごしらえ又は下地調整を行うこと。
21	アスベスト含有材の撤去・下地調整を行う場合は、粉塵飛散防止対策を行うこと。



付近見取図



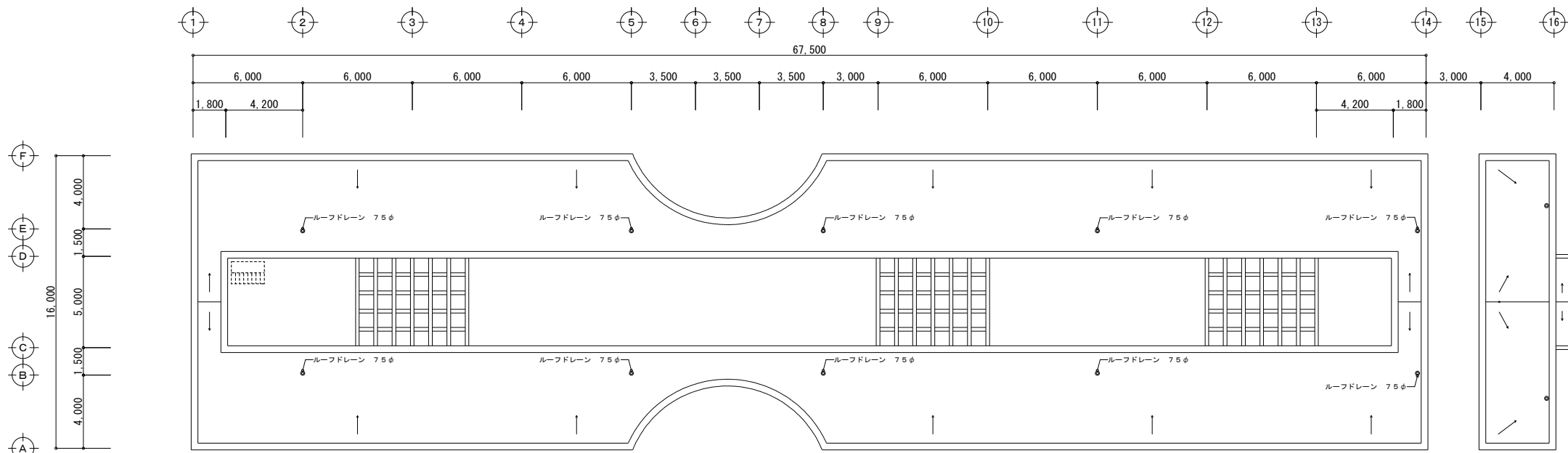
配置図

凡例
 改修対象建物を示す。

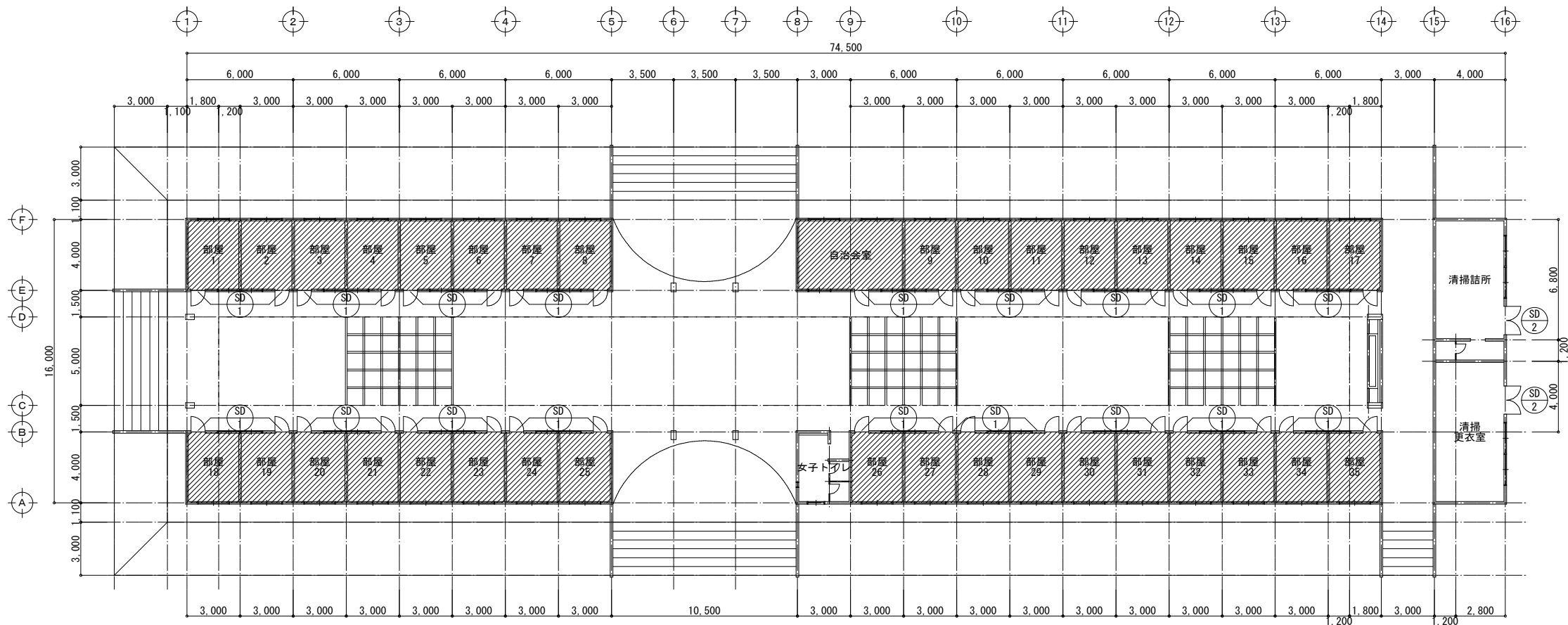
内部仕上表

(一) 表記は既存のままとする。 ※アスベスト含有材：壁AEP塗材、t-6ケイカル板

階	室名	天井高	床高	床		壁				天井		廻り縁	備考	
				下地	仕上	下地	巾木	高さ	仕上	下地	仕上			
1	部室25 (体育委員会)	改修前	2.380	—	コンクリート金ゴテ	表面硬化処理材塗布	コンクリート,石膏ボード	AEP塗装	100	AEP塗装、一部ケイカル板張り AEP塗装	コンクリート打放し	パライト吹付(発砲断熱材下地)	—	—
		改修後	2.380	—	—	—	—	下地調整(RA)の上、EP-G塗装	100	下地調整(RA)の上、EP-G塗装	—	下地調整(RA)の上、リシン吹付	—	—
	部室26 (自治会倉庫)	改修前	2.380	—	コンクリート金ゴテ	表面硬化処理材塗布	コンクリート,石膏ボード	AEP塗装	100	AEP塗装、一部ケイカル板張り AEP塗装	コンクリート打放し	パライト吹付(発砲断熱材下地)	—	—
		改修後	2.380	—	—	—	—	下地調整(RA)の上、EP-G塗装	100	下地調整(RA)の上、EP-G塗装	—	下地調整(RA)の上、リシン吹付	—	壁：欠損部コンクリートハツリ後、鉄筋サビ除去の上、防錆剤塗布 ポリマーセメントモルタル充填
	部室27 (MR研究会)	改修前	2.380	—	コンクリート金ゴテ	表面硬化処理材塗布	コンクリート,石膏ボード	AEP塗装	100	AEP塗装、一部ケイカル板張り AEP塗装	コンクリート打放し	パライト吹付(発砲断熱材下地)	—	—
		改修後	2.380	—	—	—	—	下地調整(RA)の上、EP-G塗装	100	下地調整(RA)の上、EP-G塗装	—	下地調整(RA)の上、リシン吹付	—	—
	部室28 (サイバーゲーム サークル)	改修前	2.380	—	コンクリート金ゴテ	表面硬化処理材塗布	コンクリート,石膏ボード	AEP塗装	100	AEP塗装、一部ケイカル板張り AEP塗装	コンクリート打放し	パライト吹付(発砲断熱材下地)	—	—
		改修後	2.380	—	—	—	—	下地調整(RA)の上、EP-G塗装	100	下地調整(RA)の上、EP-G塗装	—	下地調整(RA)の上、リシン吹付	—	—
	部室29 (テーブルゲーム)	改修前	2.380	—	コンクリート金ゴテ	表面硬化処理材塗布	コンクリート,石膏ボード	AEP塗装	100	AEP塗装、一部ケイカル板張り AEP塗装	コンクリート打放し	パライト吹付(発砲断熱材下地)	—	—
		改修後	2.380	—	—	—	一部石膏ボード撤去新設	下地調整(RA)の上、EP-G塗装	100	下地調整(RA)の上、EP-G塗装 一部ケイカル板撤去・新設 EP-G塗装	—	下地調整(RA)の上、リシン吹付	—	壁：欠損部コンクリートハツリ後、鉄筋サビ除去の上、防錆剤塗布 ポリマーセメントモルタル充填
	部室30 (自治会(執行委員会))	改修前	2.380	—	コンクリート金ゴテ	表面硬化処理材塗布	コンクリート,石膏ボード	AEP塗装	100	AEP塗装、一部ケイカル板張り AEP塗装	コンクリート打放し	パライト吹付(発砲断熱材下地)	—	—
		改修後	2.380	—	—	—	—	下地調整(RA)の上、EP-G塗装	100	下地調整(RA)の上、EP-G塗装	—	下地調整(RA)の上、リシン吹付	—	—
	部室31 (印刷室)	改修前	2.380	—	コンクリート金ゴテ	表面硬化処理材塗布	コンクリート,石膏ボード	AEP塗装	100	AEP塗装、一部ケイカル板張り AEP塗装	コンクリート打放し	パライト吹付(発砲断熱材下地)	—	—
		改修後	2.380	—	—	—	—	下地調整(RA)の上、EP-G塗装	100	下地調整(RA)の上、EP-G塗装	—	下地調整(RA)の上、リシン吹付	—	—
	部室32 (天文部)	改修前	2.380	—	コンクリート金ゴテ	表面硬化処理材塗布	コンクリート,石膏ボード	AEP塗装	100	AEP塗装、一部ケイカル板張り AEP塗装	コンクリート打放し	パライト吹付(発砲断熱材下地)	—	—
		改修後	2.380	—	—	—	—	下地調整(RA)の上、EP-G塗装	100	下地調整(RA)の上、EP-G塗装	—	下地調整(RA)の上、リシン吹付	—	—
	部室33 (合唱部)	改修前	2.380	—	コンクリート金ゴテ	表面硬化処理材塗布	コンクリート,石膏ボード	AEP塗装	100	AEP塗装、一部ケイカル板張り AEP塗装	コンクリート打放し	パライト吹付(発砲断熱材下地)	—	—
		改修後	2.380	—	—	—	—	下地調整(RA)の上、EP-G塗装	100	下地調整(RA)の上、EP-G塗装	—	下地調整(RA)の上、リシン吹付	—	—
	部室34	改修前	2.380	—	コンクリート金ゴテ	表面硬化処理材塗布	コンクリート,石膏ボード	AEP塗装	100	AEP塗装、一部ケイカル板張り AEP塗装	コンクリート打放し	パライト吹付(発砲断熱材下地)	—	—
		改修後	2.380	—	—	—	—	下地調整(RA)の上、EP-G塗装	100	下地調整(RA)の上、EP-G塗装	—	下地調整(RA)の上、リシン吹付	—	—
	部室35 (PUKリンピック委員会)	改修前	2.380	—	コンクリート金ゴテ	表面硬化処理材塗布	コンクリート,石膏ボード	AEP塗装	100	AEP塗装、一部ケイカル板張り AEP塗装	コンクリート打放し	パライト吹付(発砲断熱材下地)	—	—
		改修後	2.380	—	—	—	—	下地調整(RA)の上、EP-G塗装	100	下地調整(RA)の上、EP-G塗装	—	下地調整(RA)の上、リシン吹付	—	—



屋根伏図

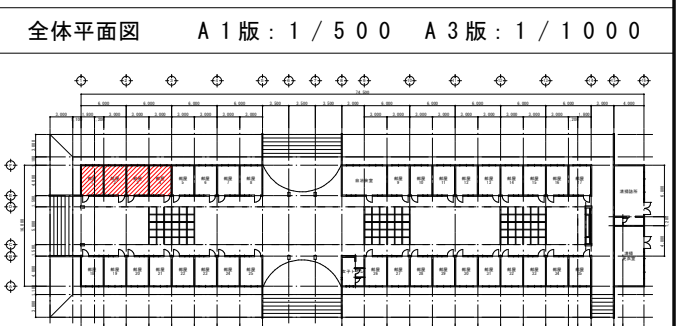
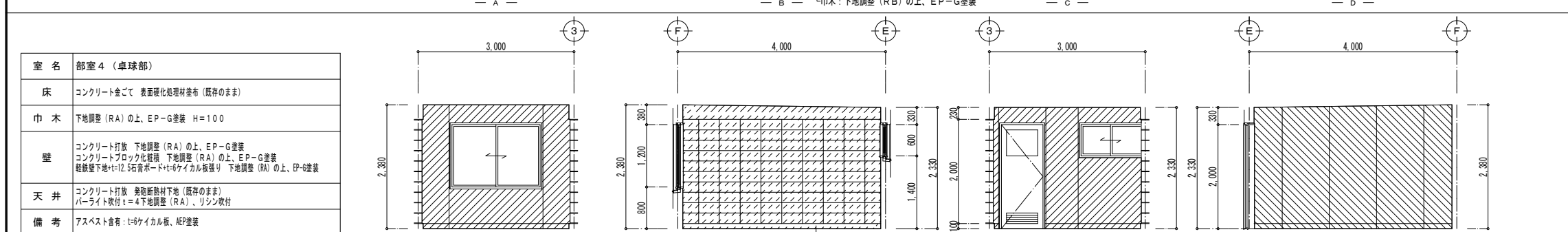
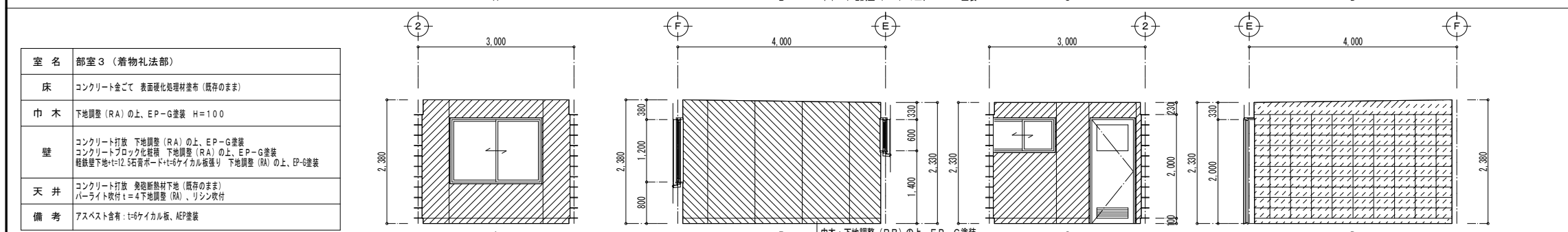
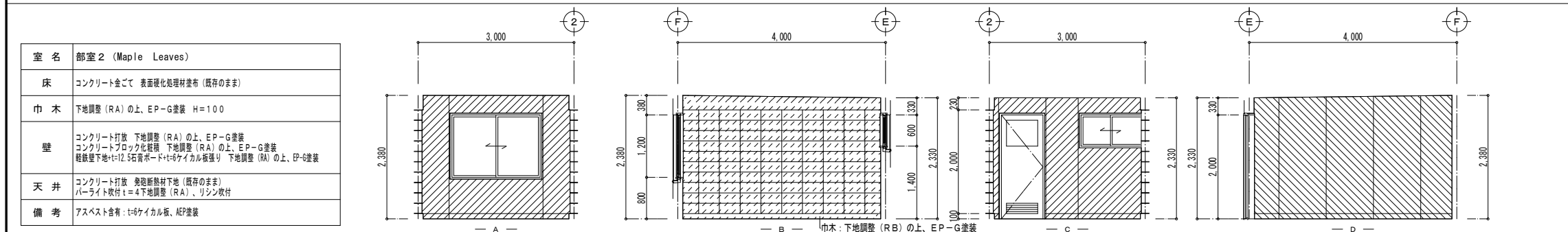
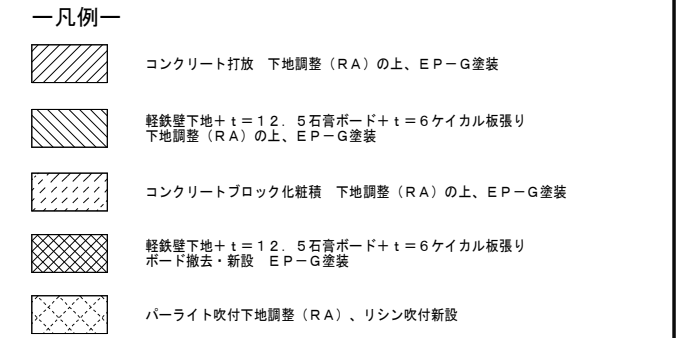
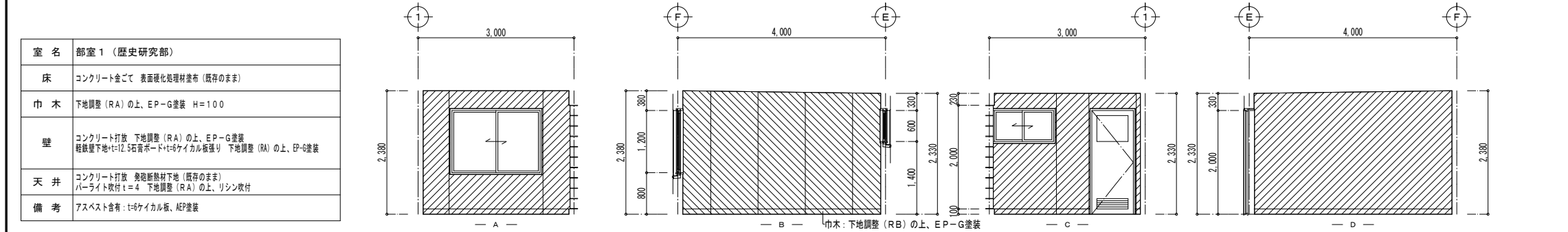
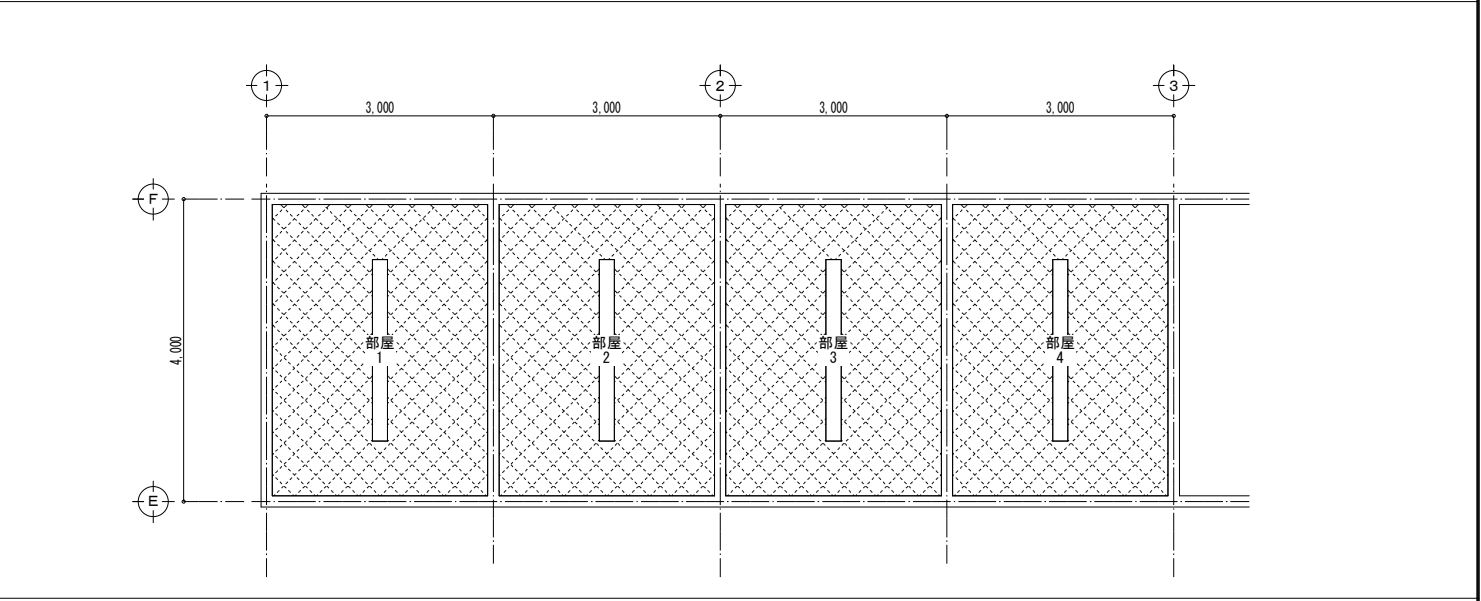
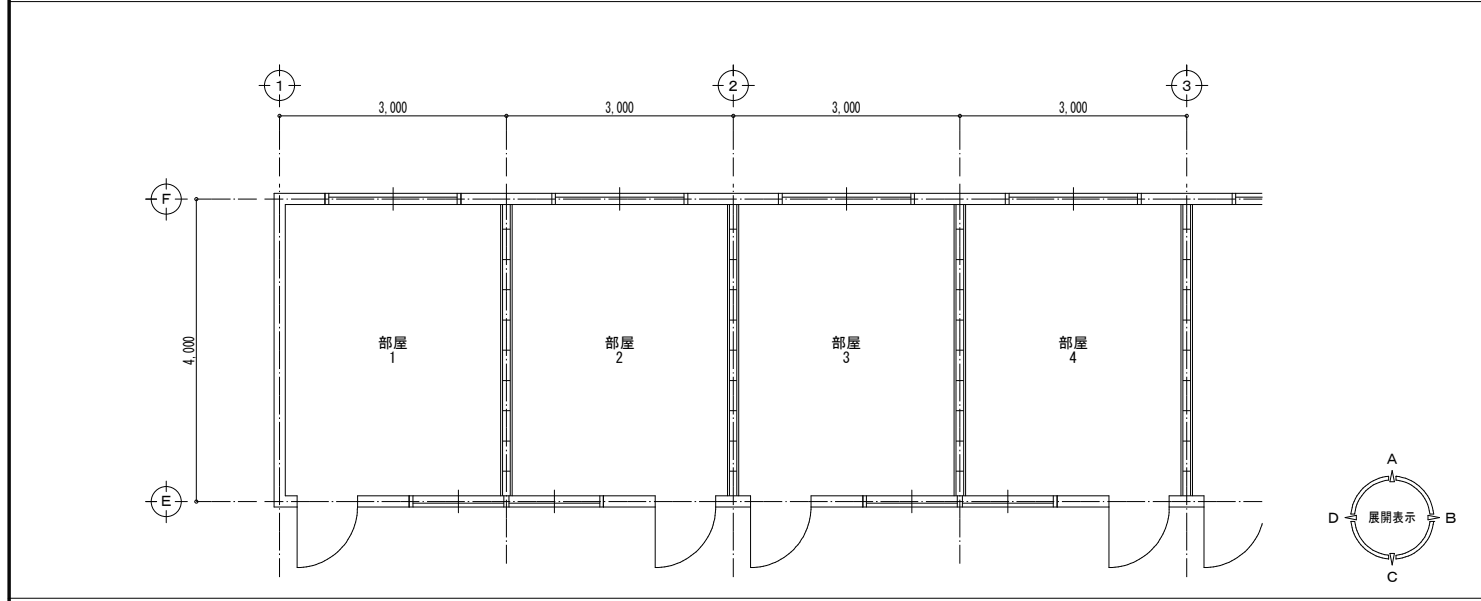


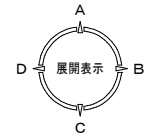
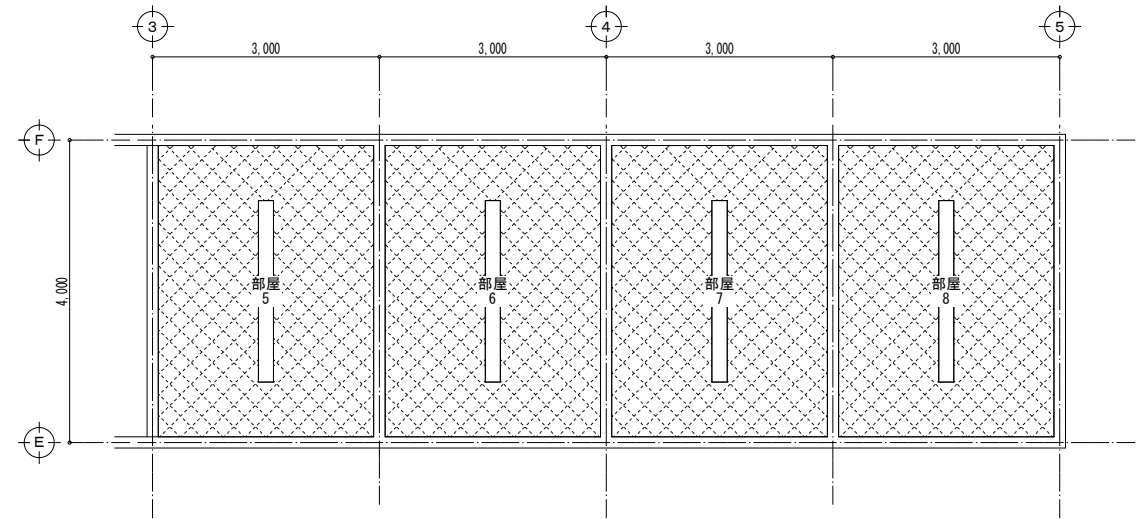
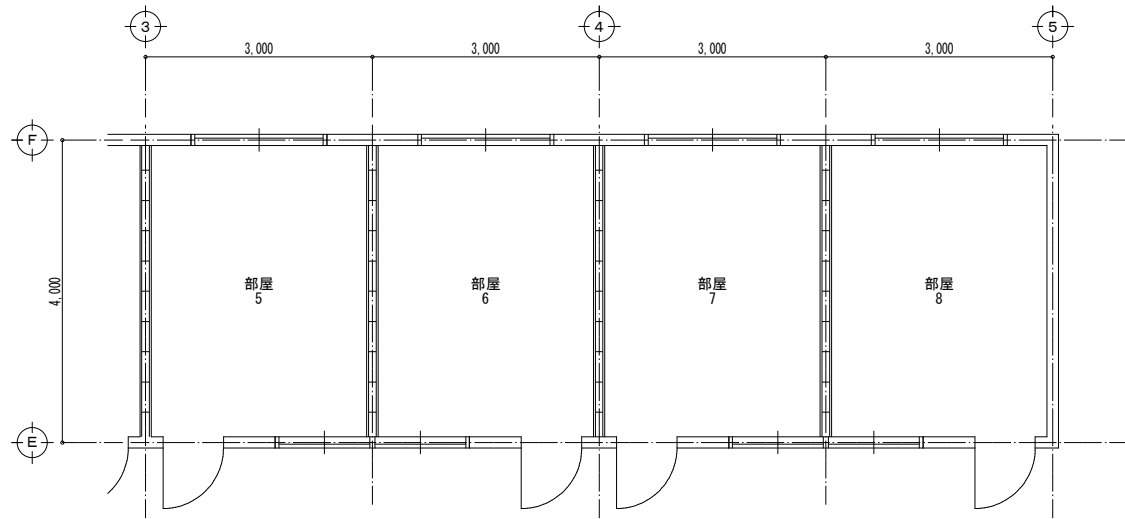
1階平面図

改修範囲を示す。

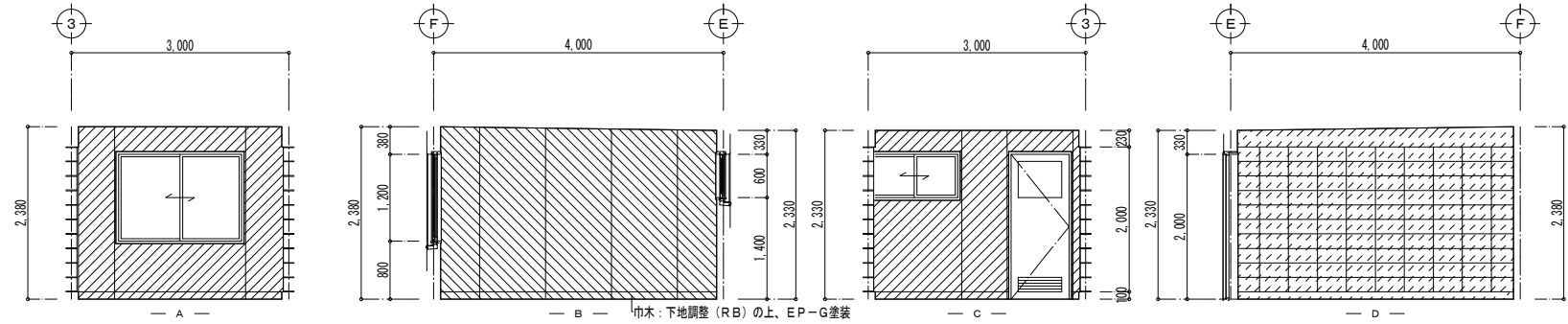
建具表

形式	片開きフラッシュドア
室名	部屋 自治会室
姿図	
数量	36
仕上げ	スチール
ガラス	t=5.0 透明
見込	100
金物	付属金物一式
備考	-
形式	両開きフラッシュドア
室名	掃除詰所 清掃更衣室
姿図	
数量	2
仕上げ	スチール
ガラス	-
見込	100
金物	付属金物一式
備考	-



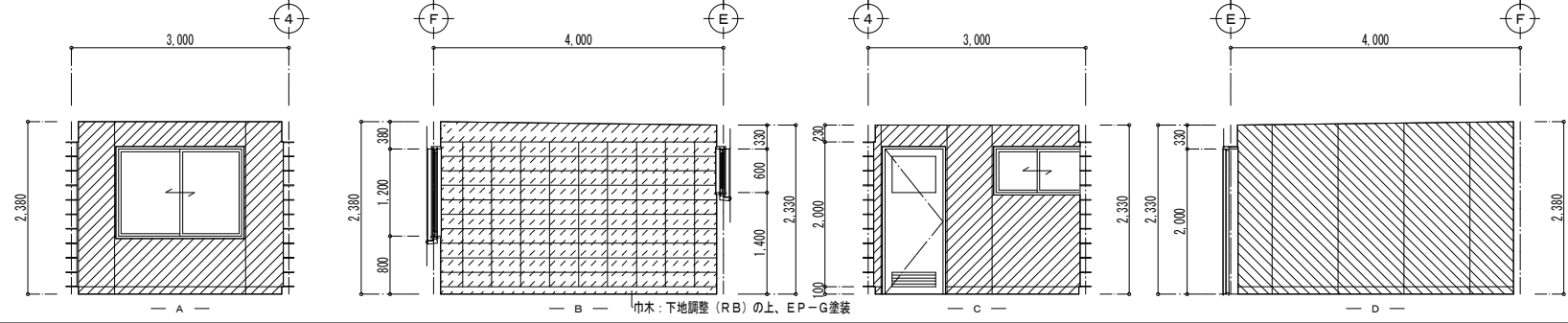


室名	部屋5 (PRETTY MADONNA)
床	コンクリート金ごて 表面硬化処理材塗布 (既存のまま)
巾木	下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 H=100
壁	コンクリート打放 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 コンクリートブロック化粧積 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
天井	コンクリート打放 発砲断熱材下地 (既存のまま) パーライト吹付 t=4下地調整 (RA)、リシン吹付
備考	アスベスト含有: t=6ケイカル板、ACF塗装

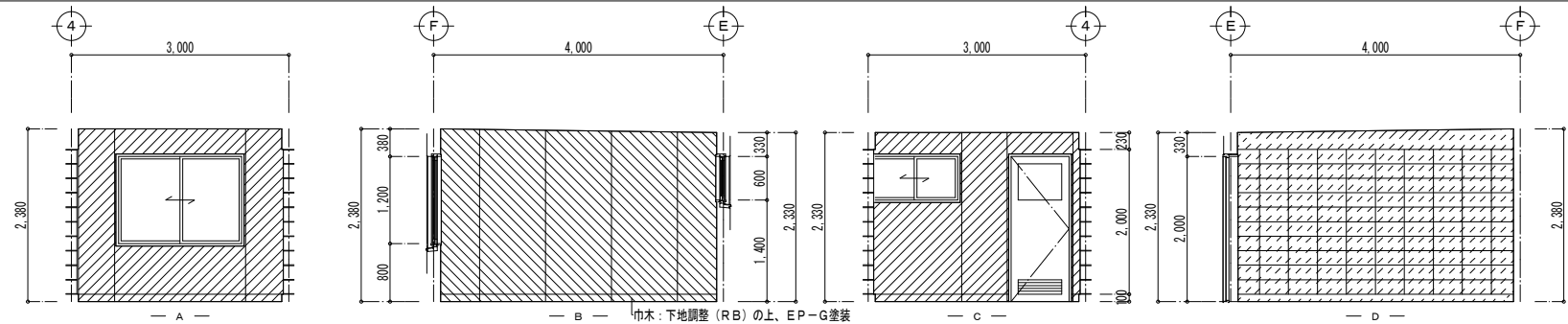


- 一凡例一
- コンクリート打放 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
 - 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
 - コンクリートブロック化粧積 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
 - 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り ボード撤去・新設 EP-G塗装
 - パーライト吹付下地調整 (RA)、リシン吹付新設

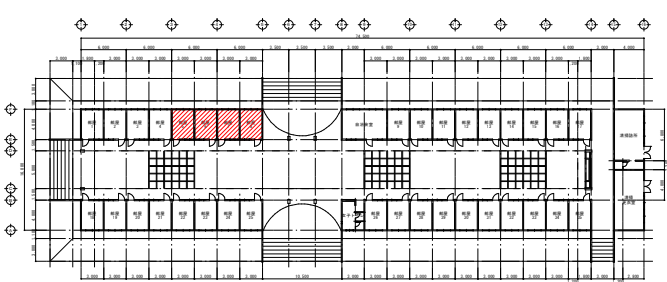
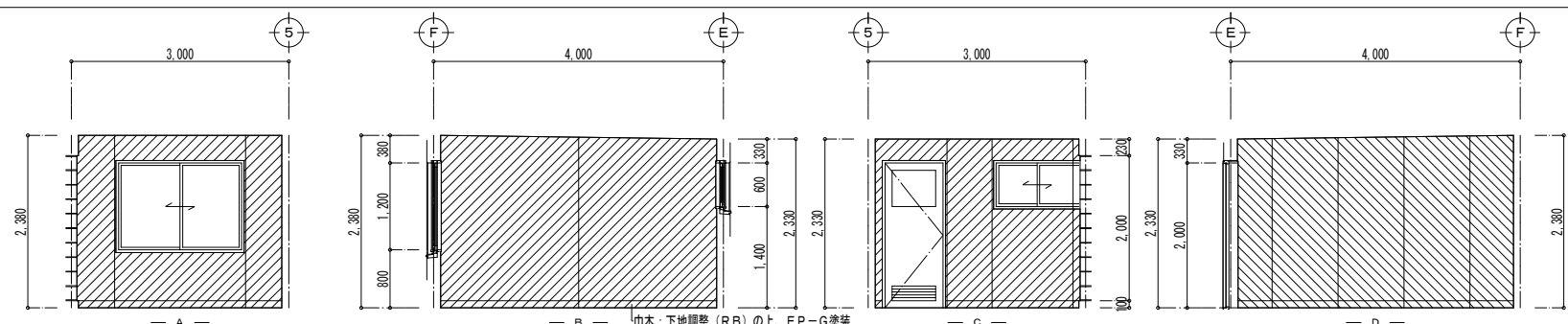
室名	部屋6 (吹奏楽部)
床	コンクリート金ごて 表面硬化処理材塗布 (既存のまま)
巾木	下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 H=100
壁	コンクリート打放 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 コンクリートブロック化粧積 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
天井	コンクリート打放 発砲断熱材下地 (既存のまま) パーライト吹付 t=4下地調整 (RA)、リシン吹付
備考	アスベスト含有: t=6ケイカル板、ACF塗装

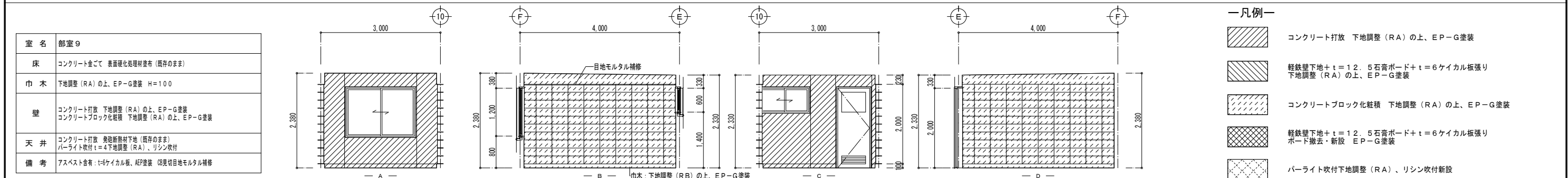
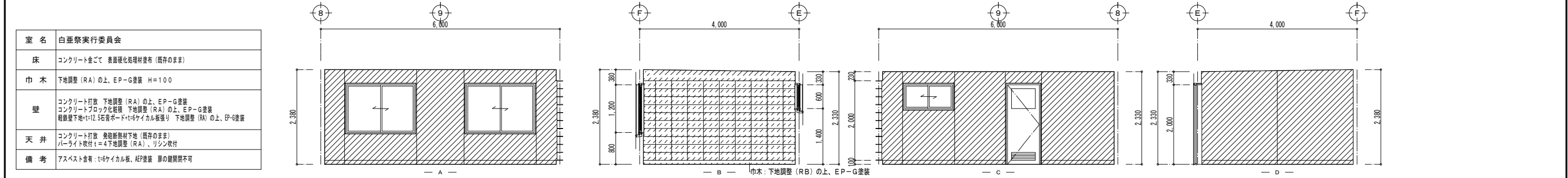
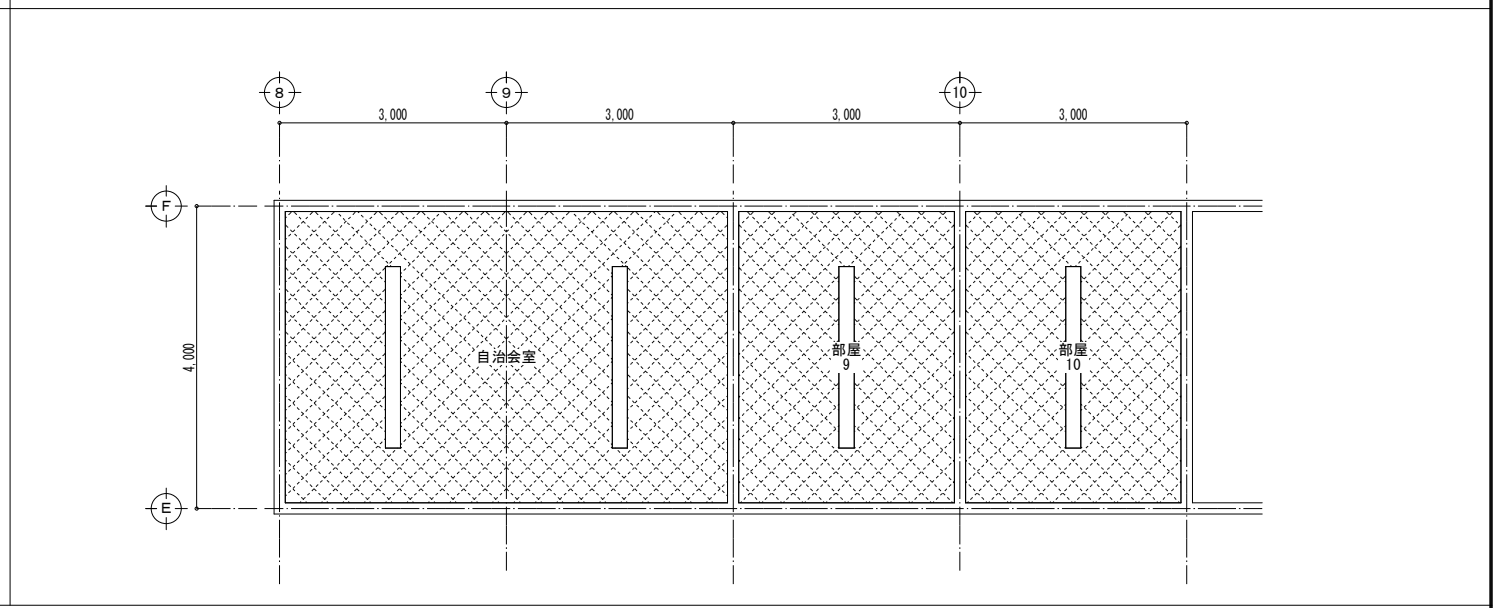
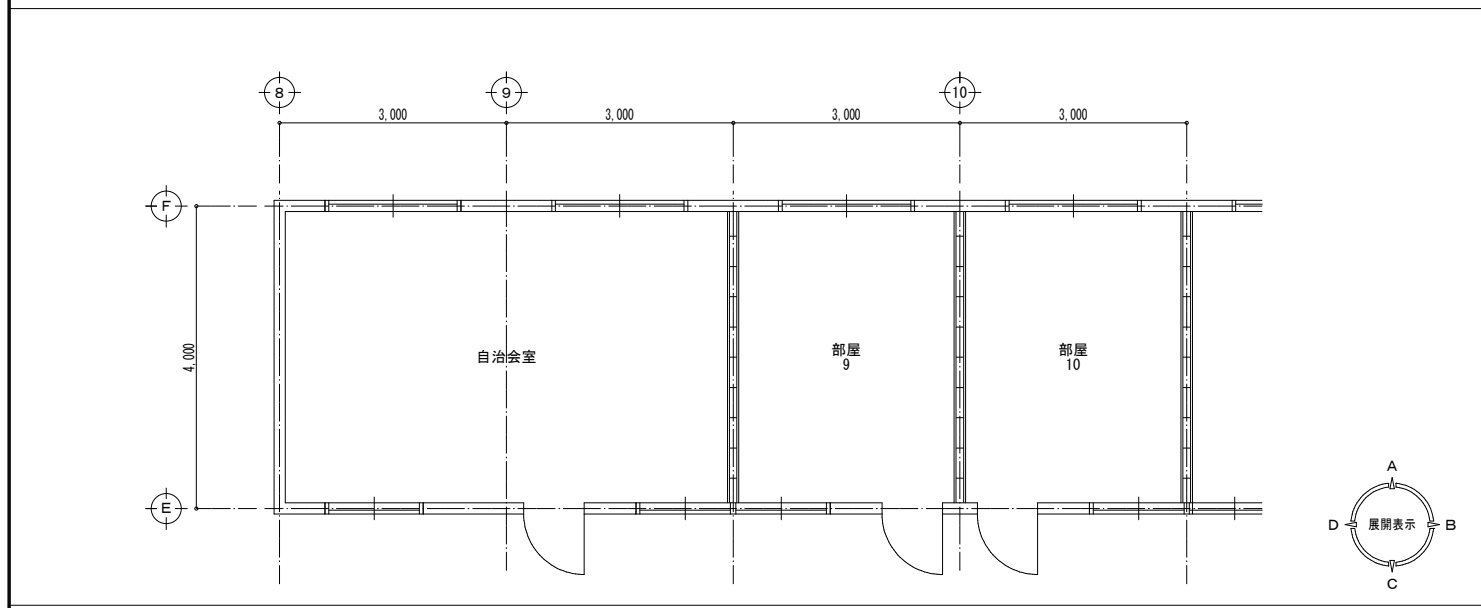


室名	部屋7 (NPO法人 Charity Santa)
床	コンクリート金ごて 表面硬化処理材塗布 (既存のまま)
巾木	下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 H=100
壁	コンクリート打放 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 コンクリートブロック化粧積 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
天井	コンクリート打放 発砲断熱材下地 (既存のまま) パーライト吹付 t=4下地調整 (RA)、リシン吹付
備考	アスベスト含有: t=6ケイカル板、ACF塗装 扉の鍵閉不可

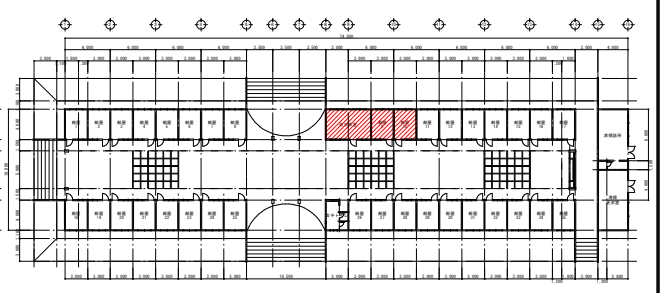
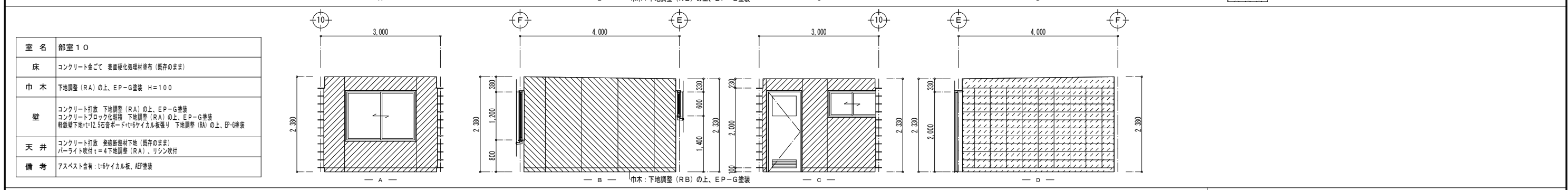


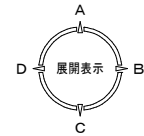
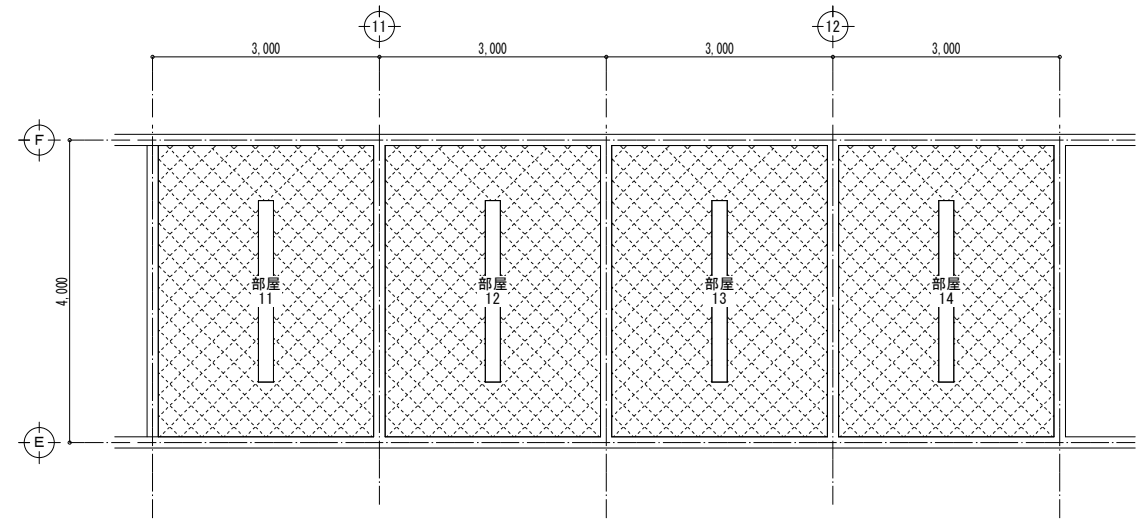
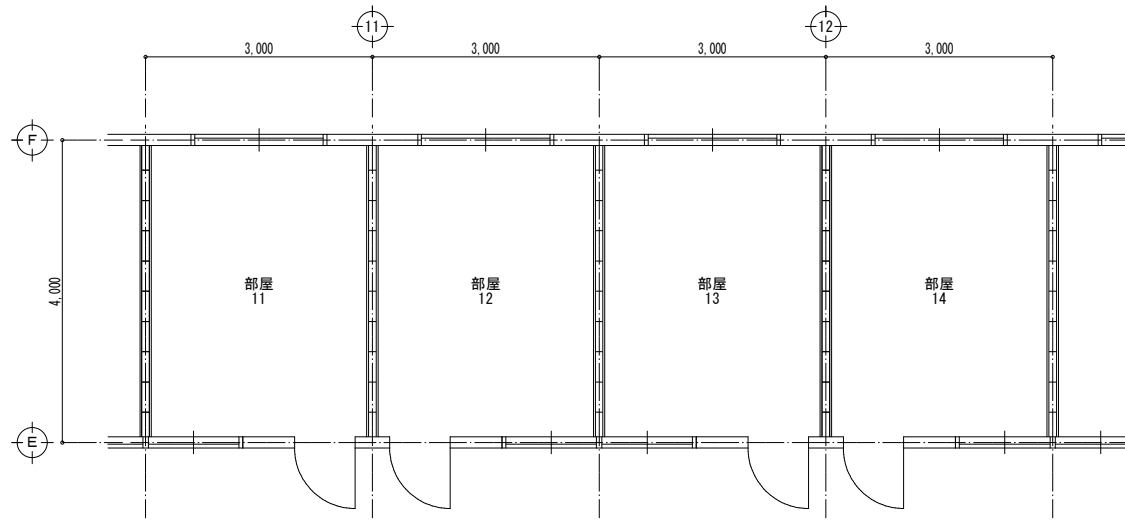
室名	部屋8 (文化委員会)
床	コンクリート金ごて 表面硬化処理材塗布 (既存のまま)
巾木	下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 H=100
壁	コンクリート打放 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
天井	コンクリート打放 発砲断熱材下地 (既存のまま) パーライト吹付 t=4下地調整 (RA)、リシン吹付
備考	アスベスト含有: t=6ケイカル板、ACF塗装



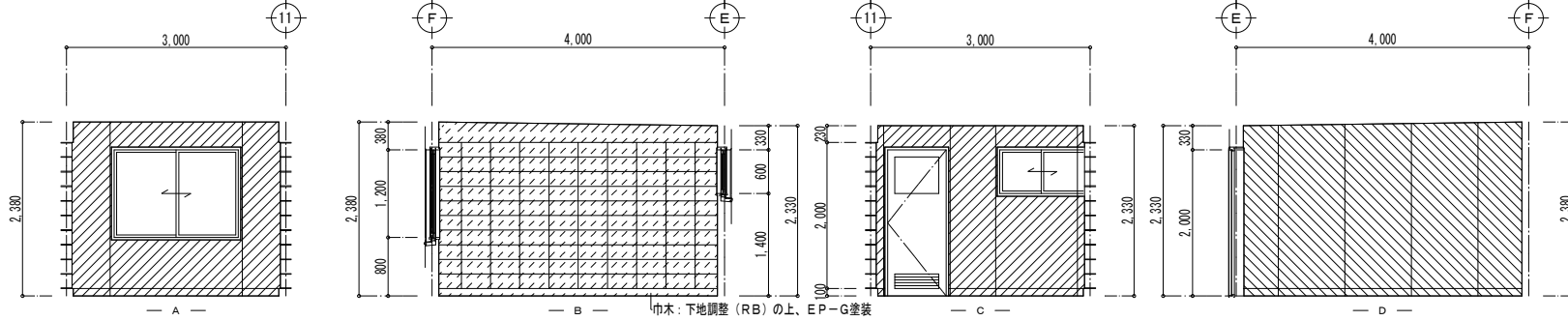


- 一凡例一
- コンクリート打放 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
 - 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
 - コンクリートブロック化粧積 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
 - 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り ボード撤去・新設 EP-G塗装
 - パーライト吹付下地調整 (RA)、リシン吹付新設





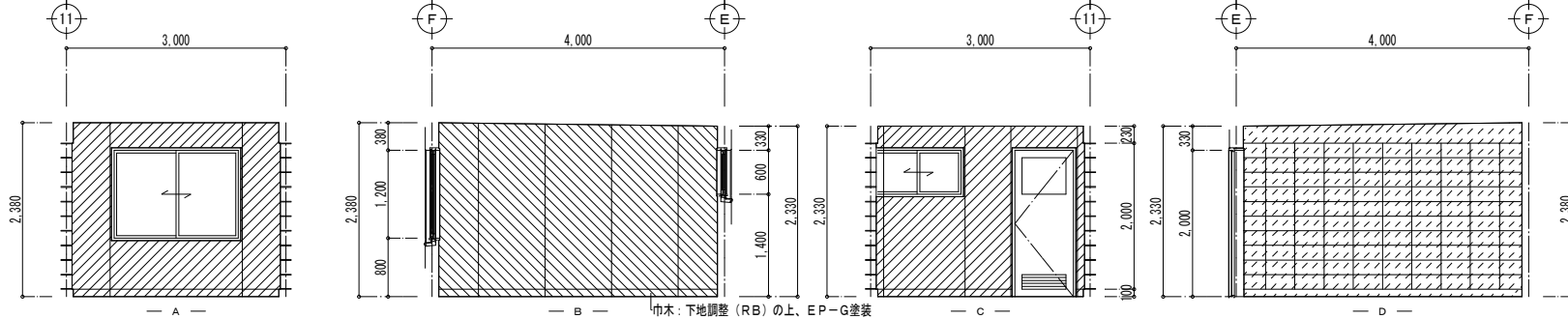
室名	部屋11 (文芸部)
床	コンクリート金ごて 表面硬化処理材塗布 (既存のまま)
巾木	下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 H=100
壁	コンクリート打放 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 コンクリートブロック化粧積 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
天井	コンクリート打放 発砲断熱材下地 (既存のまま) パーライト吹付 t=4下地調整 (RA)、リシン吹付
備考	アスベスト含有: t=6ケイカル板、ACF塗装



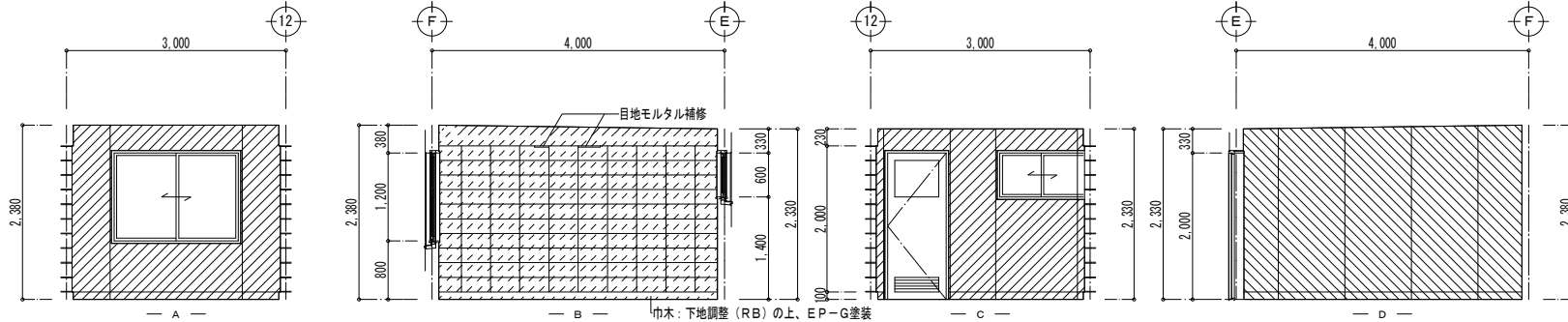
一凡例一

- コンクリート打放 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
- 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
- コンクリートブロック化粧積 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
- 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り ボード撤去・新設 EP-G塗装
- パーライト吹付下地調整 (RA)、リシン吹付新設

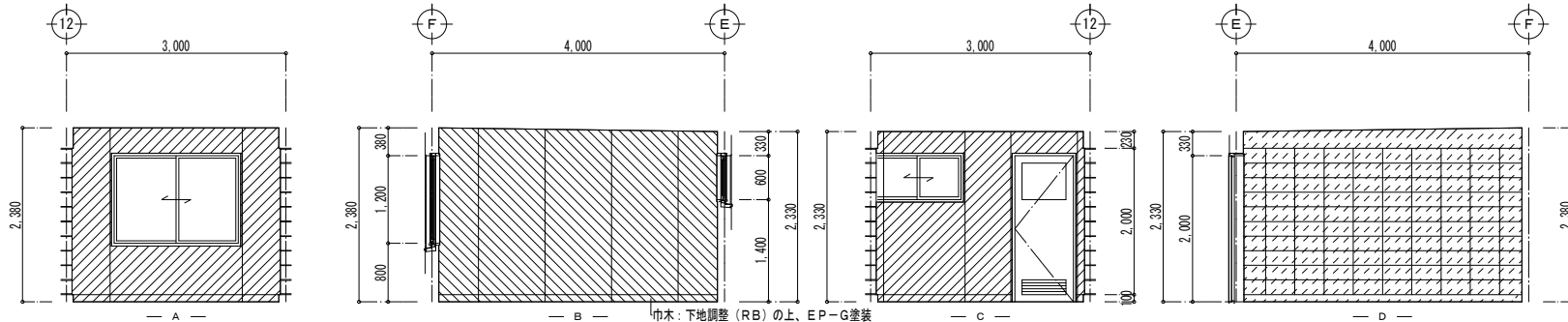
室名	部屋12 (生け花 Merci)
床	コンクリート金ごて 表面硬化処理材塗布 (既存のまま)
巾木	下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 H=100
壁	コンクリート打放 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 コンクリートブロック化粧積 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
天井	コンクリート打放 発砲断熱材下地 (既存のまま) パーライト吹付 t=4下地調整 (RA)、リシン吹付
備考	アスベスト含有: t=6ケイカル板、ACF塗装



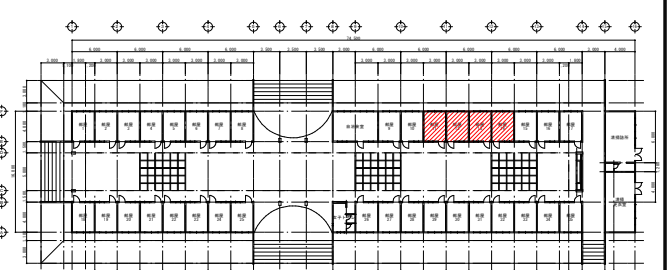
室名	部屋13 (書道部)
床	コンクリート金ごて 表面硬化処理材塗布 (既存のまま)
巾木	下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 H=100
壁	コンクリート打放 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 コンクリートブロック化粧積 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
天井	コンクリート打放 発砲断熱材下地 (既存のまま) パーライト吹付 t=4下地調整 (RA)、リシン吹付
備考	アスベスト含有: t=6ケイカル板、ACF塗装 隠見切目地モルタル補修

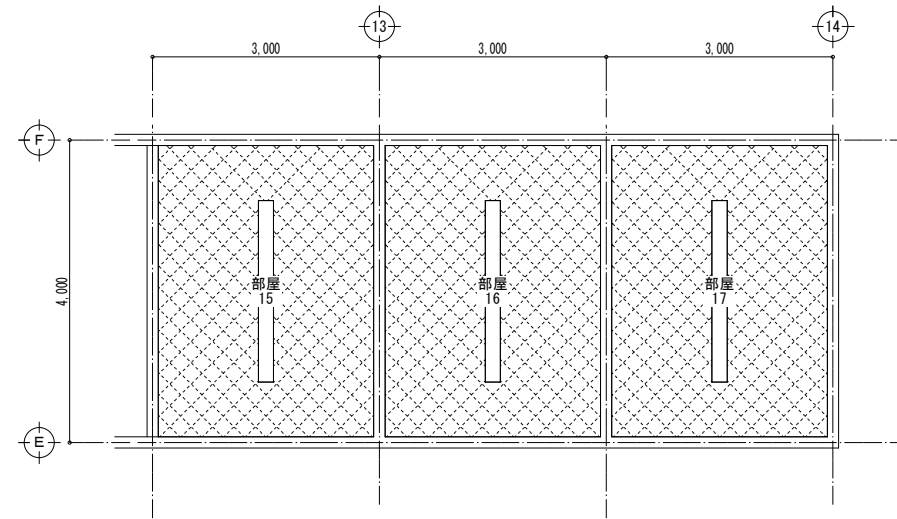
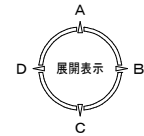
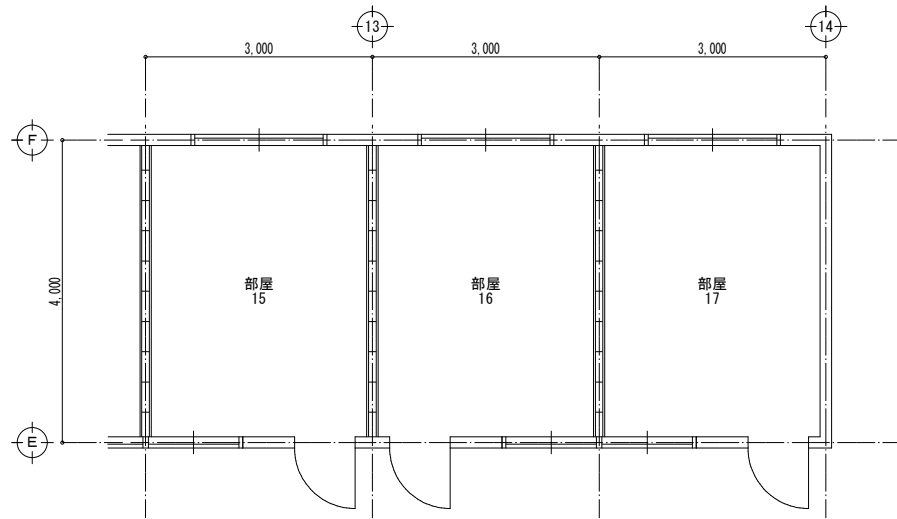


室名	部屋14 (映像研究部)
床	コンクリート金ごて 表面硬化処理材塗布 (既存のまま)
巾木	下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 H=100
壁	コンクリート打放 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 コンクリートブロック化粧積 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
天井	コンクリート打放 発砲断熱材下地 (既存のまま) パーライト吹付 t=4下地調整 (RA)、リシン吹付
備考	アスベスト含有: t=6ケイカル板、ACF塗装 扉の隠開閉不可

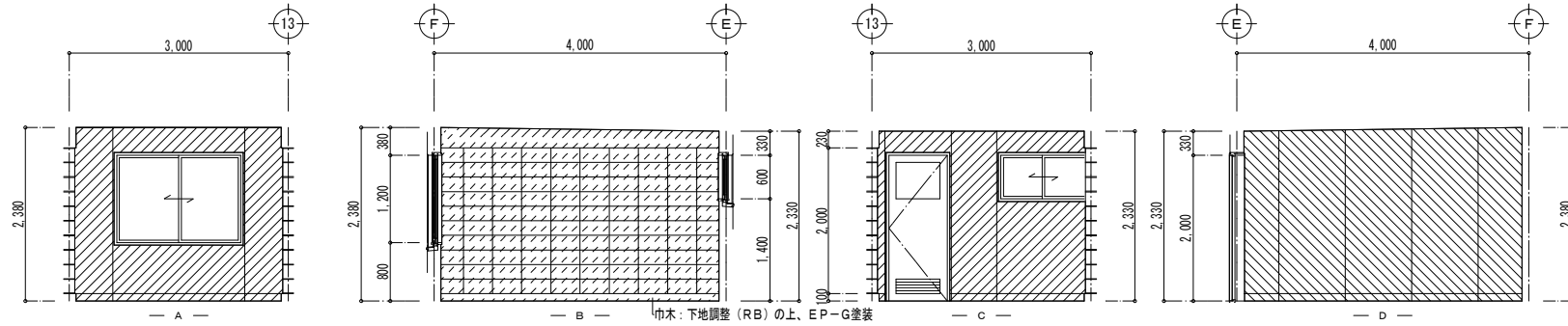


全体平面図 A1版: 1/500 A3版: 1/1000





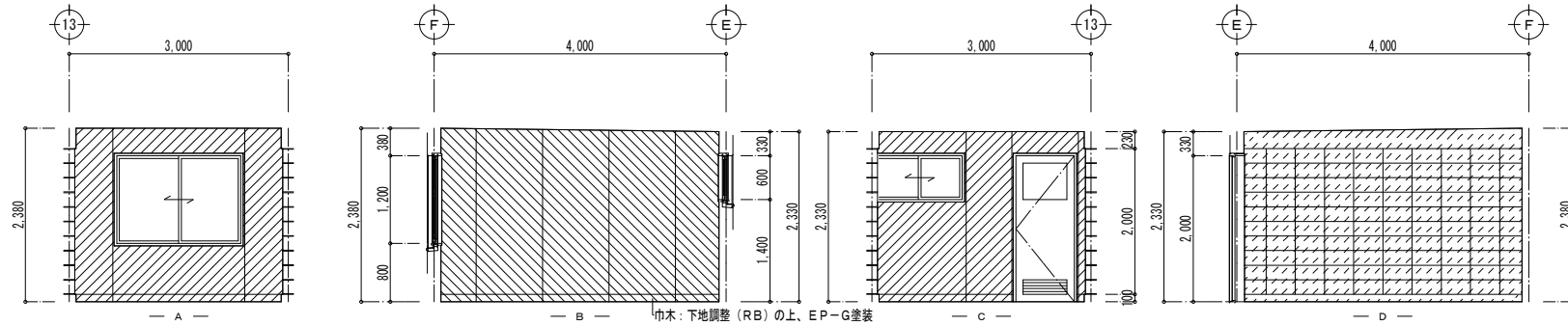
室名	部室15 (美術部)
床	コンクリート金ごて 表面硬化処理材塗布 (既存のまま)
巾木	下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 H=100
壁	コンクリート打放 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 コンクリートブロック化粧積 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
天井	コンクリート打放 発砲断熱材下地 (既存のまま) パーライト吹付 t=4下地調整 (RA)、リシン吹付
備考	アスベスト含有：t=6ケイカル板、ACF塗装



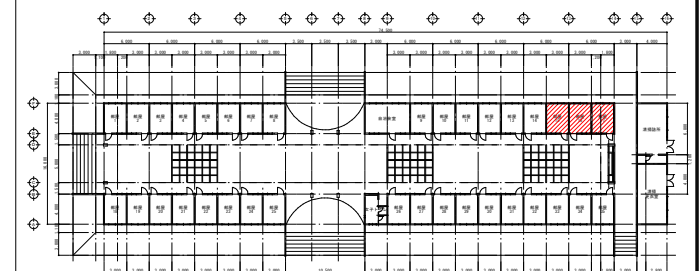
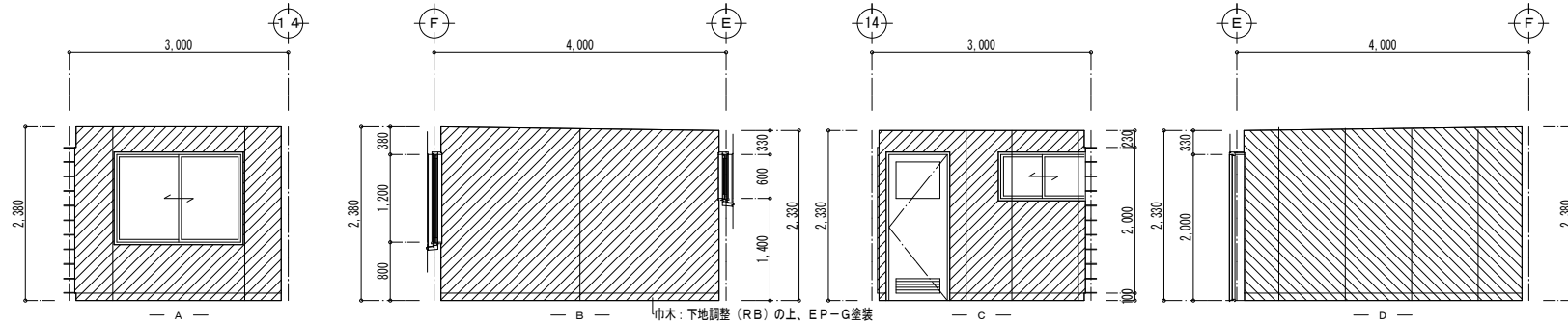
一凡例一

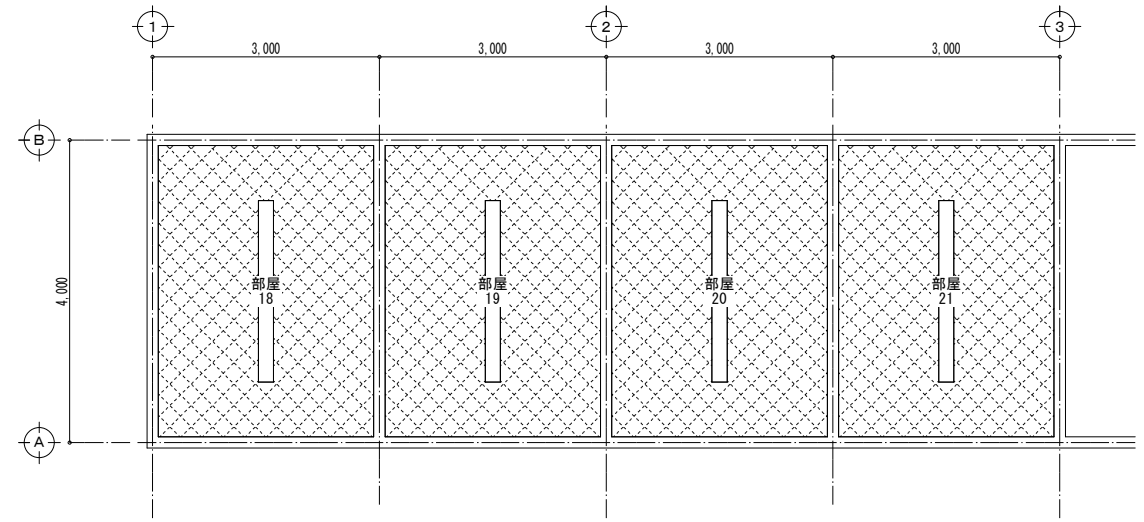
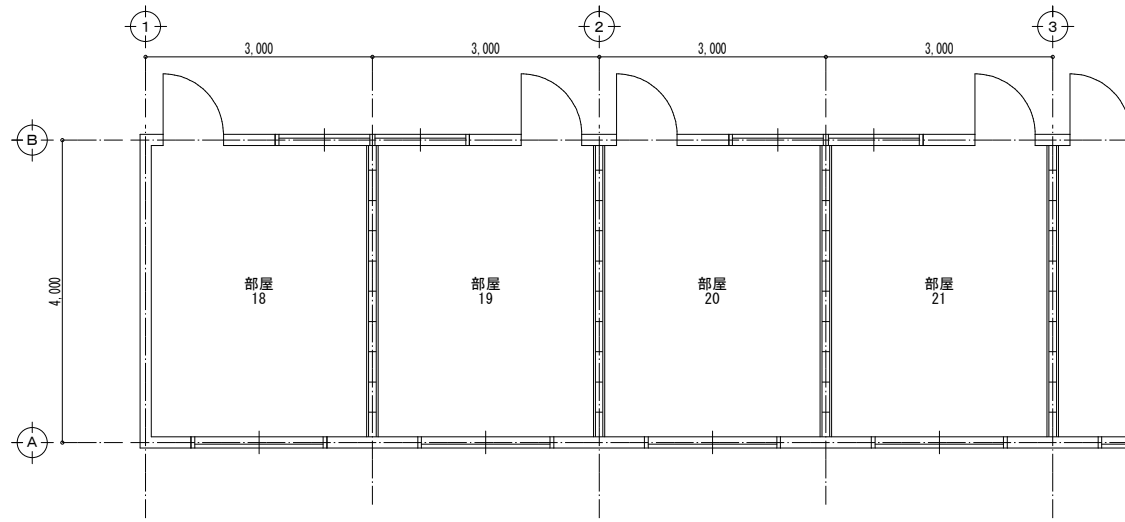
- コンクリート打放 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
- 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
- コンクリートブロック化粧積 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
- 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り ボード撤去・新設 EP-G塗装
- パーライト吹付下地調整 (RA)、リシン吹付新設

室名	部室16 (水泳部)
床	コンクリート金ごて 表面硬化処理材塗布 (既存のまま)
巾木	下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 H=100
壁	コンクリート打放 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 コンクリートブロック化粧積 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
天井	コンクリート打放 発砲断熱材下地 (既存のまま) パーライト吹付 t=4下地調整 (RA)、リシン吹付
備考	アスベスト含有：t=6ケイカル板、ACF塗装

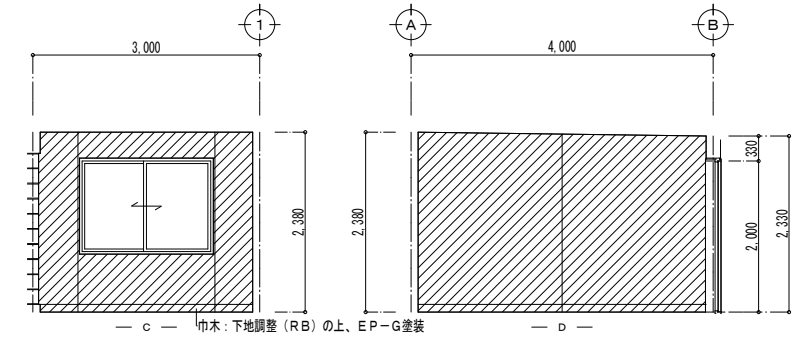
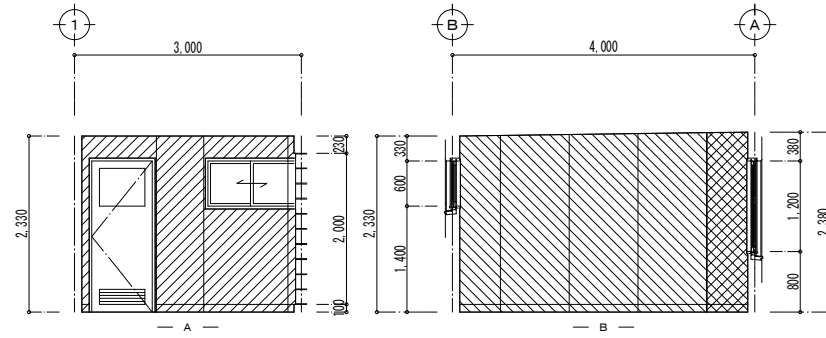


室名	部室17 (写真部)
床	コンクリート金ごて 表面硬化処理材塗布 (既存のまま)
巾木	下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 H=100
壁	コンクリート打放 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
天井	コンクリート打放 発砲断熱材下地 (既存のまま) パーライト吹付 t=4下地調整 (RA)、リシン吹付
備考	アスベスト含有：t=6ケイカル板、ACF塗装 扉の鍵閉不可



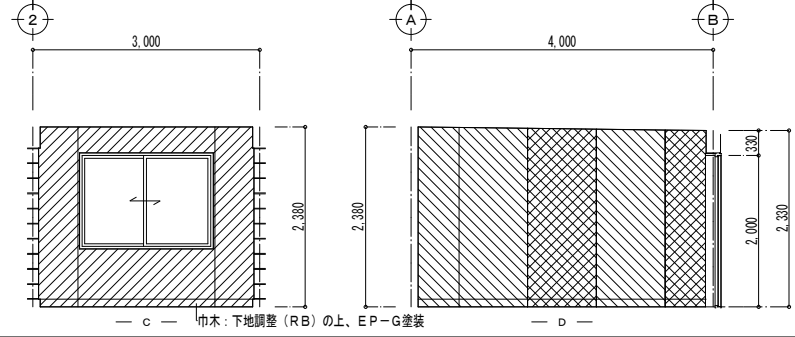
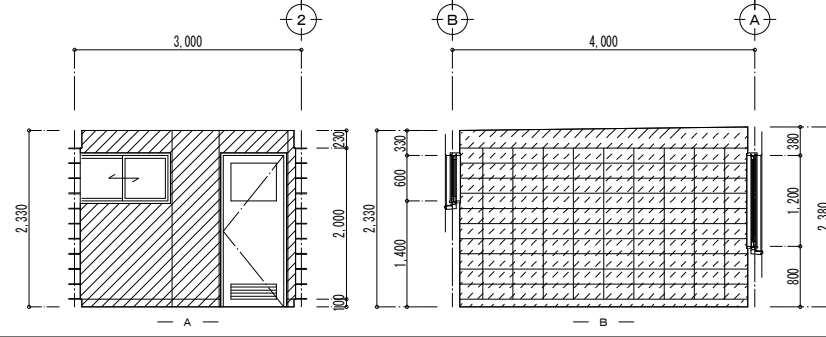


室名	部室18 (PUKバド)
床	コンクリート金ごて 表面硬化処理材塗布 (既存のまま)
巾木	下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 H=100
壁	コンクリート打放 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り 一部ボード撤去の上、新設 EP-G塗装
天井	コンクリート打放 発砲断熱材下地 (既存のまま) パーライト吹付 t=4下地調整 (RA)、リシン吹付
備考	アスベスト含有: t=6ケイカル板、ACF塗装

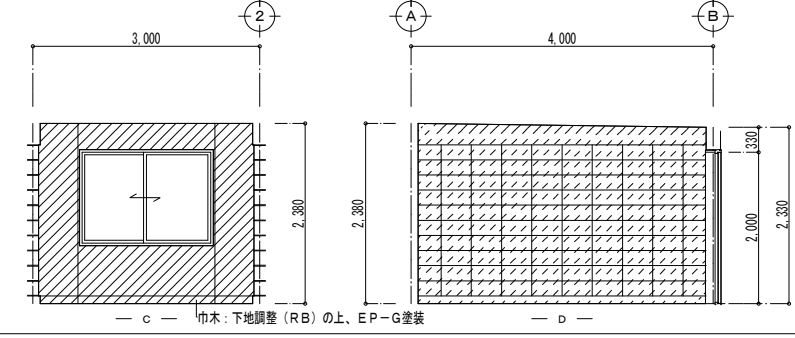
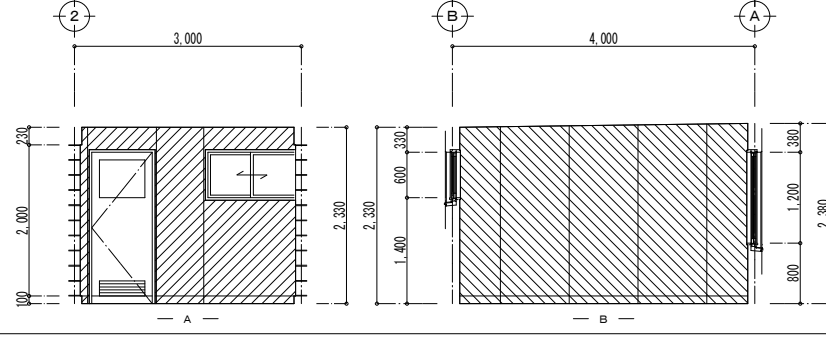


- 一凡例一
- コンクリート打放 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
 - 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
 - コンクリートブロック化粧積 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
 - 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り ボード撤去・新設 EP-G塗装
 - パーライト吹付下地調整 (RA)、リシン吹付新設

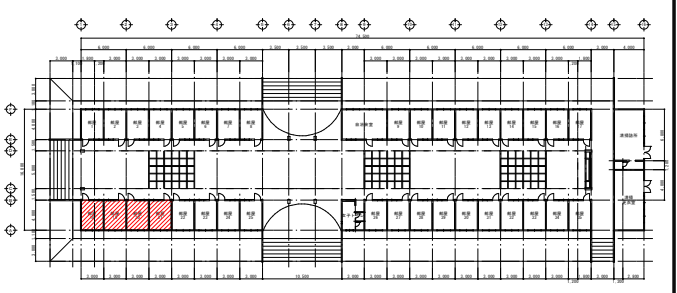
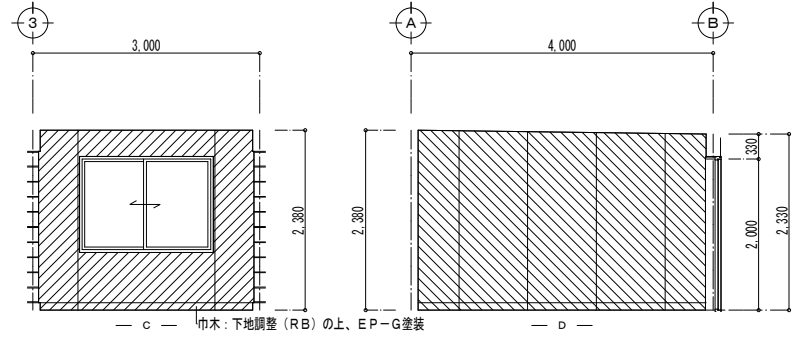
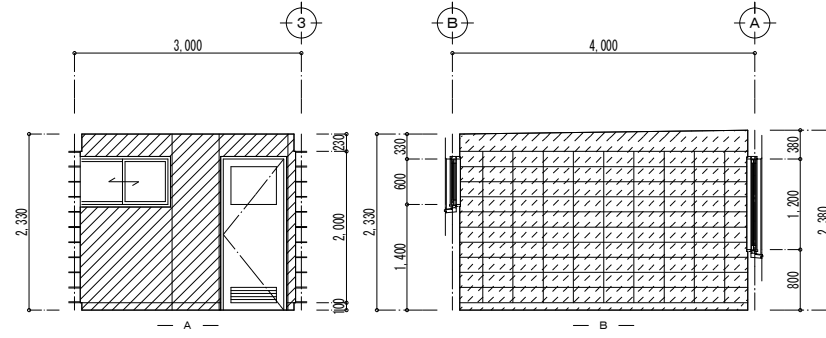
室名	部室19 (旅行研究所)
床	コンクリート金ごて 表面硬化処理材塗布 (既存のまま)
巾木	下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 H=100
壁	コンクリート打放 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 コンクリートブロック化粧積 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り 一部ボード撤去の上、新設 EP-G塗装
天井	コンクリート打放 発砲断熱材下地 (既存のまま) パーライト吹付 t=4下地調整 (RA)、リシン吹付
備考	アスベスト含有: t=6ケイカル板、ACF塗装

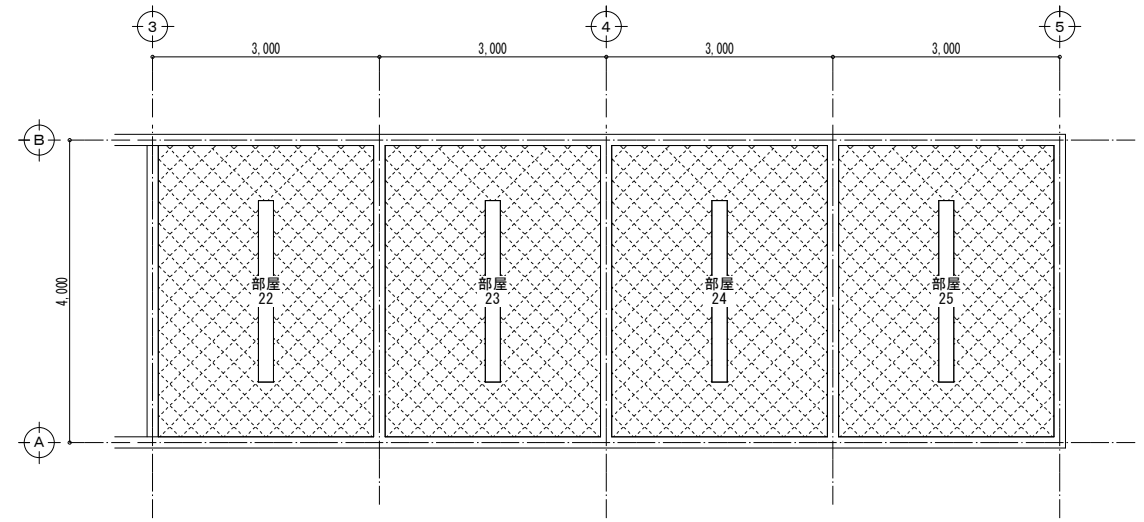
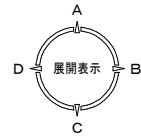
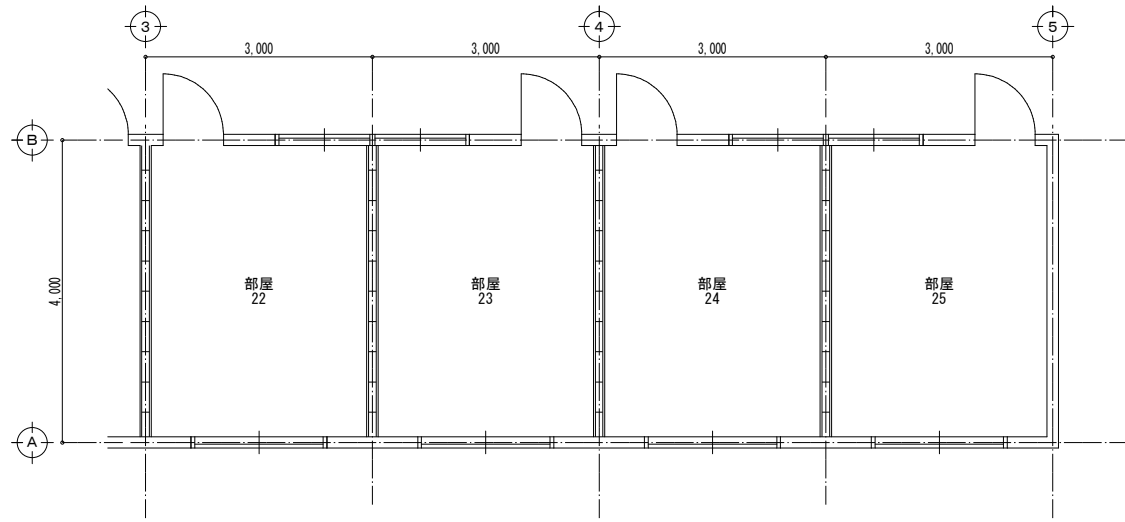


室名	部室20
床	コンクリート金ごて 表面硬化処理材塗布 (既存のまま)
巾木	下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 H=100
壁	コンクリート打放 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 コンクリートブロック化粧積 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り 一部ボード撤去の上、新設 EP-G塗装
天井	コンクリート打放 発砲断熱材下地 (既存のまま) パーライト吹付 t=4下地調整 (RA)、リシン吹付
備考	アスベスト含有: t=6ケイカル板、ACF塗装

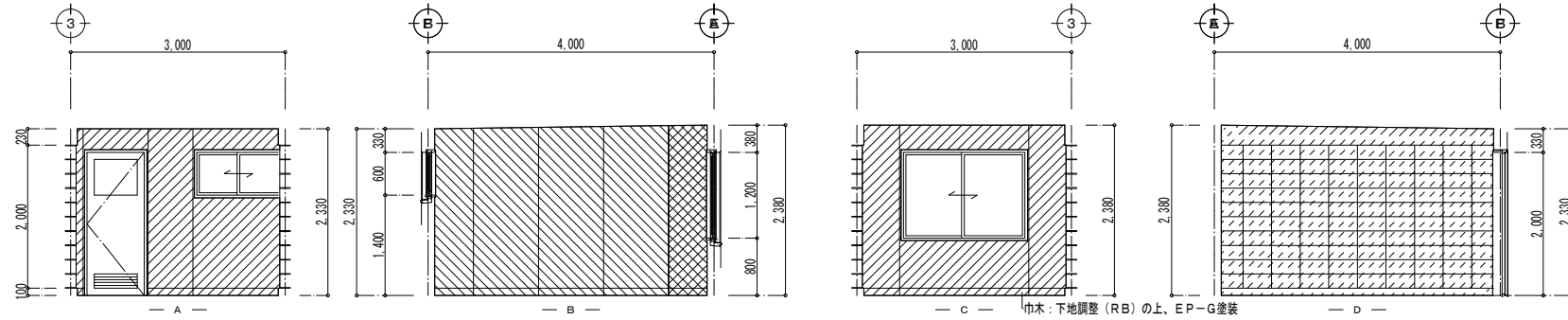


室名	部室21 (MIS)
床	コンクリート金ごて 表面硬化処理材塗布 (既存のまま)
巾木	下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 H=100
壁	コンクリート打放 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 コンクリートブロック化粧積 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
天井	コンクリート打放 発砲断熱材下地 (既存のまま) パーライト吹付 t=4下地調整 (RA)、リシン吹付
備考	アスベスト含有: t=6ケイカル板、ACF塗装



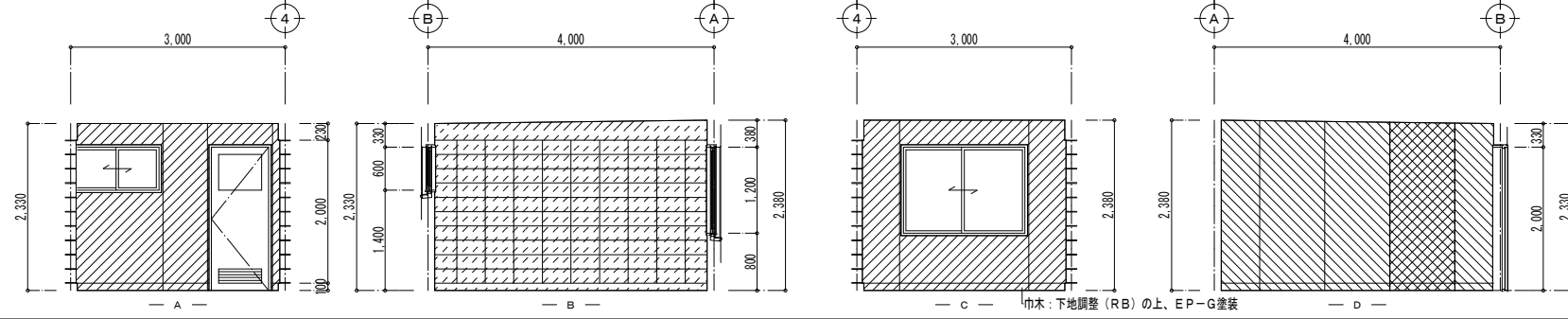


室名	部室22 (バドミントン部)
床	コンクリート金ごて 表面硬化処理材塗布 (既存のまま)
巾木	下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 H=100
壁	コンクリート打放 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 コンクリートブロック化粧積 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り 一部ボード撤去の上、新設 EP-G塗装
天井	コンクリート打放 発砲断熱材下地 (既存のまま) パーライト吹付 t=4下地調整 (RA)、リシン吹付
備考	アスベスト含有: t=6ケイカル板、ACF塗装

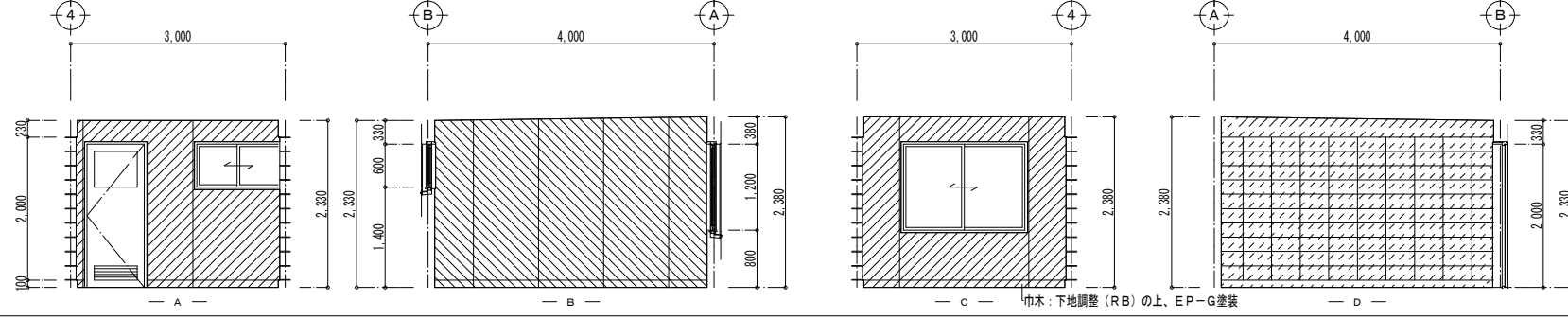


- 一凡例
- コンクリート打放 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
 - 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
 - コンクリートブロック化粧積 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
 - 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り ボード撤去・新設 EP-G塗装
 - パーライト吹付下地調整 (RA)、リシン吹付新設

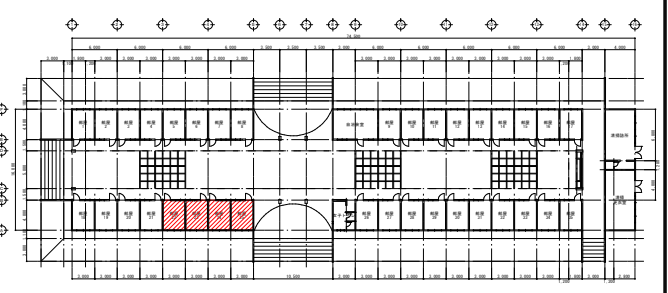
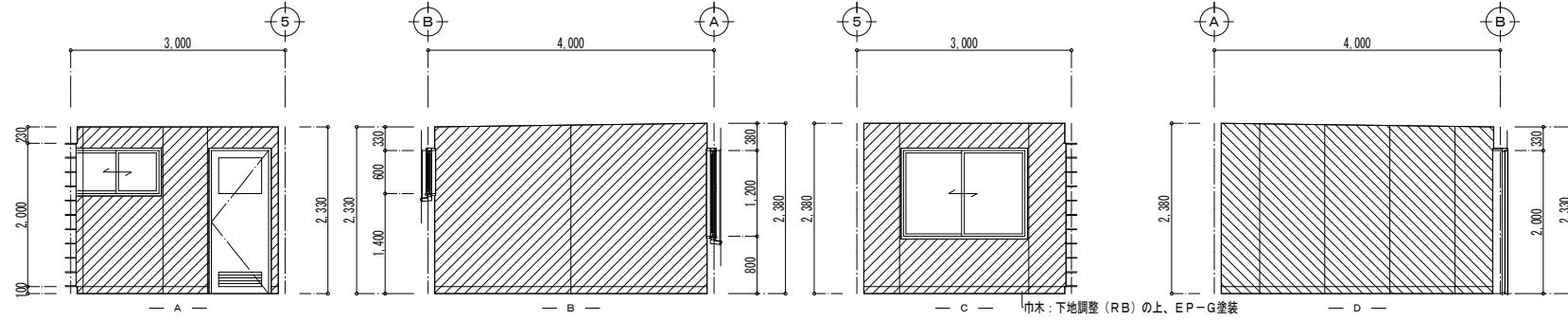
室名	部室23
床	コンクリート金ごて 表面硬化処理材塗布 (既存のまま)
巾木	下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 H=100
壁	コンクリート打放 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 コンクリートブロック化粧積 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り 一部ボード撤去の上、新設 EP-G塗装
天井	コンクリート打放 発砲断熱材下地 (既存のまま) パーライト吹付 t=4下地調整 (RA)、リシン吹付
備考	アスベスト含有: t=6ケイカル板、ACF塗装

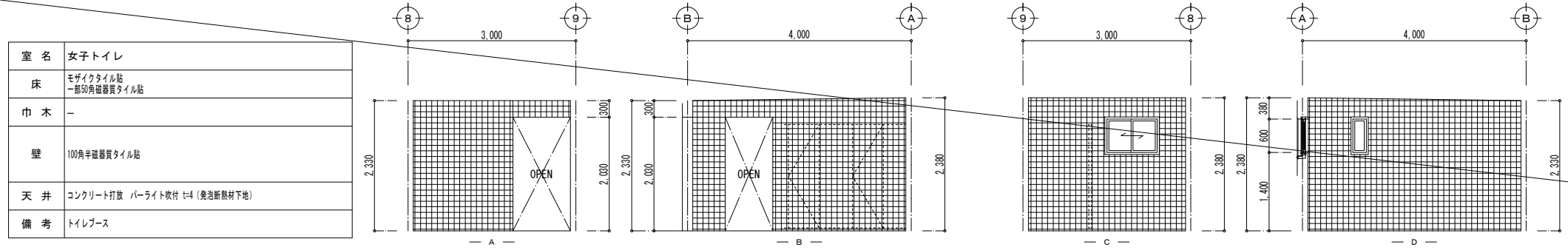
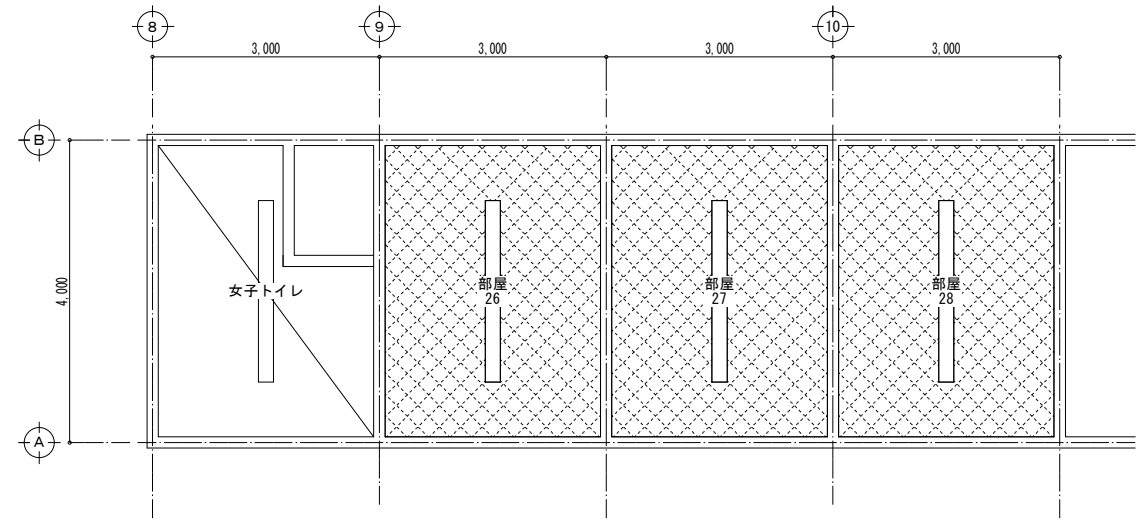
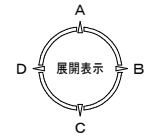
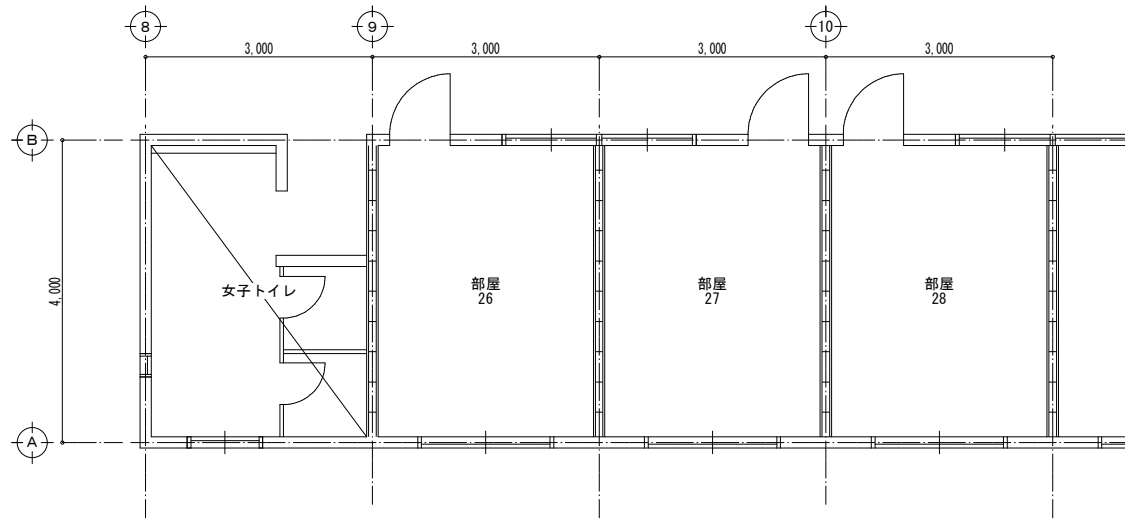


室名	部室24 (女子バレー部)
床	コンクリート金ごて 表面硬化処理材塗布 (既存のまま)
巾木	下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 H=100
壁	コンクリート打放 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 コンクリートブロック化粧積 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
天井	コンクリート打放 発砲断熱材下地 (既存のまま) パーライト吹付 t=4下地調整 (RA)、リシン吹付
備考	アスベスト含有: t=6ケイカル板、ACF塗装 扉の鍵閉不可

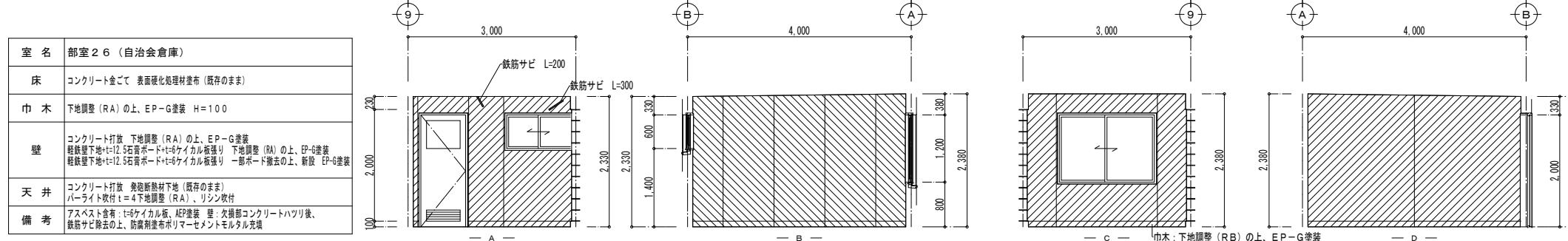


室名	部室25 (体育委員会)
床	コンクリート金ごて 表面硬化処理材塗布 (既存のまま)
巾木	下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 H=100
壁	コンクリート打放 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
天井	コンクリート打放 発砲断熱材下地 (既存のまま) パーライト吹付 t=4下地調整 (RA)、リシン吹付
備考	アスベスト含有: t=6ケイカル板、ACF塗装



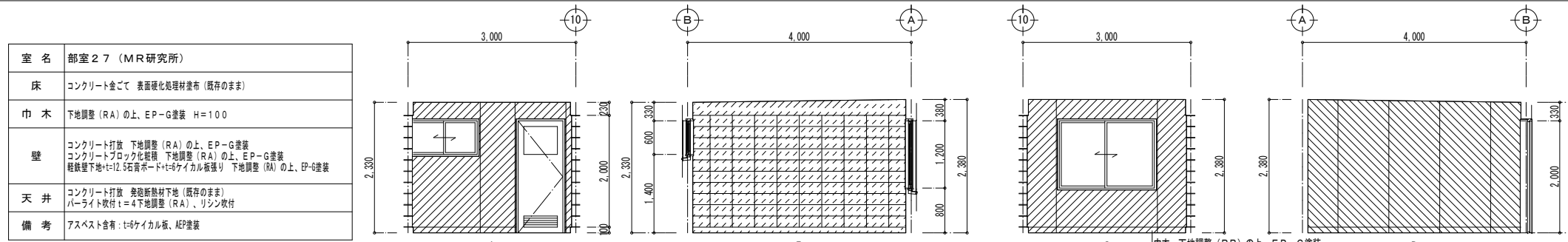


室名	女子トイレ
床	モザイクタイル貼 一部90度角磁器質タイル貼
巾木	-
壁	100角半磁器質タイル貼
天井	コンクリート打放 パーライト吹付 t=4 (発泡断熱材下地)
備考	トイレブース

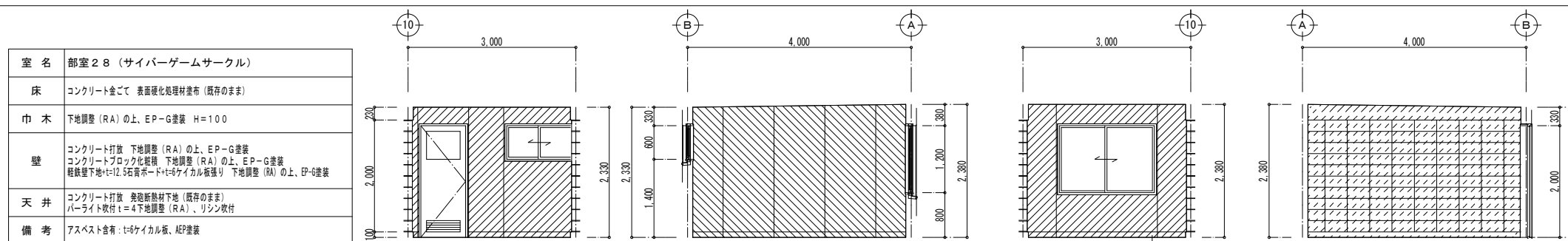


室名	部屋26 (自治会倉庫)
床	コンクリート金ごて 表面硬化処理材塗布 (既存のまま)
巾木	下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 H=100
壁	コンクリート打放 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り 一部ボード撤去の上、新設 EP-G塗装
天井	コンクリート打放 発泡断熱材下地 (既存のまま) パーライト吹付 t=4 下地調整 (RA)、リシン吹付
備考	アスベスト含有：t=6ケイカル板、AEF塗装 壁：欠損部コンクリートハツリ後、鉄筋サビ除去の上、防錆剤塗布+リマー+セメントモルタル充填

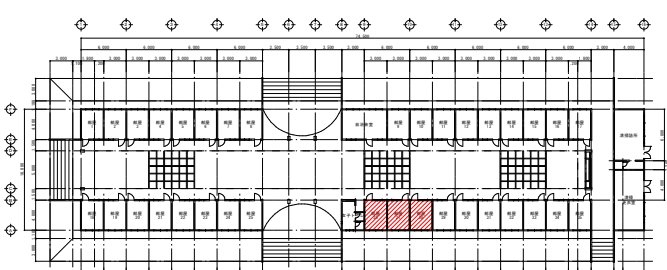
- 一凡例一
- コンクリート打放 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
 - 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
 - コンクリートブロック化粧積 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
 - 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り ボード撤去・新設 EP-G塗装
 - パーライト吹付下地調整 (RA)、リシン吹付新設

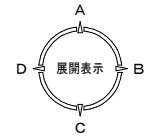
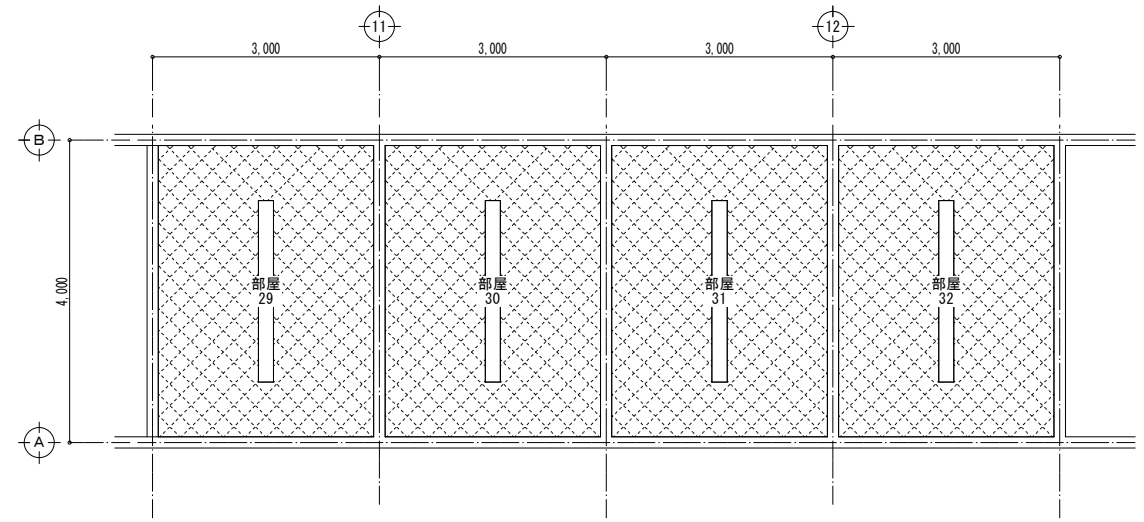
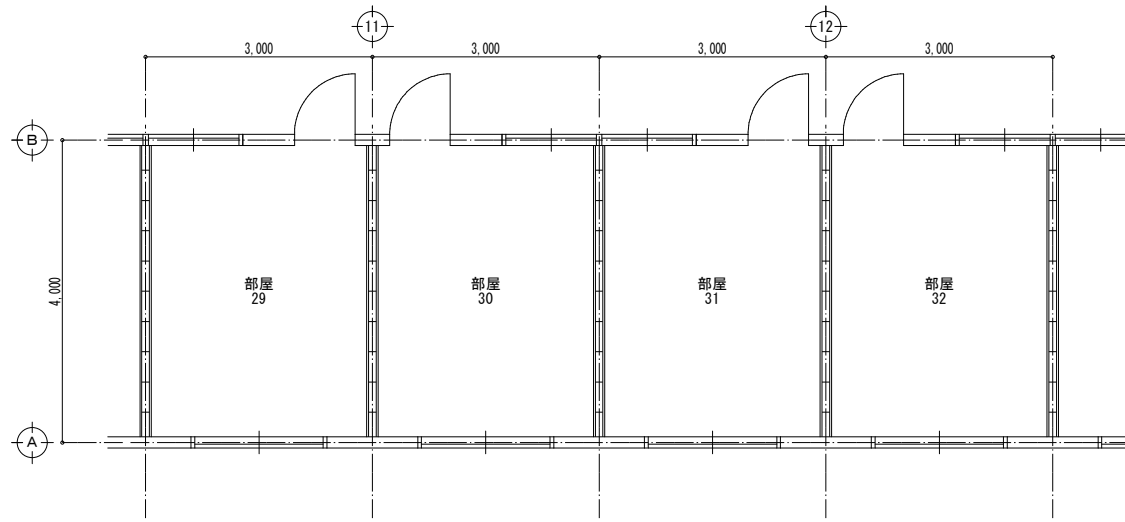


室名	部屋27 (MR研究所)
床	コンクリート金ごて 表面硬化処理材塗布 (既存のまま)
巾木	下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 H=100
壁	コンクリート打放 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 コンクリートブロック化粧積 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
天井	コンクリート打放 発泡断熱材下地 (既存のまま) パーライト吹付 t=4 下地調整 (RA)、リシン吹付
備考	アスベスト含有：t=6ケイカル板、AEF塗装

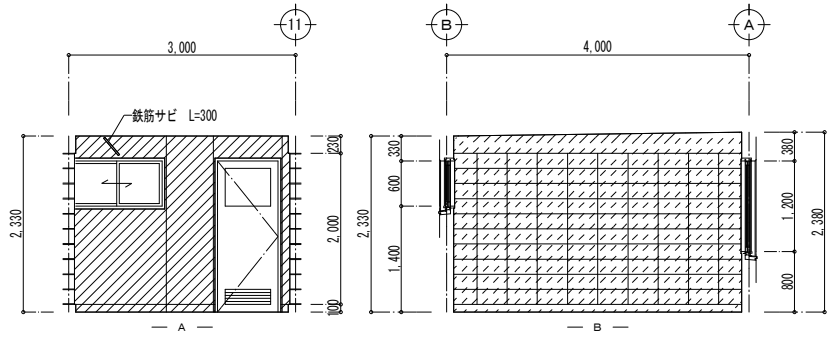


室名	部屋28 (サイバースペース)
床	コンクリート金ごて 表面硬化処理材塗布 (既存のまま)
巾木	下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 H=100
壁	コンクリート打放 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 コンクリートブロック化粧積 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
天井	コンクリート打放 発泡断熱材下地 (既存のまま) パーライト吹付 t=4 下地調整 (RA)、リシン吹付
備考	アスベスト含有：t=6ケイカル板、AEF塗装





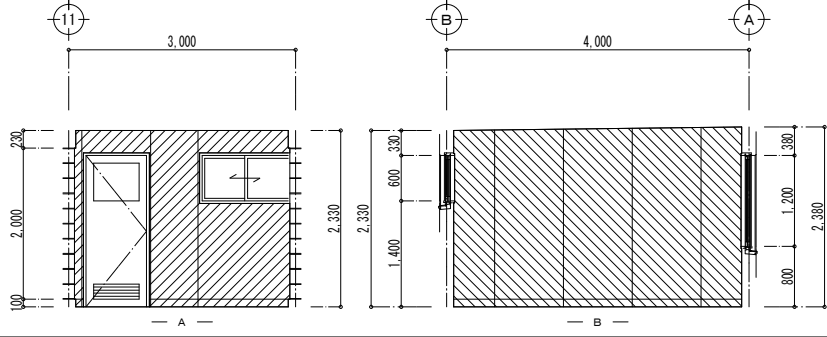
室名	部屋29 (テーブルゲーム)
床	コンクリート金ごて 表面硬化処理材塗布 (既存のまま)
巾木	下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 H=100
壁	コンクリート打放 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 コンクリートブロック化粧積 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り 一部ボード撤去の上、新設 EP-G塗装
天井	コンクリート打放 発砲断熱材下地 (既存のまま) パーライト吹付 t=4下地調整 (RA)、リシン吹付
備考	アスベスト含有: t=6ケイカル板、AEF塗装 壁: 次機部コンクリートハブリ後、鉄筋サビ除去の上、防錆剤塗布ポリマーセメントモルタル充填



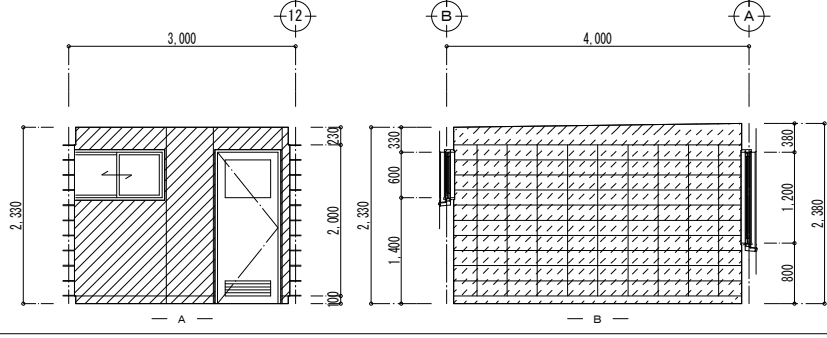
一凡例

- コンクリート打放 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
- 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
- コンクリートブロック化粧積 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
- 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り ボード撤去・新設 EP-G塗装
- パーライト吹付下地調整 (RA)、リシン吹付新設

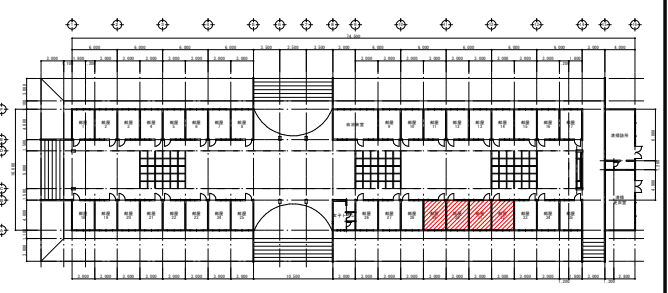
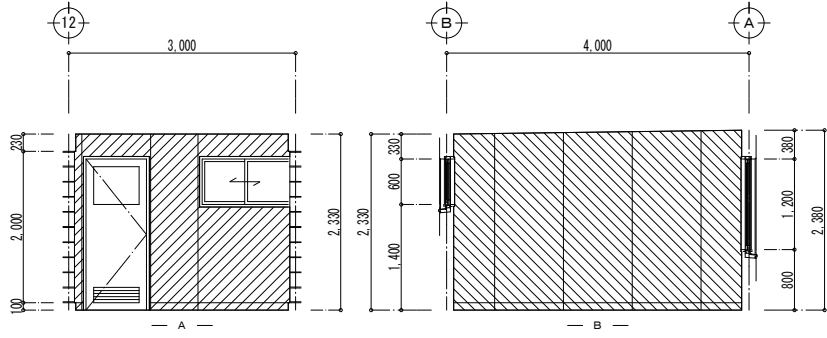
室名	部屋30 (自治会 (執行委員会))
床	コンクリート金ごて 表面硬化処理材塗布 (既存のまま)
巾木	下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 H=100
壁	コンクリート打放 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 コンクリートブロック化粧積 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
天井	コンクリート打放 発砲断熱材下地 (既存のまま) パーライト吹付 t=4下地調整 (RA)、リシン吹付
備考	アスベスト含有: t=6ケイカル板、AEF塗装

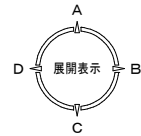
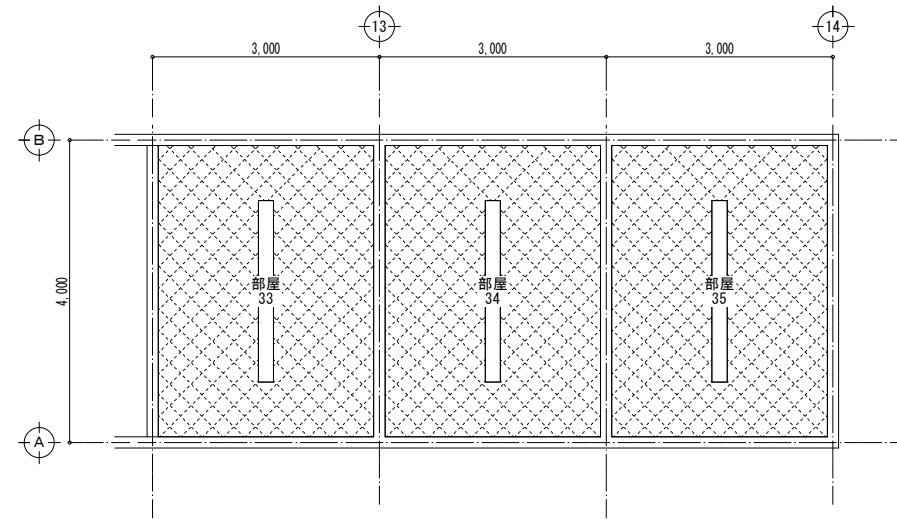
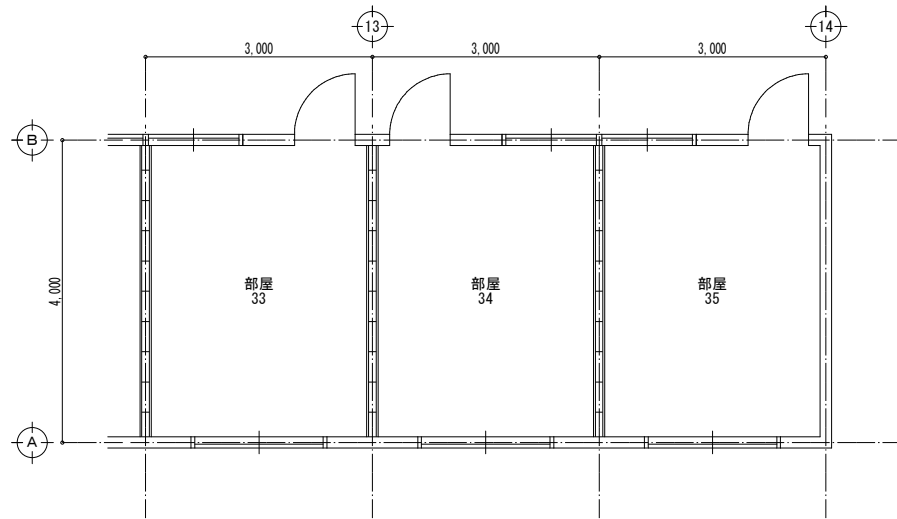


室名	部屋31 (印刷室)
床	コンクリート金ごて 表面硬化処理材塗布 (既存のまま)
巾木	下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 H=100
壁	コンクリート打放 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 コンクリートブロック化粧積 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
天井	コンクリート打放 発砲断熱材下地 (既存のまま) パーライト吹付 t=4下地調整 (RA)、リシン吹付
備考	アスベスト含有: t=6ケイカル板、AEF塗装

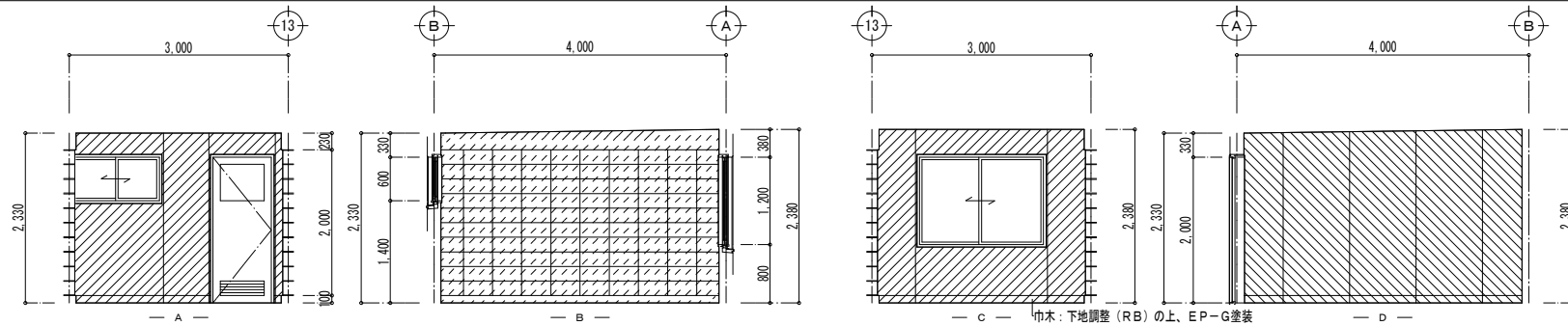


室名	部屋32 (天文部)
床	コンクリート金ごて 表面硬化処理材塗布 (既存のまま)
巾木	下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 H=100
壁	コンクリート打放 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 コンクリートブロック化粧積 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
天井	コンクリート打放 発砲断熱材下地 (既存のまま) パーライト吹付 t=4下地調整 (RA)、リシン吹付
備考	アスベスト含有: t=6ケイカル板、AEF塗装





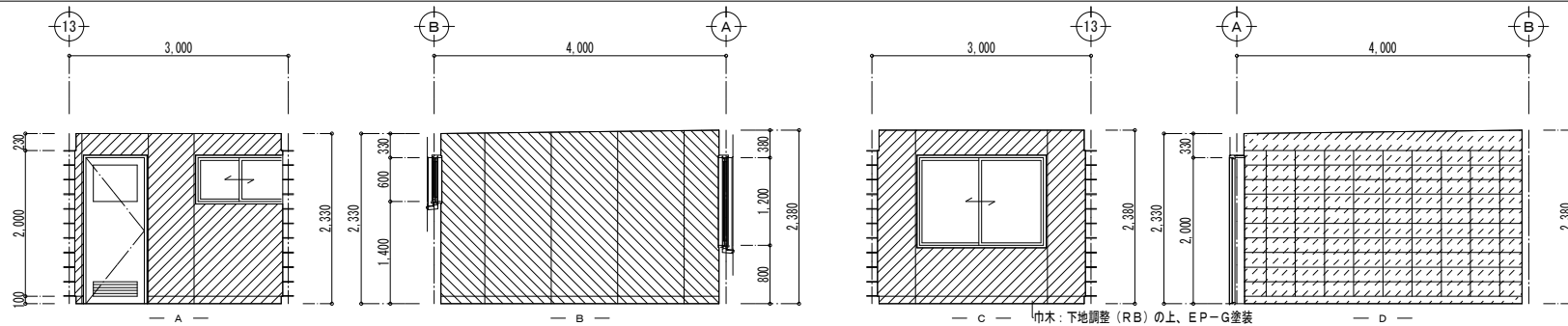
室名	部屋33 (合唱部)
床	コンクリート金ごて 表面硬化処理材塗布 (既存のまま)
巾木	下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 H=100
壁	コンクリート打放 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 コンクリートブロック化粧積 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
天井	コンクリート打放 発砲断熱材下地 (既存のまま) パーライト吹付 t=4下地調整 (RA)、リシン吹付
備考	アスベスト含有：t=6ケイカル板、ACF塗装



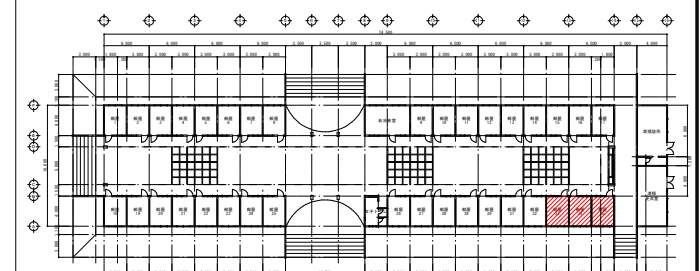
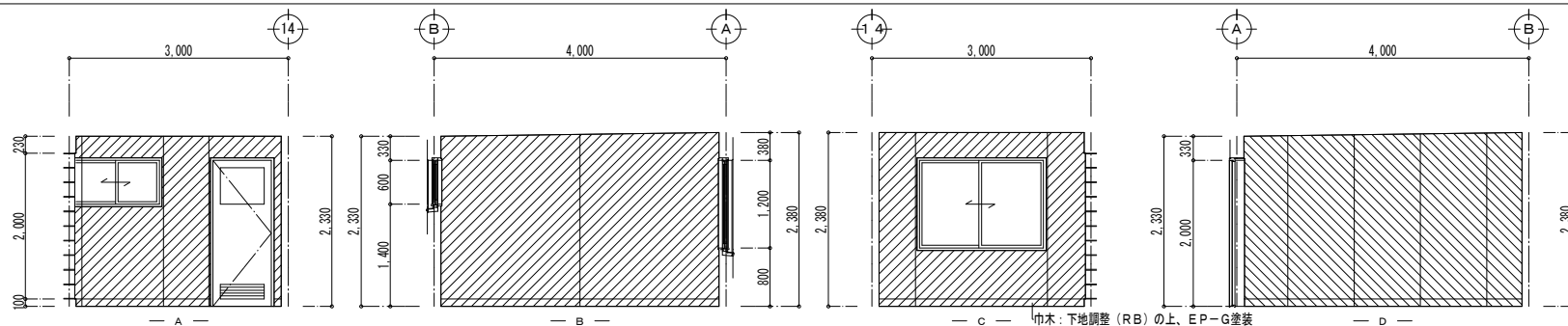
一凡例一

- コンクリート打放 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
- 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
- コンクリートブロック化粧積 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
- 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り ボード撤去・新設 EP-G塗装
- パーライト吹付下地調整 (RA)、リシン吹付新設

室名	部屋34
床	コンクリート金ごて 表面硬化処理材塗布 (既存のまま)
巾木	下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 H=100
壁	コンクリート打放 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 コンクリートブロック化粧積 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
天井	コンクリート打放 発砲断熱材下地 (既存のまま) パーライト吹付 t=4下地調整 (RA)、リシン吹付
備考	アスベスト含有：t=6ケイカル板、ACF塗装



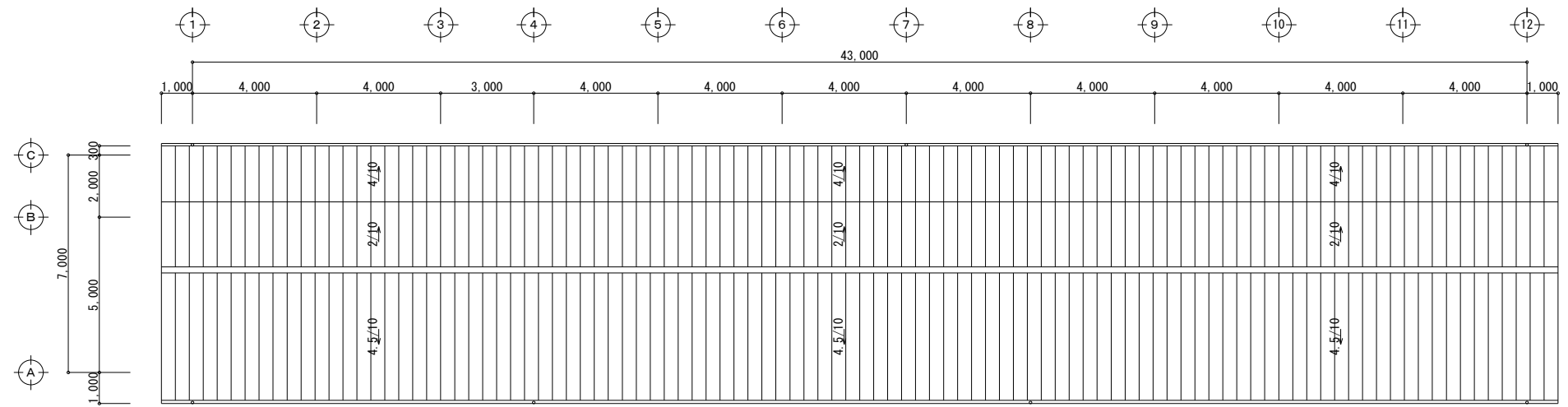
室名	部屋35 (PUKリンピック委員会)
床	コンクリート金ごて 表面硬化処理材塗布 (既存のまま)
巾木	下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 H=100
壁	コンクリート打放 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装 軽鉄壁下地+t=12.5石膏ボード+t=6ケイカル板張り 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
天井	コンクリート打放 発砲断熱材下地 (既存のまま) パーライト吹付 t=4下地調整 (RA)、リシン吹付
備考	アスベスト含有：t=6ケイカル板、ACF塗装



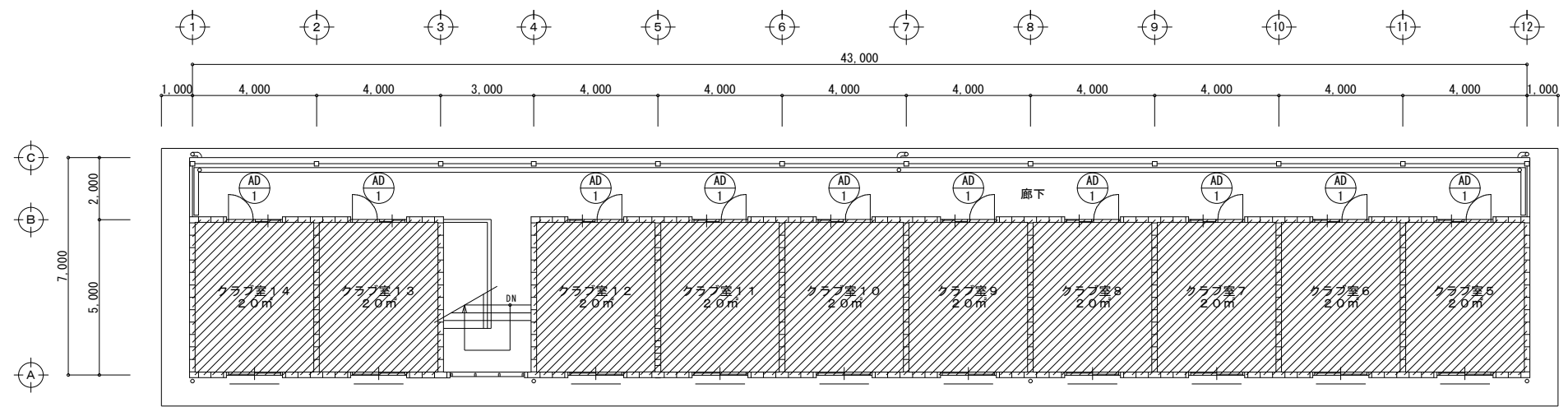
第2クラブ室 内部仕上表

(一) 表記は既存のままとする。 ※アスベスト含有材：ソフト巾木、VP塗装、t=6ケイカル板

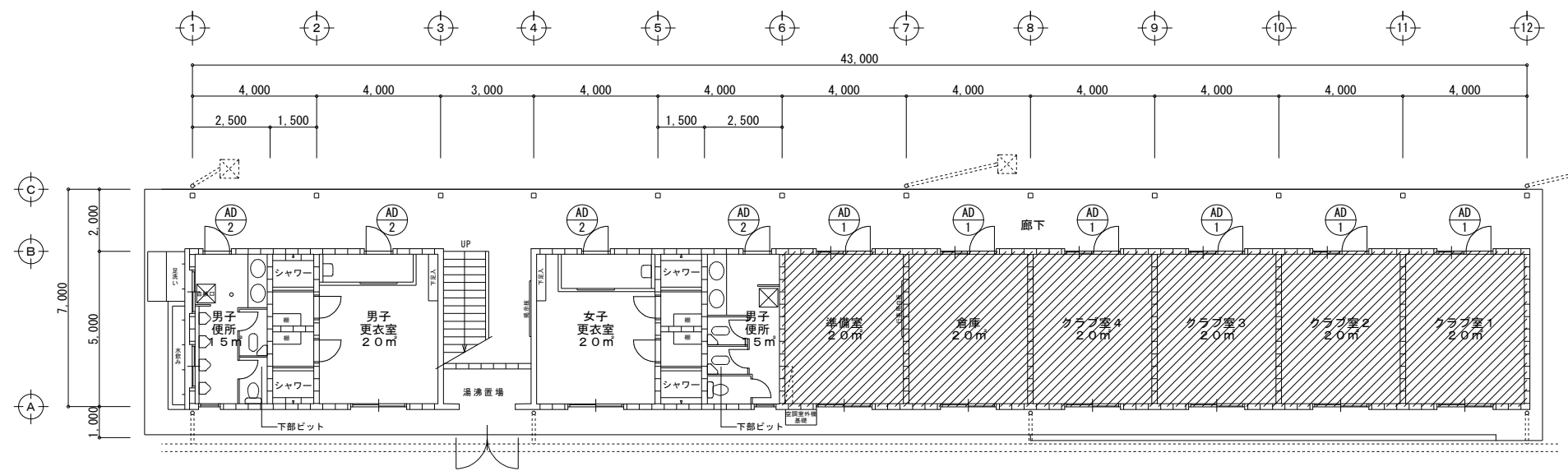
階	室名		天井高	床高	床		壁				天井		廻り縁	備考
					下地	仕上	下地	巾木	高さ	仕上	下地	仕上		
1	クラブ室1 (NEXUS☆熊本)	改修前	2.380	—	コンクリート下地	t=2.8 複合塩ビシート貼り	モルタル金ゴテ下地	ソフト巾木	60	VP塗装	軽天下地、ガラスカーン断熱	t=6 ケイカル板張り EP塗装	塩ビ	換気レグスター×2(既存のまま) 行事用白板(取外し・再取付)、カーテンボックス(既存のまま)
		改修後	2.380	—	—	—	—	既存撤去・新設	60	下地調整(RA)の上、EP-G塗装	—	下地調整(RC)の上、EP塗装	—	—
	クラブ室2 (植物資源利用研究所)	改修前	2.380	—	コンクリート下地	t=2.8 複合塩ビシート貼り	モルタル金ゴテ下地	ソフト巾木	60	VP塗装	軽天下地、ガラスカーン断熱	t=6 ケイカル板張り EP塗装	塩ビ	換気レグスター×2(既存のまま) 行事用白板(取外し・再取付)、カーテンボックス(既存のまま)
		改修後	2.380	—	—	—	—	既存撤去・新設	60	下地調整(RA)の上、EP-G塗装	—	下地調整(RC)の上、EP塗装	—	—
	クラブ室3 (建築デザイン部)	改修前	2.380	—	コンクリート下地	t=2.8 複合塩ビシート貼り	モルタル金ゴテ下地	ソフト巾木	60	VP塗装	軽天下地、ガラスカーン断熱	t=6 ケイカル板張り EP塗装	塩ビ	換気レグスター×2(既存のまま) 行事用白板(取外し・再取付)、カーテンボックス(既存のまま)
		改修後	2.380	—	—	—	—	既存撤去・新設	60	下地調整(RA)の上、EP-G塗装	—	下地調整(RC)の上、EP塗装	—	—
	クラブ室4 (Diving club)	改修前	2.380	—	コンクリート下地	t=2.8 複合塩ビシート貼り	モルタル金ゴテ下地	ソフト巾木	60	VP塗装	軽天下地、ガラスカーン断熱	t=6 ケイカル板張り EP塗装	塩ビ	換気レグスター×2(既存のまま) 行事用白板(取外し・再取付)、カーテンボックス(既存のまま)
		改修後	2.380	—	—	—	—	既存撤去・新設	60	下地調整(RA)の上、EP-G塗装	—	下地調整(RC)の上、EP塗装	—	—
	倉庫	改修前	2.380	—	コンクリート下地	モルタル金ゴテ仕上げ	モルタル金ゴテ仕上げ	—	—	—	軽天下地、ガラスカーン断熱	t=6 ケイカル板張り EP塗装	塩ビ	換気レグスター×2(既存のまま) 行事用白板
		改修後	2.380	—	—	—	—	—	—	—	—	下地調整(RC)の上、EP塗装	—	—
準備室 (生ス準備室)	改修前	2.380	—	コンクリート下地	t=2.8 複合塩ビシート貼り	モルタル金ゴテ下地	ソフト巾木	60	VP塗装	軽天下地、ガラスカーン断熱	t=6 ケイカル板張り EP塗装	塩ビ	行事用白板(取外し・再取付)、カーテンボックス(既存のまま)	
	改修後	2.380	—	—	—	—	既存撤去・新設	60	下地調整(RA)の上、EP-G塗装	—	下地調整(RC)の上、EP塗装	—	—	
2	クラブ室5 (女子バスケット部)	改修前	2.380	—	コンクリート下地	t=2.8 複合塩ビシート貼り	モルタル金ゴテ下地	ソフト巾木	60	VP塗装	軽天下地、ガラスカーン断熱	t=6 ケイカル板張り EP塗装	塩ビ	換気レグスター×2(既存のまま) 行事用白板(取外し・再取付)、カーテンボックス(既存のまま)
		改修後	2.380	—	—	—	—	既存撤去・新設	60	下地調整(RA)の上、EP-G塗装	既存撤去・新設	既存撤去・新設、EP塗装	塩ビ新設	天井下地吊りボルト残し、照明器具 (FL 40W×2 2箇所) 撤去・再取付 差動式スポット型感知器 (1箇所) 撤去・再取付
	クラブ室6 (男子バスケット部)	改修前	2.380	—	コンクリート下地	t=2.8 複合塩ビシート貼り	モルタル金ゴテ下地	ソフト巾木	60	VP塗装	軽天下地、ガラスカーン断熱	t=6 ケイカル板張り EP塗装	塩ビ	換気レグスター×2(既存のまま) 行事用白板(取外し・再取付)、カーテンボックス(既存のまま)
		改修後	2.380	—	—	—	—	既存撤去・新設	60	下地調整(RA)の上、EP-G塗装	—	下地調整(RC)の上、EP塗装	—	—
	クラブ室7 (ワンダーフォーゲル部)	改修前	2.380	—	コンクリート下地	t=2.8 複合塩ビシート貼り	モルタル金ゴテ下地	ソフト巾木	60	VP塗装	軽天下地、ガラスカーン断熱	t=6 ケイカル板張り EP塗装	塩ビ	換気レグスター×2(既存のまま) 行事用白板(取外し・再取付)、カーテンボックス(既存のまま)
		改修後	2.380	—	—	—	—	既存撤去・新設	60	下地調整(RA)の上、EP-G塗装	—	下地調整(RC)の上、EP塗装	—	—
	クラブ室8 (たんけん部)	改修前	2.380	—	コンクリート下地	t=2.8 複合塩ビシート貼り	モルタル金ゴテ下地	ソフト巾木	60	VP塗装	軽天下地、ガラスカーン断熱	t=6 ケイカル板張り EP塗装	塩ビ	換気レグスター×2(既存のまま) 行事用白板(取外し・再取付)、カーテンボックス(既存のまま)
		改修後	2.380	—	—	—	—	既存撤去・新設	60	下地調整(RA)の上、EP-G塗装	—	下地調整(RC)の上、EP塗装	—	—
	クラブ室9 (合気道)	改修前	2.380	—	コンクリート下地	t=2.8 複合塩ビシート貼り	モルタル金ゴテ下地	ソフト巾木	60	VP塗装	軽天下地、ガラスカーン断熱	t=6 ケイカル板張り EP塗装	塩ビ	換気レグスター×2(既存のまま) 行事用白板(取外し・再取付)、カーテンボックス(既存のまま)
		改修後	2.380	—	—	—	—	既存撤去・新設	60	下地調整(RA)の上、EP-G塗装	—	下地調整(RC)の上、EP塗装	—	—
	クラブ室10 (バレーボール)	改修前	2.380	—	コンクリート下地	t=2.8 複合塩ビシート貼り	モルタル金ゴテ下地	ソフト巾木	60	VP塗装	軽天下地、ガラスカーン断熱	t=6 ケイカル板張り EP塗装	塩ビ	換気レグスター×2(既存のまま)、行事用白板(取外し・再取付) カーテンボックス(既存のまま)、出入口扉:型ガラスt=4撤去・新設
		改修後	2.380	—	—	—	—	既存撤去・新設	60	下地調整(RA)の上、EP-G塗装	既存撤去・新設	既存撤去・新設、EP塗装	塩ビ新設	天井下地吊りボルト残し、照明器具 (FL 40W×2 2箇所) 撤去・再取付 差動式スポット型感知器 (1箇所) 撤去・再取付 天井吊り口(450角)撤去・新設
	クラブ室11 (硬式テニス)	改修前	2.380	—	コンクリート下地	t=2.8 複合塩ビシート貼り	モルタル金ゴテ下地	ソフト巾木	60	VP塗装	軽天下地、ガラスカーン断熱	t=6 ケイカル板張り EP塗装	塩ビ	換気レグスター×2(既存のまま) 行事用白板(取外し・再取付)、カーテンボックス(既存のまま)
		改修後	2.380	—	—	—	—	既存撤去・新設	60	下地調整(RA)の上、EP-G塗装	既存撤去・新設	既存撤去・新設、EP塗装	塩ビ新設	天井下地吊りボルト残し、照明器具 (FL 40W×2 2箇所) 撤去・再取付 差動式スポット型感知器 (1箇所) 撤去・再取付
クラブ室12 (ソフトテニス)	改修前	2.380	—	コンクリート下地	t=2.8 複合塩ビシート貼り	モルタル金ゴテ下地	ソフト巾木	60	VP塗装	軽天下地、ガラスカーン断熱	t=6 ケイカル板張り EP塗装	塩ビ	換気レグスター×2(既存のまま) 行事用白板(取外し・再取付)、カーテンボックス(既存のまま)	
	改修後	2.380	—	—	—	—	既存撤去・新設	60	下地調整(RA)の上、EP-G塗装	既存撤去・新設	既存撤去・新設、EP塗装	塩ビ新設	天井下地吊りボルト残し、照明器具 (FL 40W×2 2箇所) 撤去・再取付 差動式スポット型感知器 (1箇所) 撤去・再取付	
クラブ室13 (弓道)	改修前	2.380	—	コンクリート下地	t=2.8 複合塩ビシート貼り	モルタル金ゴテ下地	ソフト巾木	60	VP塗装	軽天下地、ガラスカーン断熱	t=6 ケイカル板張り EP塗装	塩ビ	換気レグスター×2(既存のまま) 行事用白板(取外し・再取付)、カーテンボックス(既存のまま)	
	改修後	2.380	—	—	—	—	既存撤去・新設	60	下地調整(RA)の上、EP-G塗装	—	下地調整(RC)の上、EP塗装	—	—	
クラブ室14 (do DAC)	改修前	2.380	—	コンクリート下地	t=2.8 複合塩ビシート貼り	モルタル金ゴテ下地	ソフト巾木	60	VP塗装	軽天下地、ガラスカーン断熱	t=6 ケイカル板張り EP塗装	塩ビ	換気レグスター×2(既存のまま) 行事用白板(取外し・再取付)、カーテンボックス(既存のまま)	
	改修後	2.380	—	—	—	—	既存撤去・新設	60	下地調整(RA)の上、EP-G塗装	—	下地調整(RC)の上、EP塗装	—	—	



屋根伏図



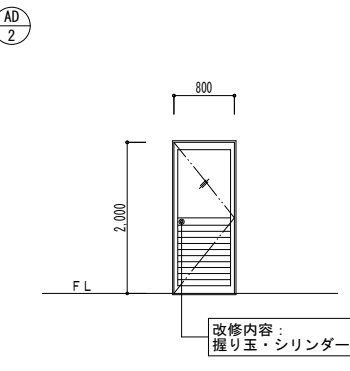
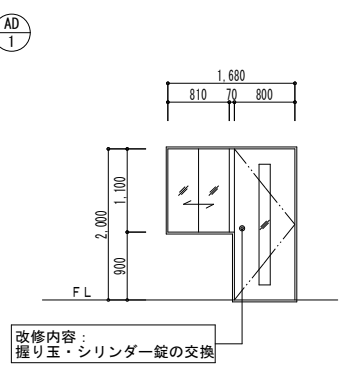
2階平面図



1階平面図

建具表

形式	片開きフラッシュ戸+引違い窓 (逆勝手アリ)
室名	準備室 倉庫 クラブ室
数量	16
仕上げ	アルミ シルバー
ガラス	t=4.0 型板
見込	70
金物	付属金物一式
備考	-
形式	片開きカマチ戸 (逆勝手アリ)
室名	便所 更衣室
数量	4
仕上げ	アルミ シルバー
ガラス	t=4.0 型板
見込	70
金物	付属金物一式
備考	-

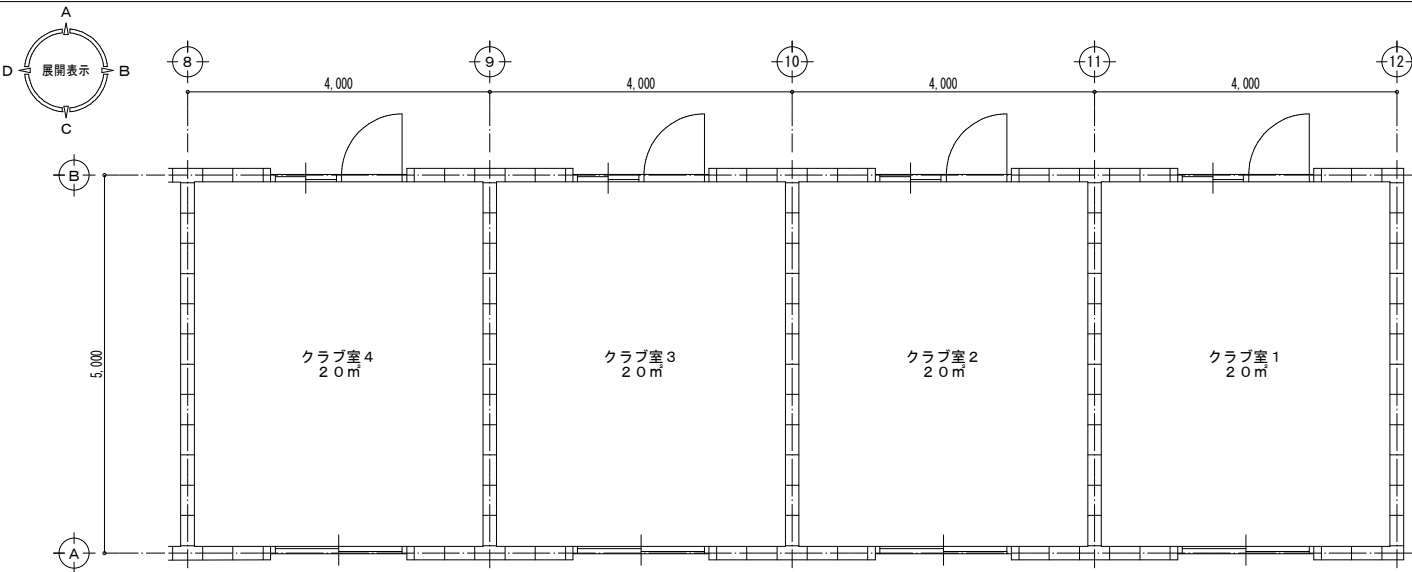


改修範囲を示す。

壁凡例
隅部・T字部・建具廻りはRC壁とする。
その他はCB壁とする。

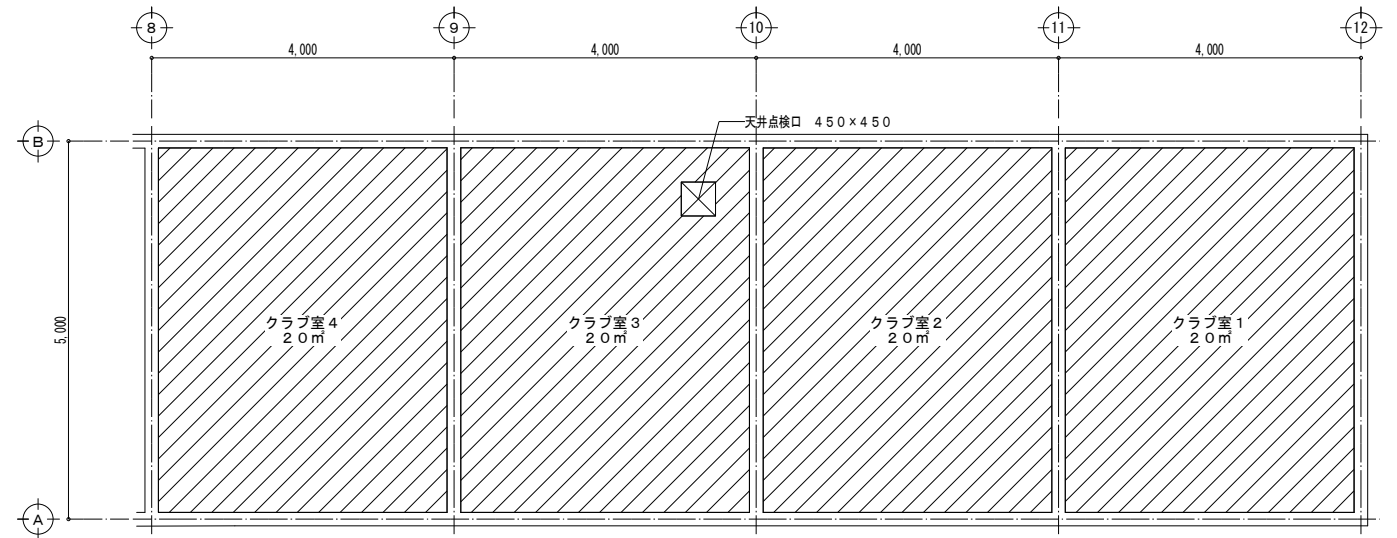
平面図

A1版: 1/50 A3版: 1/100



天井伏図

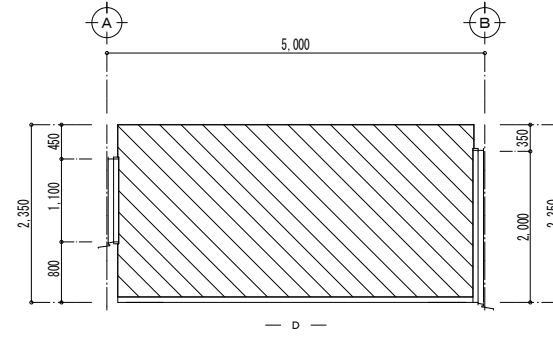
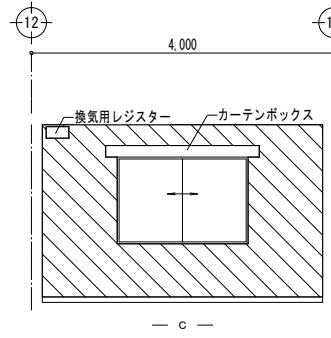
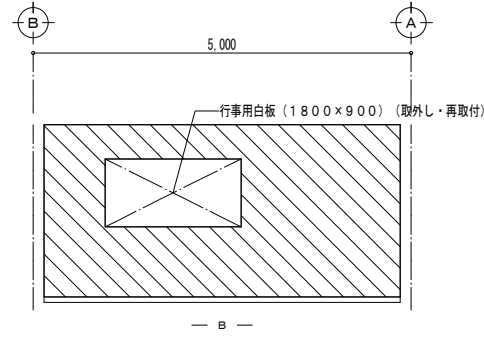
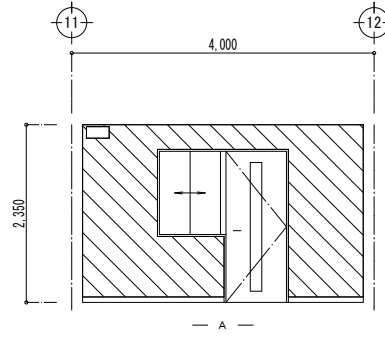
A1版: 1/50 A3版: 1/100



展開図

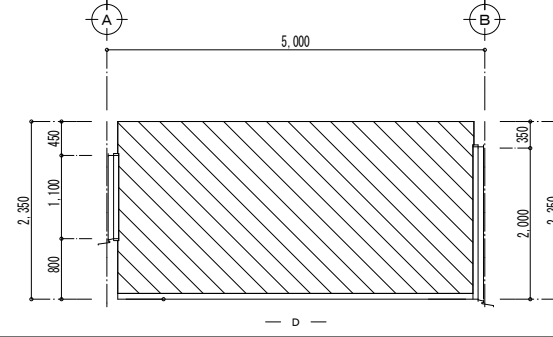
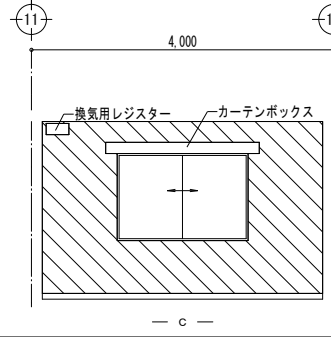
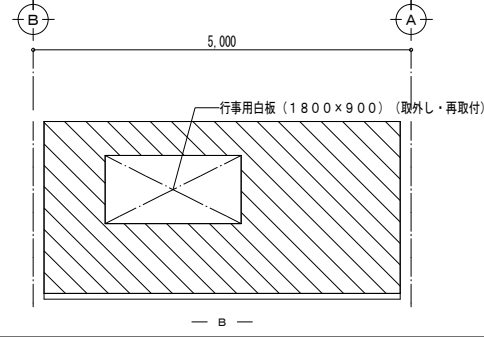
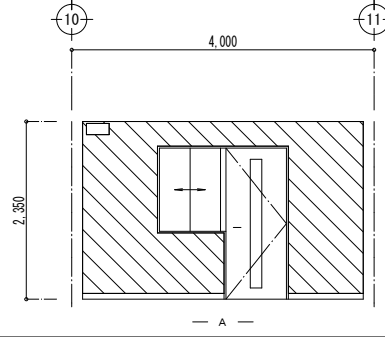
A1版: 1/50 A3版: 1/100

室名	クラブ室1 (NEXUS☆熊本)
床	t=2.8 複合塩ビシート貼 (既存のまま)
巾木	ソフト巾木 H=60 撤去・新設
壁	モルタル金ゴテ 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
天井	t=6 ケイカル板貼 下地調整 (RC) の上、EP塗装 軒天19型下地
備考	換気レジスター×2 (既存のまま)、行事務用白板 (取外し・再取付) カーテンボックス (既存のまま) アスベスト含有材: ソフト巾木、壁VP塗装、天井t=6ケイカル板

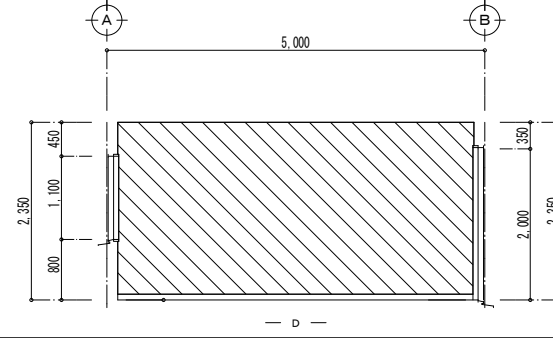
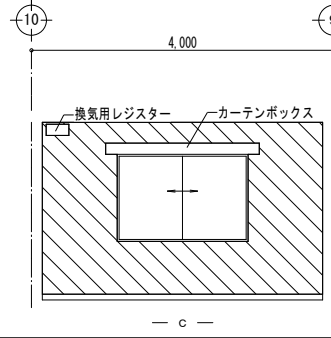
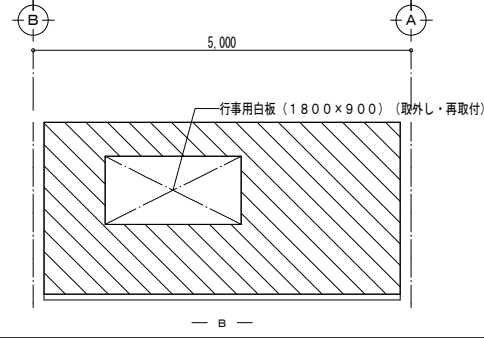
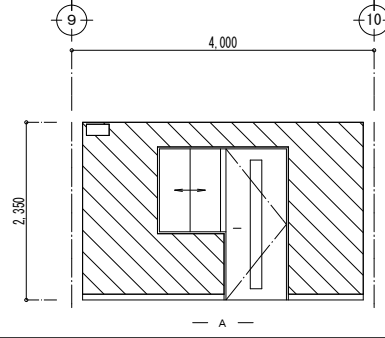


- 一凡例一
- モルタル金ゴテ 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
 - 天井: t=6ケイカル板貼 下地調整 (RC) の上、EP塗装
 - 経天地下撤去 (吊りボルト無し) t=6ケイカル板貼撤去
経天地下新設 t=6ケイカル板貼新設 EP塗装
 - 照明器具 (FL40W×2 2箇所) 撤去・再取付
差動式スポット型感知器 (1箇所) 撤去・再取付
 - モルタルハツリ撤去の上、ポリマーセメントモルタル補修

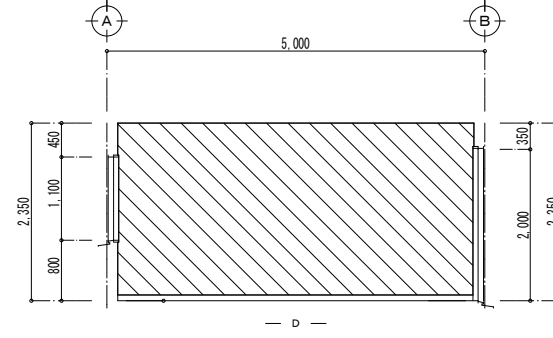
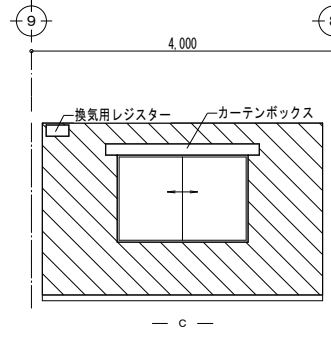
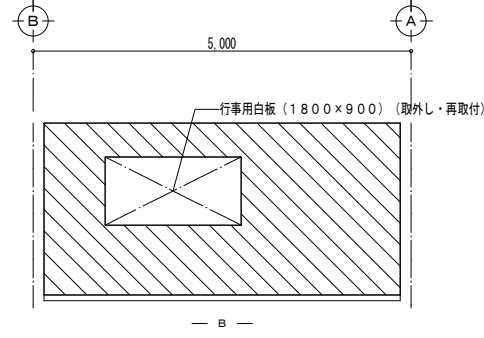
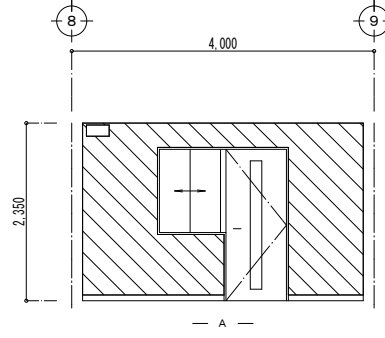
室名	クラブ室2 (植物資源利用研究会)
床	t=2.8 複合塩ビシート貼 (既存のまま)
巾木	ソフト巾木 H=60 撤去・新設
壁	モルタル金ゴテ 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
天井	t=6 ケイカル板貼 下地調整 (RC) の上、EP塗装 軒天19型下地
備考	換気レジスター×2 (既存のまま)、行事務用白板 (取外し・再取付) カーテンボックス (既存のまま) アスベスト含有材: ソフト巾木、壁VP塗装、天井t=6ケイカル板



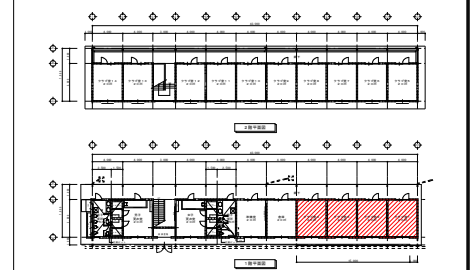
室名	クラブ室3 (建築デザイン部)
床	t=2.8 複合塩ビシート貼 (既存のまま)
巾木	ソフト巾木 H=60 撤去・新設
壁	モルタル金ゴテ 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
天井	t=6 ケイカル板貼 下地調整 (RC) の上、EP塗装 軒天19型下地
備考	換気レジスター×2 (既存のまま)、行事務用白板 (取外し・再取付) カーテンボックス (既存のまま) アスベスト含有材: ソフト巾木、壁VP塗装、天井t=6ケイカル板

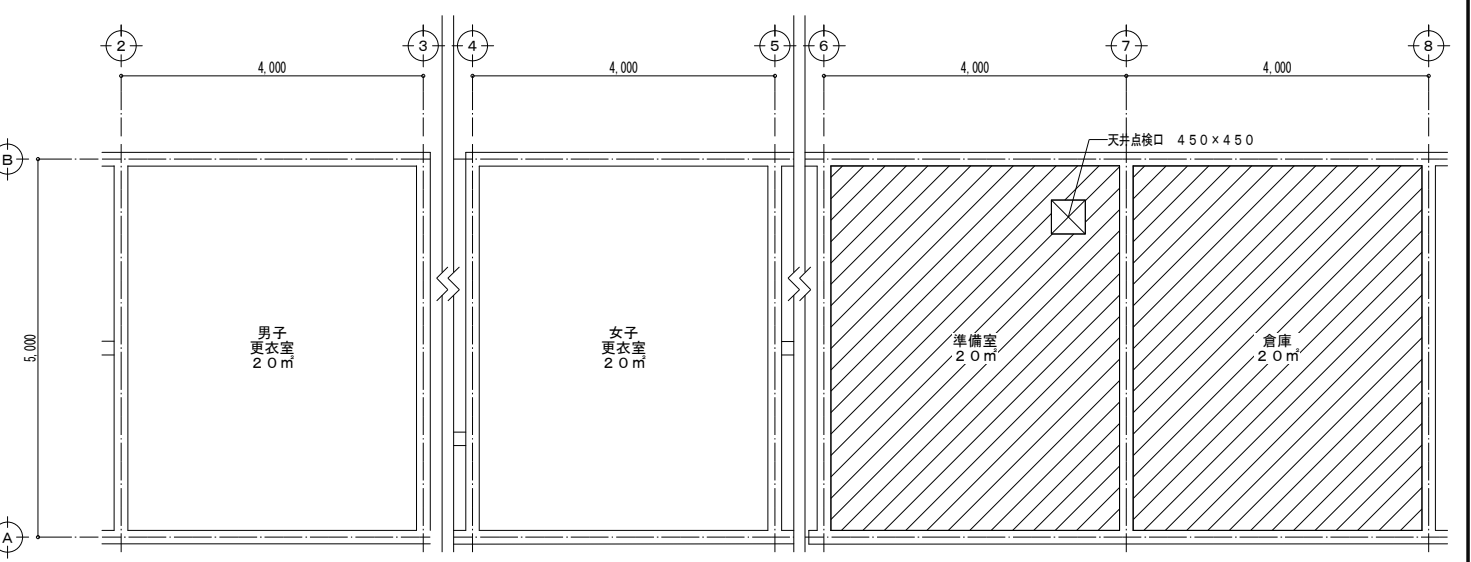
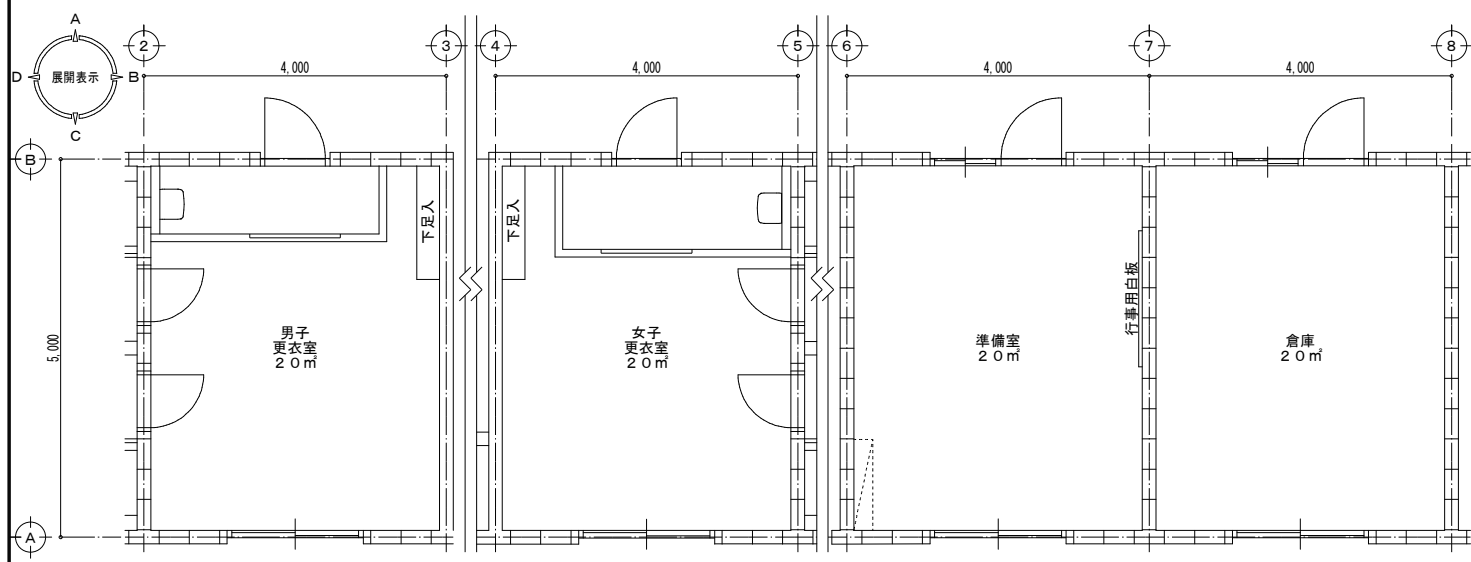


室名	クラブ室4 (Diving club)
床	t=2.8 複合塩ビシート貼 (既存のまま)
巾木	ソフト巾木 H=60 撤去・新設
壁	モルタル金ゴテ 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
天井	t=6 ケイカル板貼 下地調整 (RC) の上、EP塗装 軒天19型下地
備考	換気レジスター×2 (既存のまま)、行事務用白板 (取外し・再取付) カーテンボックス (既存のまま) アスベスト含有材: ソフト巾木、壁VP塗装、天井t=6ケイカル板



全体平面図 A1版: 1/500 A3版: 1/1000





室名	倉庫
床	モルタル金ゴテ仕上
巾木	モルタル金ゴテ仕上
壁	モルタル金ゴテ仕上、ポリマーセメントモルタル補修 一部、ハツリ撤去の上、ポリマーセメントモルタル補修
天井	t=6 ケイカル板貼 下地調整 (RC) の上、EP塗装 軒天19型下地
備考	換気レジスター×2、行事用白板 アスベスト含有材: 天井t=6ケイカル板

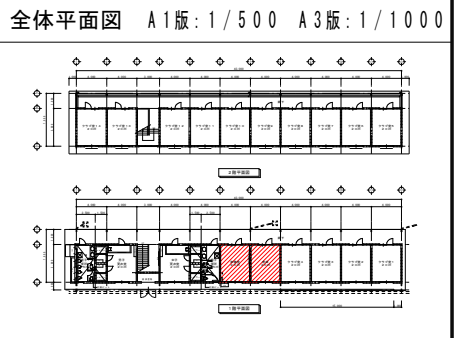
一凡例

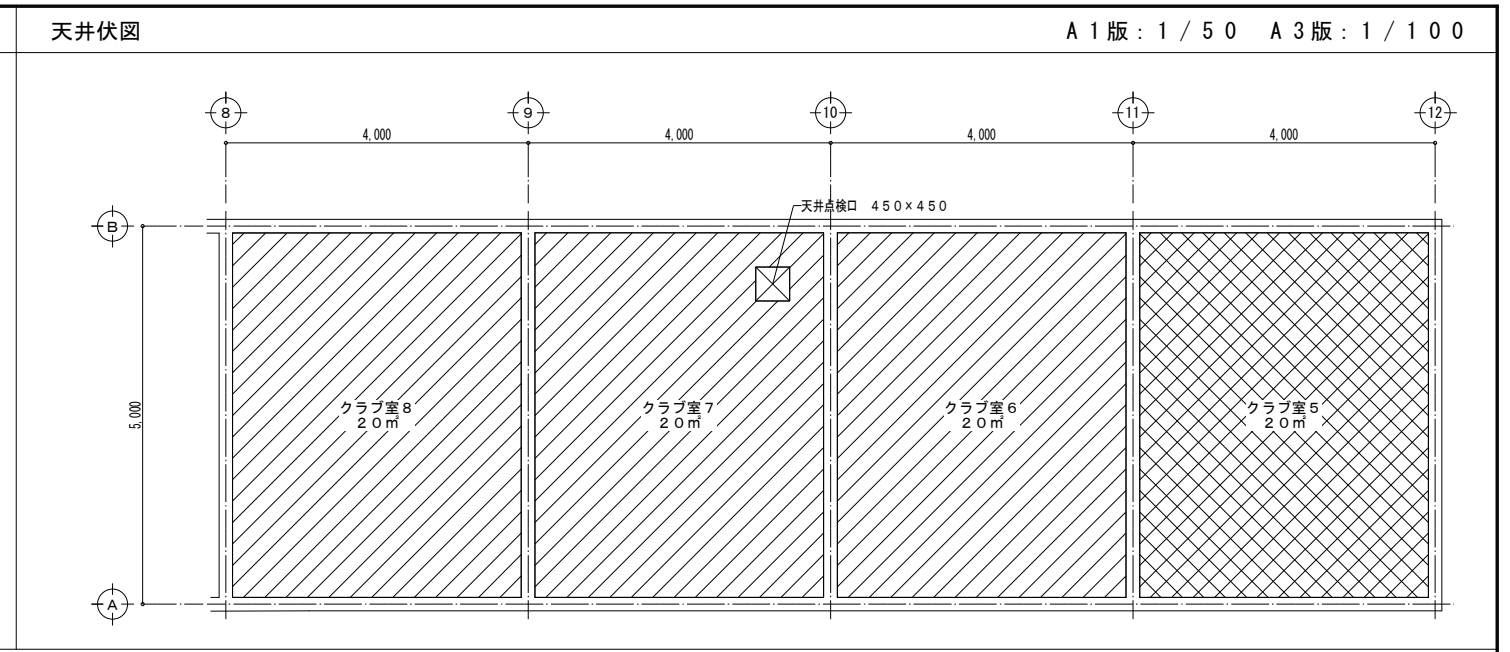
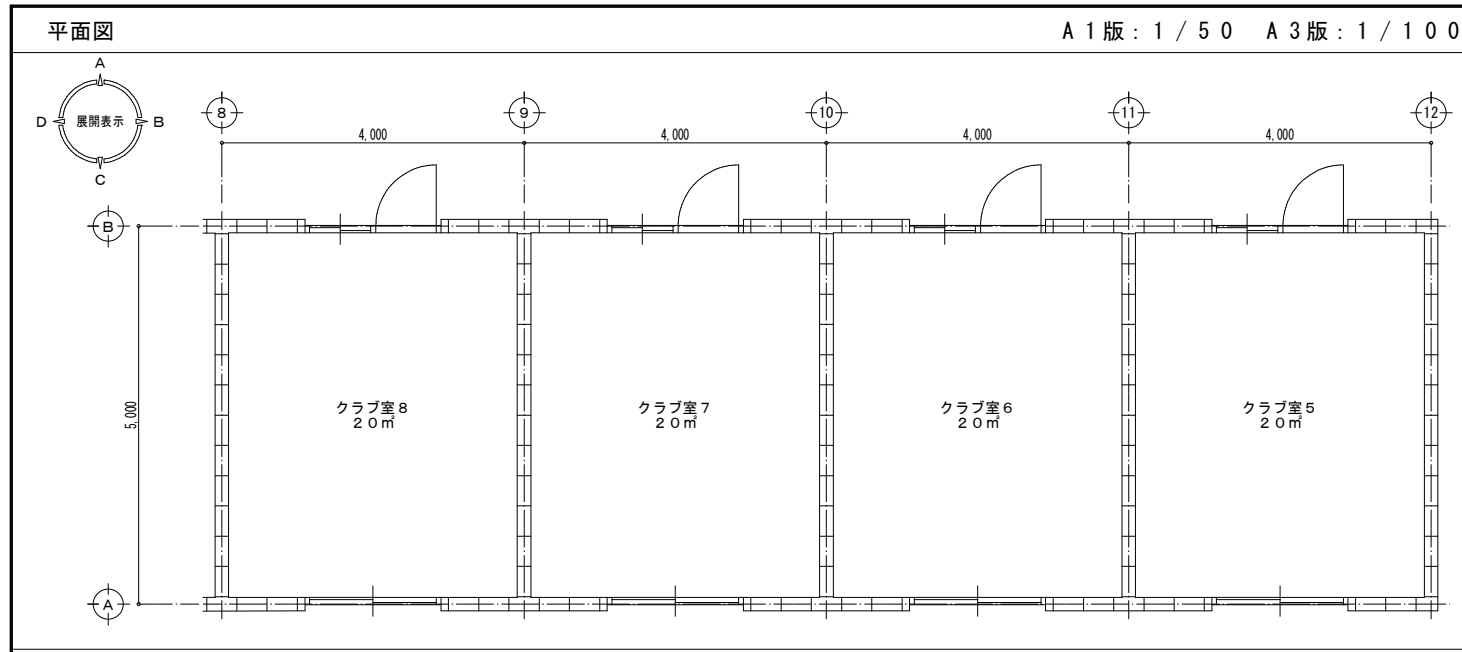
- モルタル金ゴテ 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
- 天井: t=6ケイカル板貼 下地調整 (RC) の上、EP塗装
- 経天地下撤去 (吊りボルト無し) t=6ケイカル板貼撤去
経天地下新設t=6ケイカル板貼新設 EP塗装
照明器具 (FL40W×2 2箇所) 撤去・再取付
差動式スポット型感知器 (1箇所) 撤去・再取付
- モルタルハツリ撤去の上、ポリマーセメントモルタル補修

室名	準備室 (生スポ準備室)
床	t=2.8 複合ビニシート貼 (既存のまま)
巾木	ソフト巾木 H=60 撤去・新設
壁	モルタル金ゴテ 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
天井	t=6 ケイカル板貼 下地調整 (RC) の上、EP塗装 軒天19型下地
備考	壁紙、行事用白板 (取外し・再取付) カーテンボックス (既存のまま) アスベスト含有材: ソフト巾木、壁VP塗装、天井t=6ケイカル板

室名	女子更衣室
床	t=2.0 長尺ビニシート貼 一部 100角半磁器質タイル貼
巾木	ソフト巾木 H=60
壁	モルタル金ゴテ VP塗装 一部 100角半磁器質タイル貼
天井	t=6 ケイカル板貼 EP塗装 軒天19型下地
備考	下足入れ、テラゾ上板、壁紙、パーティション

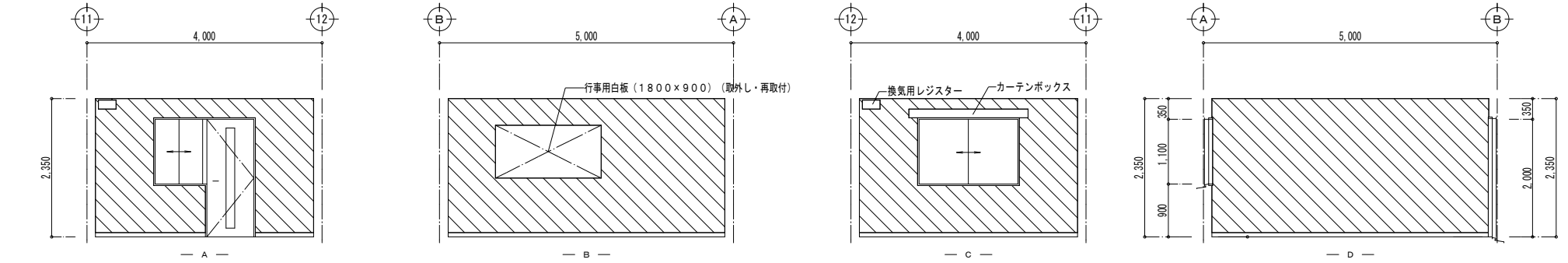
室名	男子更衣室
床	t=2.0 長尺ビニシート貼 一部 100角半磁器質タイル貼
巾木	ソフト巾木 H=60
壁	モルタル金ゴテ VP塗装 一部 100角半磁器質タイル貼
天井	t=6 ケイカル板貼 EP塗装 軒天19型下地
備考	下足入れ、テラゾ上板、壁紙、パーティション





展開図 A1版: 1/50 A3版: 1/100

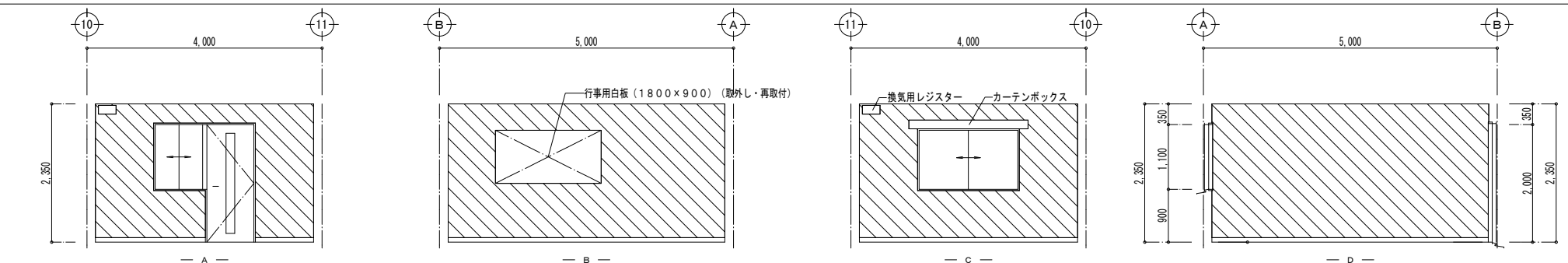
室名	クラブ室5 (女子バスケ部)
床	t=2.8 複合塩ビシート貼 (既存のまま)
巾木	ソフト巾木 H=60 撤去・新設
壁	モルタル金こて 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
天井	t=6 ケイカル板貼 EP塗装 撤去・新設 EP塗装 軒天19型下地 撤去 (吊りボルト残し) 新設 t=50 グラスウール撤去・新設 天井廻り縁撤去・新設
備考	換気レジスター×2 (既存のまま)、行事用白板 (取外し・再取付) カーテンボックス (既存のまま) 照明器具 (FL 40W×2 2箇所) 撤去・再取付 差動式スポット型感知器 (1箇所) 撤去・再取付 アスベスト含有材: ソフト巾木、壁VP塗装、天井t=6ケイカル板



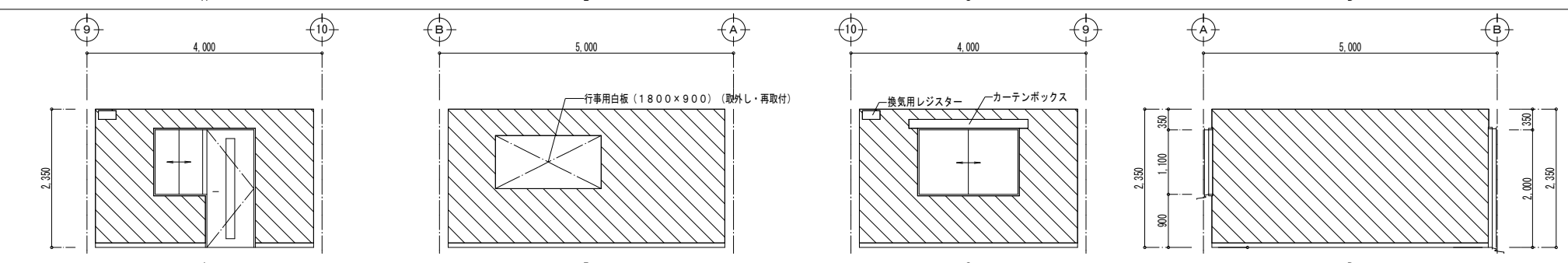
一凡例一

- モルタル金こて 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
- 天井: t=6ケイカル板貼 下地調整 (RC) の上、EP塗装
- 軒天下地撤去 (吊りボルト残し) + t=6ケイカル板貼撤去
軒天19型下地 t=50ケイカル板貼新設 EP塗装
照明器具 (FL 40W×2 2箇所) 撤去・再取付
差動式スポット型感知器 (1箇所) 撤去・再取付
- モルタルハブリ撤去の上、ポリマーセメントモルタル補修

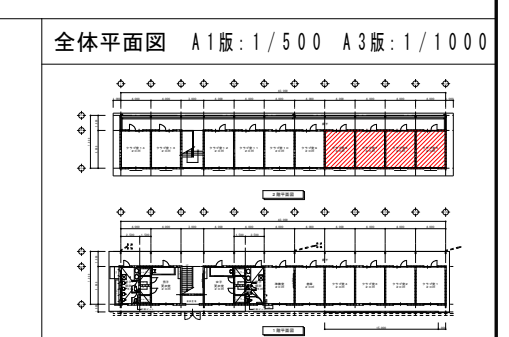
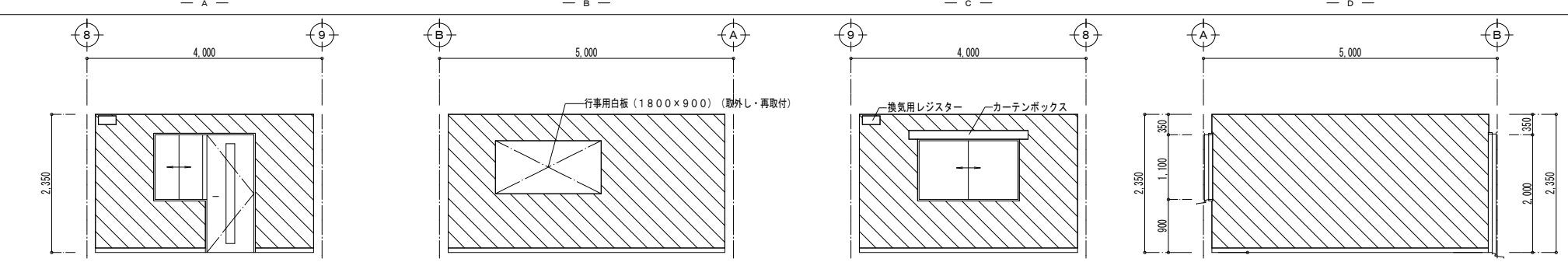
室名	クラブ室6 (男子バスケ部)
床	t=2.8 複合塩ビシート貼 (既存のまま)
巾木	ソフト巾木 H=60 撤去・新設
壁	モルタル金こて 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
天井	t=6 ケイカル板貼 下地調整 (RC) の上、EP塗装 軒天19型下地
備考	換気レジスター×2 (既存のまま)、行事用白板 (取外し・再取付) カーテンボックス (既存のまま) アスベスト含有材: ソフト巾木、壁VP塗装、天井t=6ケイカル板

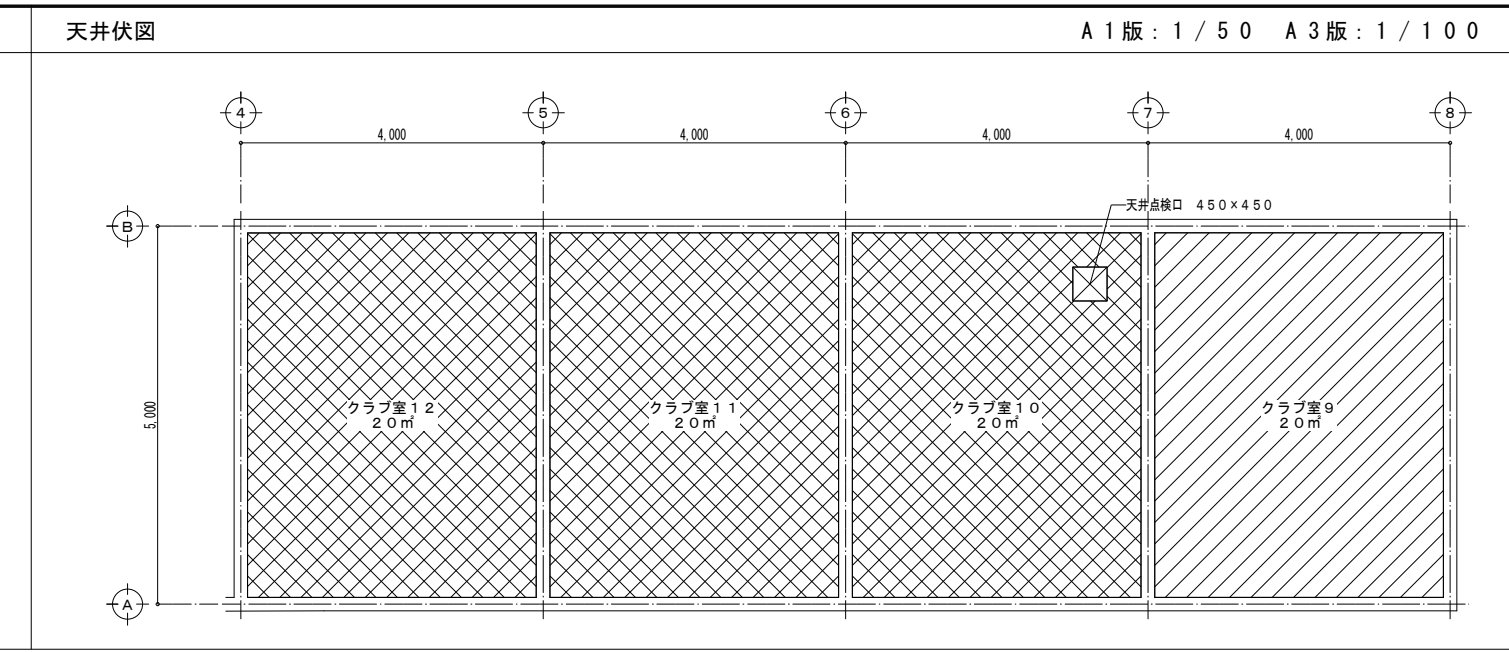
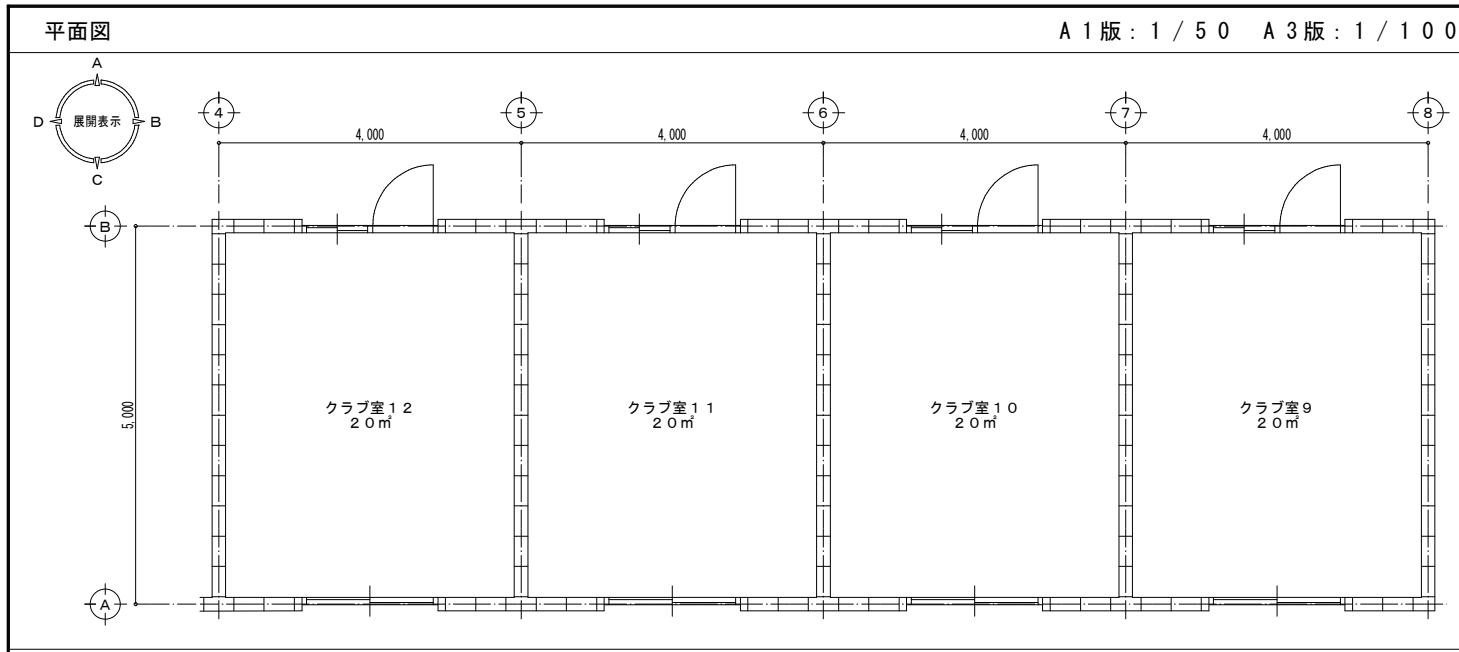


室名	クラブ室7 (ワンダーフォーゲル部)
床	t=2.8 複合塩ビシート貼 (既存のまま)
巾木	ソフト巾木 H=60 撤去・新設
壁	モルタル金こて 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
天井	t=6 ケイカル板貼 下地調整 (RC) の上、EP塗装 軒天19型下地
備考	換気レジスター×2 (既存のまま)、行事用白板 (取外し・再取付) カーテンボックス (既存のまま) アスベスト含有材: ソフト巾木、壁VP塗装、天井t=6ケイカル板

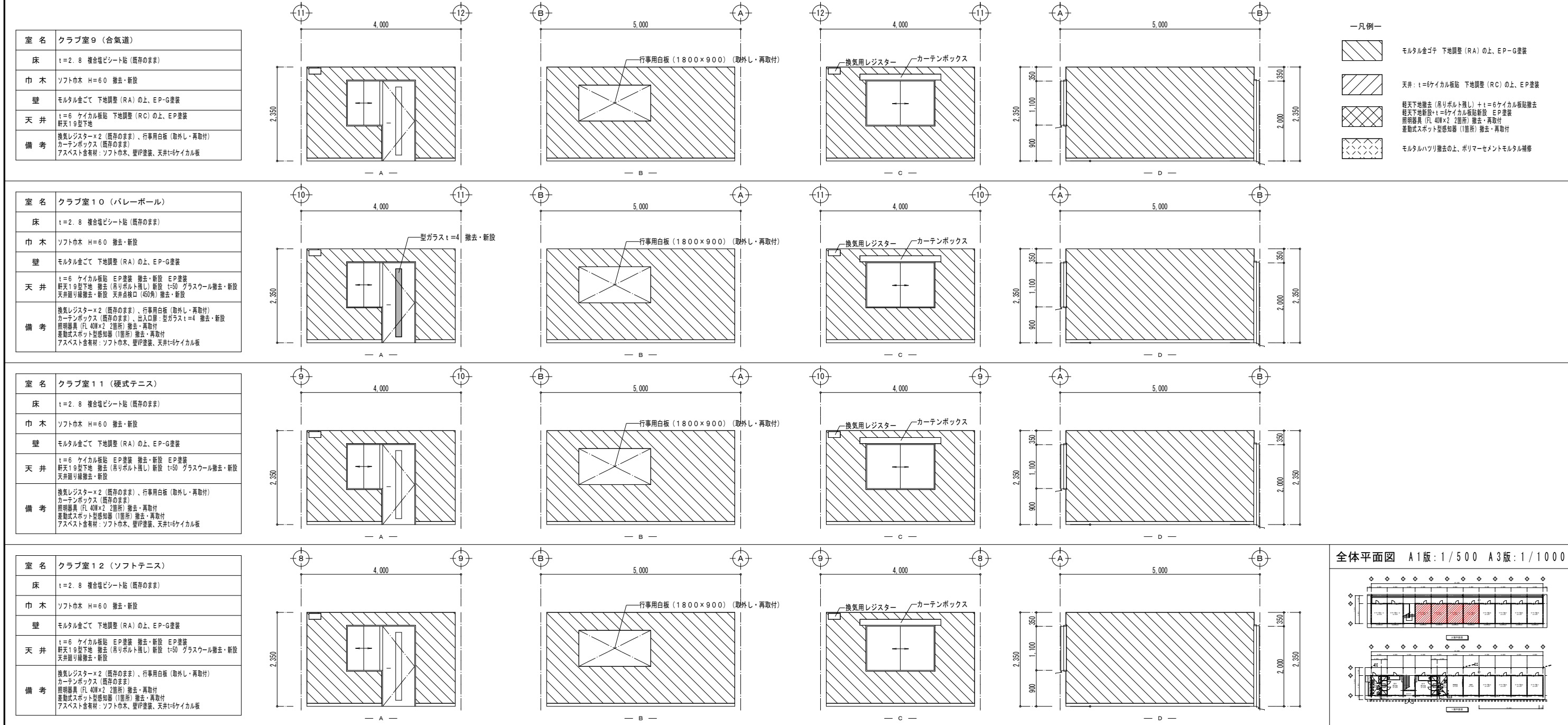


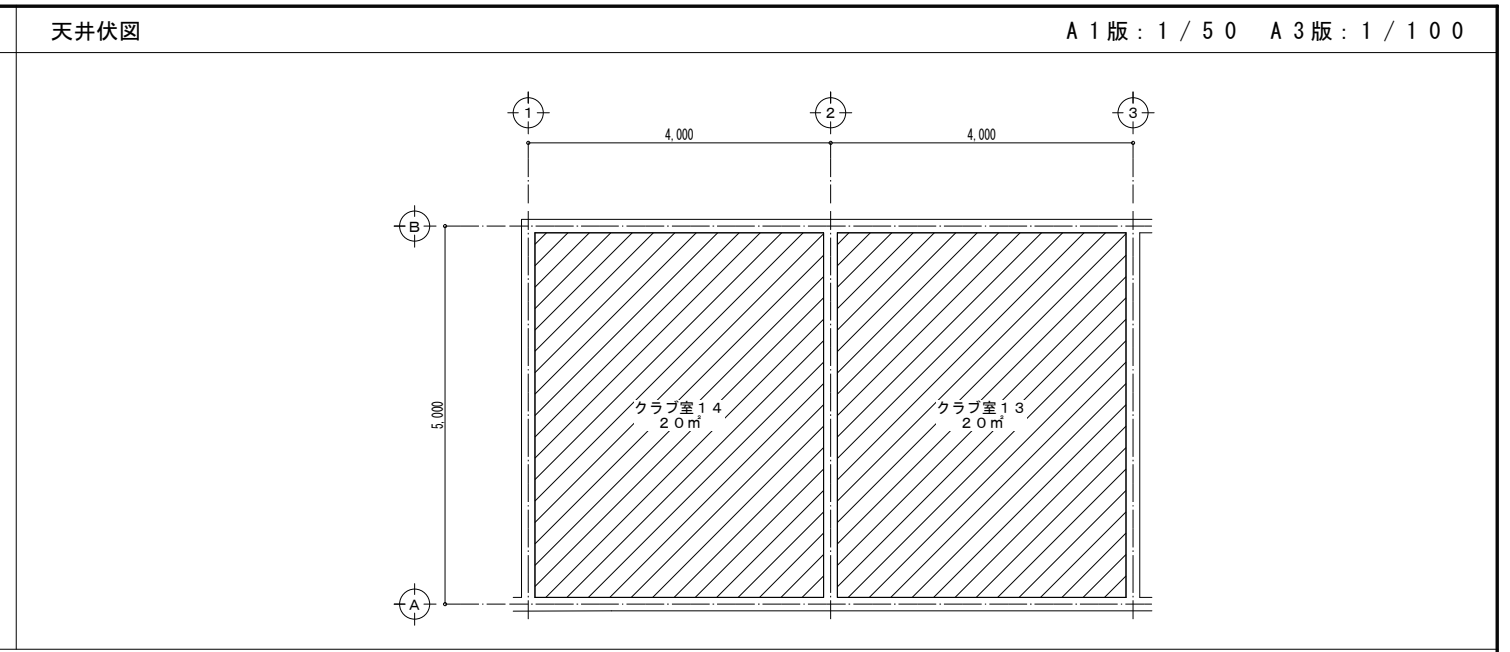
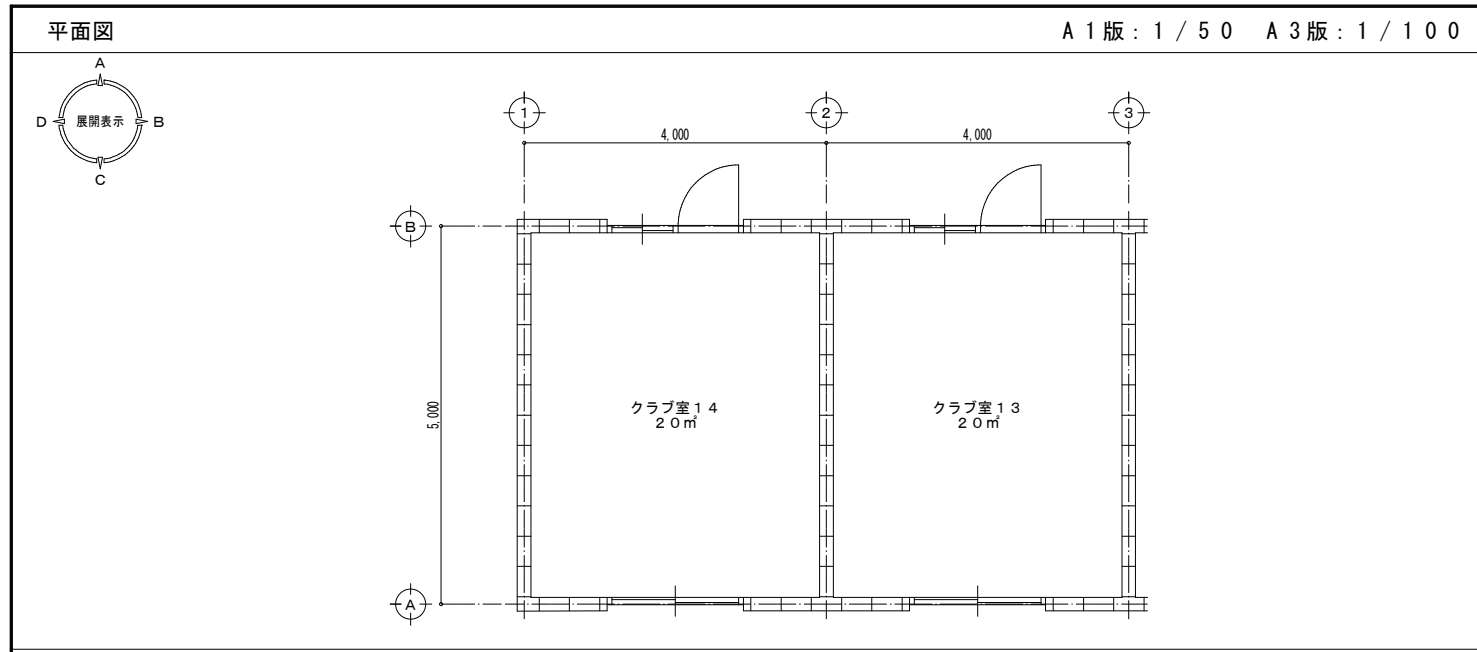
室名	クラブ室8 (たんけん部)
床	t=2.8 複合塩ビシート貼 (既存のまま)
巾木	ソフト巾木 H=60 撤去・新設
壁	モルタル金こて 下地調整 (RA) の上、EP-G塗装
天井	t=6 ケイカル板貼 下地調整 (RC) の上、EP塗装 軒天19型下地
備考	換気レジスター×2 (既存のまま)、行事用白板 (取外し・再取付) カーテンボックス (既存のまま) アスベスト含有材: ソフト巾木、壁VP塗装、天井t=6ケイカル板



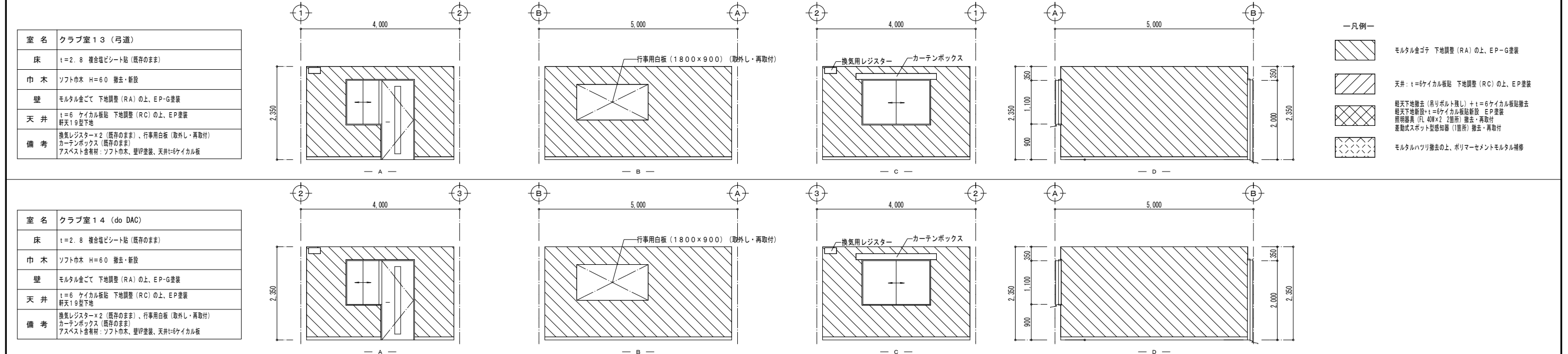


展開図 A1版: 1/50 A3版: 1/100





展開図 A1版: 1/50 A3版: 1/100



全体平面図 A1版: 1/500 A3版: 1/1000

